

経済・金融データ集

2025年4月号

株式会社日本政策金融公庫
総合研究所

※2025年3月31日現在の公表済みデータに基づき作成。
※図中の斜体は、速報値を示す。

【今月の注目指標】

分野	ページ NO.	図 NO.	データ名	特徴
1 経済	9	11	新設住宅着工戸数の動き (前年同月比)	国土交通省「建築着工統計調査」によると、2025年2月の新設住宅着工戸数（前年同月比）は2.4%と、10カ月ぶりにプラスとなった。
2 小企業	33	52	売上・採算DIの動き (全業種計、季節調整済み)	日本政策金融公庫総合研究所「全国小企業月次動向調査」（2025年2月実績、3月見通し）によると、小企業の売上DI（全業種計、季節調整値）は、1月（0.2）から11.7ポイント低下し、▲11.5となった。3月は▲2.0と、2月に比べマイナス幅が9.5ポイント縮小する見通しとなっている。
3 中小企業	36	58	売上げ・売上げ見通し・ 利益額DIの動き (全業種計、季節調整済み)	日本政策金融公庫総合研究所「中小企業景況調査」（2025年3月）によると、中小企業の売上げDI（全業種計、季節調整値）は、前回調査（2.8）から6.0ポイント低下し、▲3.2となった。今後3カ月の売上げ見通しDIは、前回調査（2.5）から0.9ポイント上昇し、3.4となった。

目次

1 経済 1

(1) 景気

表-1	景気動向に関する基調判断	1,2
表-2	地域別景気判断	3
図-1	景気動向指数	4
図-2	景気の現状判断DI（分野別）	5
図-3	景気の現状判断DI（地域別）	5

(2) 経済成長

図-4	実質GDP成長率と需要項目別寄与度	6
-----	-------------------	---

(3) 個人消費

図-5	雇用者報酬	6
図-6	消費支出	7
図-7	消費者態度指数	7
図-8	小売業販売額	8
図-9	乗用車新車新規登録届出台数	8
図-10	旅行取扱額、外食産業売上高	9

(4) 住宅投資

図-11	新設住宅着工戸数	9
------	----------	---

(5) 設備投資

図-12	設備投資額	10
図-13	稼働率指数	10
図-14	機械受注額	11
図-15	建築着工床面積	11

(6) 生産・在庫

図-16	鉱工業生産・出荷指数	12
図-17	鉱工業在庫・在庫率指数	12
図-18	商品別鉱工業生産指数	13
図-19	四輪車の国内生産・販売・輸出台数	13
図-20	在庫循環図	14
図-21	第3次産業活動指数	14

(7) 公共投資

図-22	公共工事受注額	15
図-23	公共工事出来高	15

(8) 国際取引

図-24	国際収支	16
図-25	輸出入額	16
図-26	商品別輸出額	17
図-27	相手国別輸出額	17
図-28	訪日外客数	18

(9) 雇用

図-29	完全失業率と雇用者数	18
図-30	有効求人倍率、新規求人倍率	19
図-31	所定外労働時間	19
図-32	賃金指数	20

(10) 物価

図-33	物価指数、サービス価格指数	20
図-34	輸入物価指数	21
図-35	ロイター・ジェフリーズCRB指数	21

(11) 原油・素材

図-36	原油価格	22
図-37	給油所石油製品市況	22
図-38	石油化学素材価格	23
図-39	金属素材価格	23
図-40	その他の素材価格	24
図-41	食糧品価格	25

(12) 不動産価格

図-42	公示地価	27
------	------	----

(13) 倒産

図-43	倒産件数	28
図-44	倒産企業負債総額	28

(14) 海外経済

図-45	実質GDP成長率 (日・米・ユーロ圏・英)	29
図-46	実質GDP成長率 (韓・中・インド・タイ・インドネシア)	29
図-47	失業率 (日・米・ユーロ圏・英・タイ)	30
図-48	消費者物価指数 (日・米・ユーロ圏・韓・中・インド・タイ)	30

2 小企業 31

景況

図－49	企業規模別業況判断DI	31
図－50	業況判断DI（製造業、非製造業）	31
図－51	業種別業況判断DI（非製造業）	32
図－52	売上・採算DI	33
図－53	設備投資実施企業割合、 設備投資実施予定企業割合	33

3 中小企業 34

景況

図－54	企業規模別業況判断DI	34
図－55	業況判断DI（製造業、非製造業）	34
図－56	業種別業況判断DI（製造業）	35
図－57	業種別業況判断DI（非製造業）	35
図－58	売上げDI、売上げ見通しDI、利益額DI	36
図－59	設備投資実績前年比、 業況判断DI（製造業）	36

4 金融 37

（1）外国為替

図－60	円相場	37
図－61	実効為替レート	37

（2）株価

図－62	国内株式市場	38
図－63	米国株式市場	38

（3）金利

図－64	日米短期金利	39
図－65	日米長期金利	39
図－66	預金金利	40
図－67	貸出金利	40

（4）企業金融

図－68	資金繰りDI	41
図－69	貸出態度判断DI、借入DI	41
図－70	資金需要判断DI	42
図－71	利ざや設定DI	42

（5）貸出

図－72	業態別貸出残高	43
図－73	貸出先別貸出残高	43
図－74	中小企業向け貸出残高（前年同月比）	44
図－75	中小企業向け貸出残高（実額）	44
図－76	信用保証承諾額	45
図－77	信用保証債務残高	45

（6）金融資産

図－78	資金の過不足	46
図－79	家計の金融資産残高	46

（7）通貨

図－80	マネーストック	47
図－81	マネタリーベース	47

(1) 景気

表-1 景気動向に関する基調判断

	内閣府「月例経済報告」		内閣府「景気動向指数」		内閣府「景気ウォッチャー調査」	
2023年 4月	一部に弱さがみられるものの、緩やかに持ち直している	—	改善を示している	↗	持ち直している。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、持ち直しが続くとみている	—
5月	緩やかに回復している	↗	改善を示している	—	緩やかに回復している。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	↗
6月	緩やかに回復している	—	改善を示している	—	緩やかに回復している。先行きについては、5類感染症への移行も終わり、改善テンポに一服感がみられるものの、緩やかな回復が続くとみている	—
7月	緩やかに回復している	—	改善を示している	—	緩やかに回復している。先行きについても、緩やかな回復が続くとみている	—
8月	緩やかに回復している	—	改善を示している	—	緩やかに回復している。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
9月	緩やかに回復している	—	改善を示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	↘
10月	緩やかに回復している	—	改善を示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
11月	このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している	↘	改善を示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
12月	このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	改善を示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
2024年 1月	このところ一部に足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	足踏みを示している	↘	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。また、令和6年能登半島地震の影響もみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
2月	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	↘	下方への局面変化を示している	↘	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。また、令和6年能登半島地震の影響もみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
3月	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	下方への局面変化を示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、一服感がみられる。また、令和6年能登半島地震の影響もみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
4月	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	下方への局面変化を示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、このところ弱さがみられる。また、令和6年能登半島地震の影響もみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	↘
5月	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	↗	緩やかな回復基調が続いているものの、このところ弱さがみられる。また、令和6年能登半島地震の影響もみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
6月	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、このところ弱さがみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
7月	このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いているものの、このところ弱さがみられる。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
8月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	↗	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	↗
9月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
10月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
11月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
12月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、価格上昇の影響等を懸念しつつも、緩やかな回復が続くとみている	—
2025年 1月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—	下げ止まりを示している	—	緩やかな回復基調が続いている。先行きについては、緩やかな回復が続くとみているものの、価格上昇の影響等に対する懸念がみられる	—
2月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—			緩やかな回復基調が続いているものの、このところ弱さがみられる。先行きについては、緩やかな回復が続くとみているものの、引き続き価格上昇の影響等に対する懸念がみられる	↘
3月	一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している	—				

資料：内閣府「月例経済報告」「景気動向指数」「景気ウォッチャー調査」

(注) 上方修正↗ 据え置き— 下方修正↘

表-1 景気動向に関する基調判断（続き）

	日本銀行「経済・物価情勢の展望」	日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査」				
		小企業編		中小企業編		
2023年 1月	資源高の影響などを受けつつも、新型コロナウイルス感染症抑制と経済活動の両立が進むもとで、持ち直している	—	厳しい状況にあるものの、持ち直しの動きがみられる	—	一部に弱さがあるものの、持ち直しの動きがみられる	—
2月						
3月						
4月	既往の資源高の影響などを受けつつも、持ち直している	—	持ち直しの動きがみられる	↗	持ち直しの動きがみられる	↗
5月						
6月						
7月	緩やかに回復している	↗	持ち直しの動きがみられる	—	持ち直しの動きがみられる	—
8月						
9月						
10月	緩やかに回復している	—	持ち直しの動きがみられる	—	持ち直しの動きがみられる	—
11月						
12月						
2024年 1月	一部に弱めの動きも見られるが、緩やかに回復している	↘	持ち直しの動きに足踏みがみられる	↘	持ち直しの動きがみられる	—
2月						
3月						
4月	一部に弱めの動きも見られるが、緩やかに回復している	—	持ち直しの動きに足踏みがみられる	—	持ち直しの動きに足踏みがみられる	↘
5月						
6月						
7月	一部に弱めの動きも見られるが、緩やかに回復している	—	持ち直しの動きに足踏みがみられる	—	持ち直しの動きがみられる	↗
8月						
9月						
10月	一部に弱めの動きも見られるが、緩やかに回復している	—	持ち直しの動きに足踏みがみられる	—	持ち直しの動きがみられる	—
11月						
12月						

資料：日本銀行「経済・物価情勢の展望」、日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査」

（注）上方修正↗ 据え置き— 下方修正↘

表－2 地域別景気判断

財務省「経済情勢報告」

	2024年4月		7月		10月		2025年1月	
北海道	緩やかに持ち直している	—	緩やかに持ち直している	—	緩やかに持ち直している	—	持ち直している	↗
東北	持ち直している	—	持ち直している	—	持ち直している	—	持ち直している	—
関東	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘	持ち直しのテンポが緩やかになっている	—	持ち直している	↗	持ち直している	—
北陸	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直しつつある	↘	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、持ち直しつつある	↗	令和6年能登半島地震の影響は残るものの、復旧・復興需要や北陸新幹線の敦賀延伸効果等もみられることなどから、緩やかに持ち直している	↗	緩やかに持ち直している	—
東海	回復の動きに一服感がみられる	↘	回復の動きに一服感がみられる	—	緩やかに回復しつつある	↗	緩やかに回復しつつある	—
近畿	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	緩やかに回復しつつある	—	緩やかに回復しつつある	—	緩やかに回復しつつある	—
中国	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—
四国	持ち直している	—	持ち直しのテンポが緩やかになっている	↘	緩やかに持ち直している	↗	緩やかに持ち直している	—
九州	回復しつつある	—	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	—	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	—	物価上昇の影響がみられるものの、回復しつつある	—
福岡	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—	一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復しつつある	—
沖縄	回復しつつある	—	回復しつつある	—	緩やかに回復している	↗	緩やかに回復している	—

日本銀行「地域経済報告」

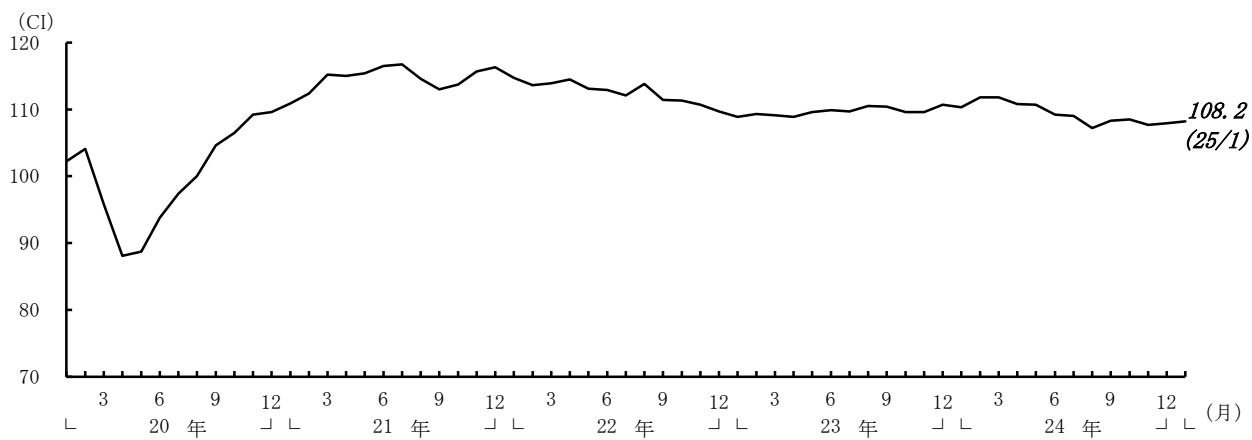
	2024年4月		7月		10月		2025年1月	
北海道	持ち直している	—	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している	↘	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している	—	一部に弱めの動きがみられるが、持ち直している	—
東北	緩やかに持ち直している	↘	緩やかに持ち直している	—	緩やかに持ち直している	—	持ち直している	↗
北陸	能登半島地震の影響により個人消費や生産の一部に下押しがみられており復旧の途上にあるものの、復旧復興需要や生産正常化が進むもとで、持ち直しの動きがみられている	↘	能登半島地震の影響により一部に下押しがみられており復旧の途上にあるものの、復旧復興需要や生産正常化が進むもとで、回復に向けた動きがみられている	↗	一部に能登半島地震の影響がみられるものの、緩やかに回復しつつある。なお、奥能登豪雨の影響については、被災地に甚大な被害を及ぼしているが、今後、マインド面を含めてどの程度、経済を下押ししていくか注視していく必要がある	↗	一部に能登半島地震の影響がみられるものの、緩やかに回復している	↗
関東甲信越	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	↘	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	—	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	—	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	—
東海	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	↘	一部に弱めの動きもみられるが、緩やかに回復している	—	緩やかに回復している	↗	緩やかに回復している	—
近畿	一部に弱めの動きもみられるものの、基調としては緩やかに持ち直している	↘	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している	↗	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している	—	一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している	—
中国	緩やかな回復基調にある	↘	緩やかな回復基調にある	—	緩やかな回復基調にある	—	緩やかな回復基調にある	—
四国	持ち直している	—	持ち直しのペースが鈍化している	↘	緩やかに持ち直している	—	緩やかに持ち直している	—
九州・沖縄	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している	↘	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している	—	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している	—	一部に弱めの動きがみられるが、緩やかに回復している	—

資料：財務省「経済情勢報告」、日本銀行「地域経済報告」

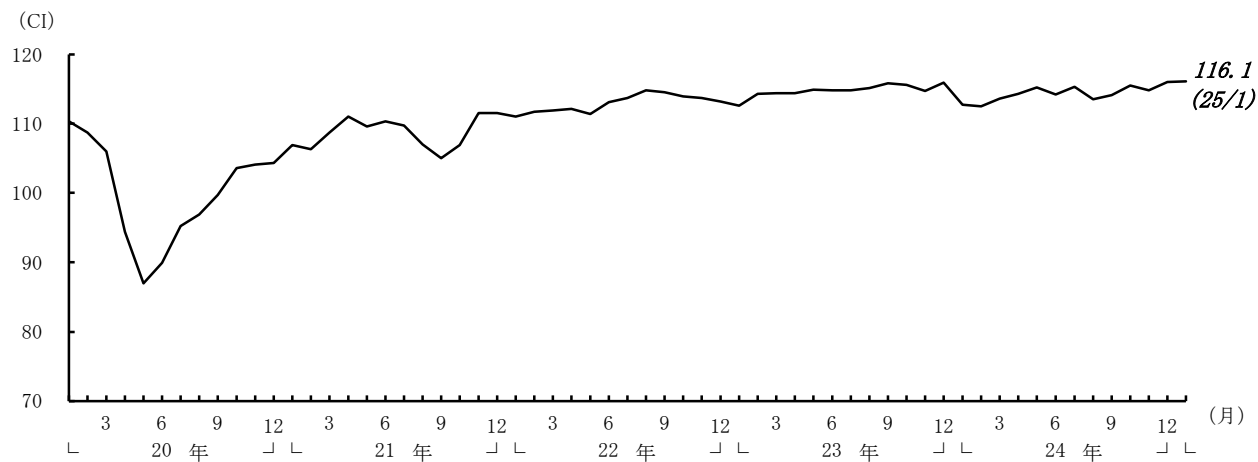
- (注) 1 上方修正↗ 据え置き— 下方修正↘
- 2 財務省「経済情勢報告」の「九州」は熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県。「福岡」は福岡県、佐賀県、長崎県。
- 3 財務省「経済情勢報告」の2024年1月の「北陸」は、令和6年能登半島地震による地域への影響全体について、その時点では十分に把握できなかったため、前回との基調比較は行っていない。

図－1 景気動向指数の動き（CI、2020年＝100）

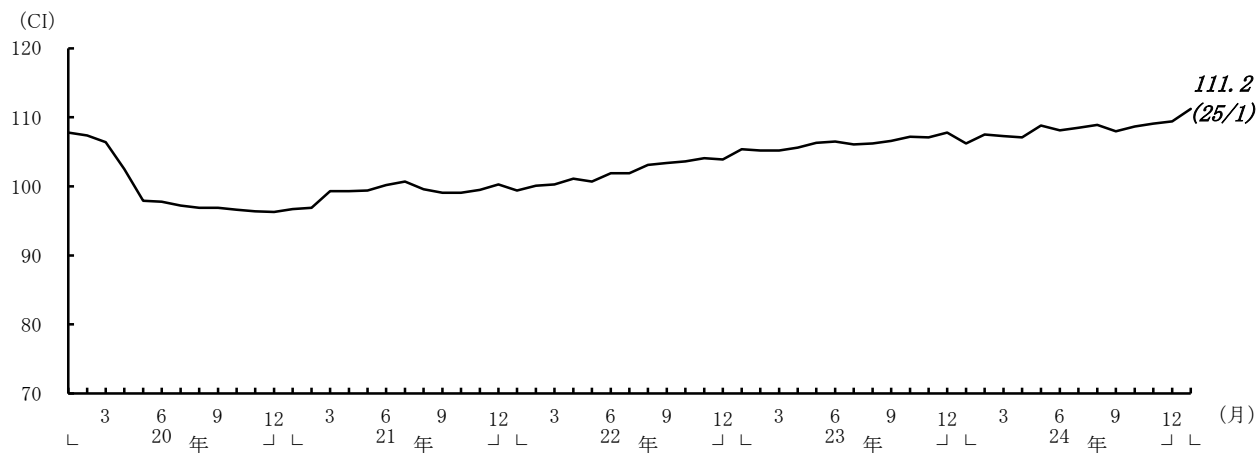
①先行指数 — 2カ月連続で上昇 —



②一致指数 — 2カ月連続で上昇 —



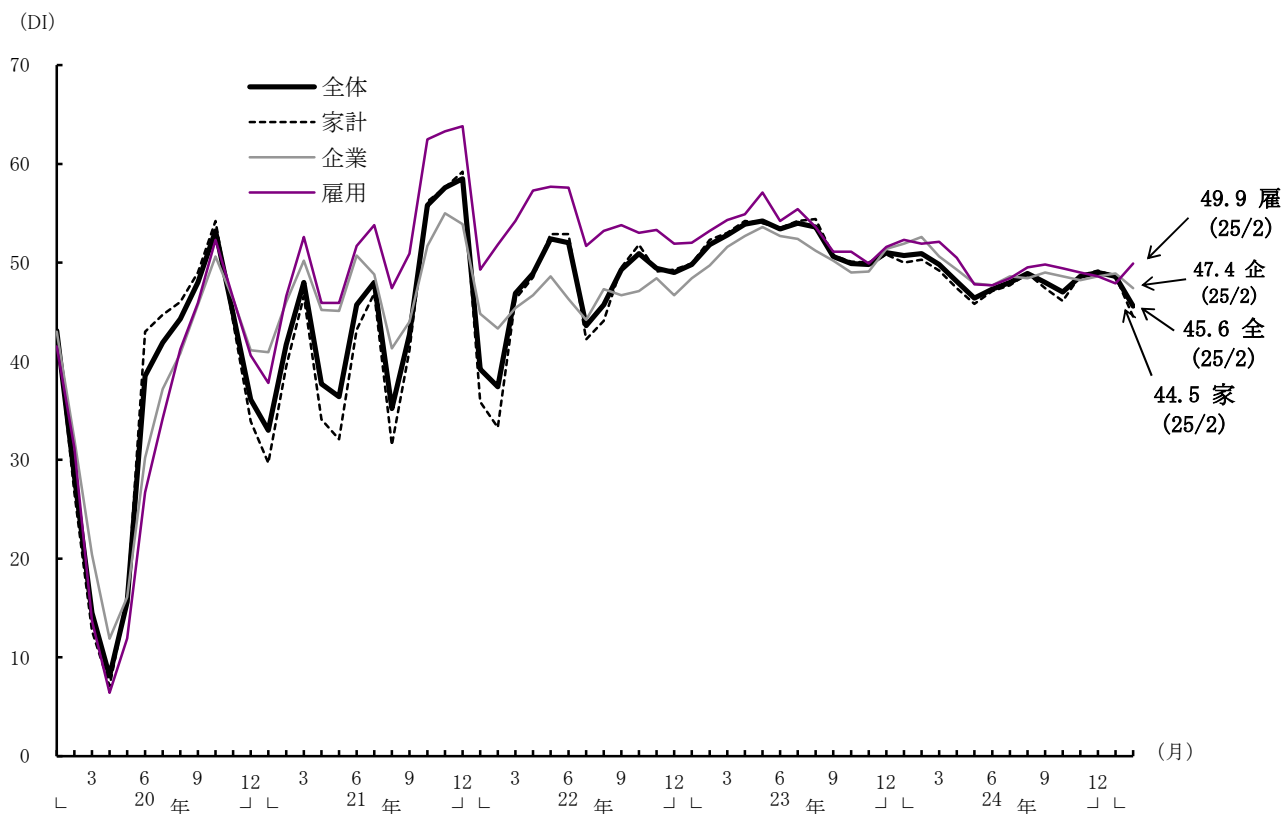
③遅行指数 — 4カ月連続で上昇 —



資料：内閣府「景気動向指数」

図－2 景気の現状判断DIの動き（分野別、季節調整済み）

― 全体では2カ月連続で低下 ―

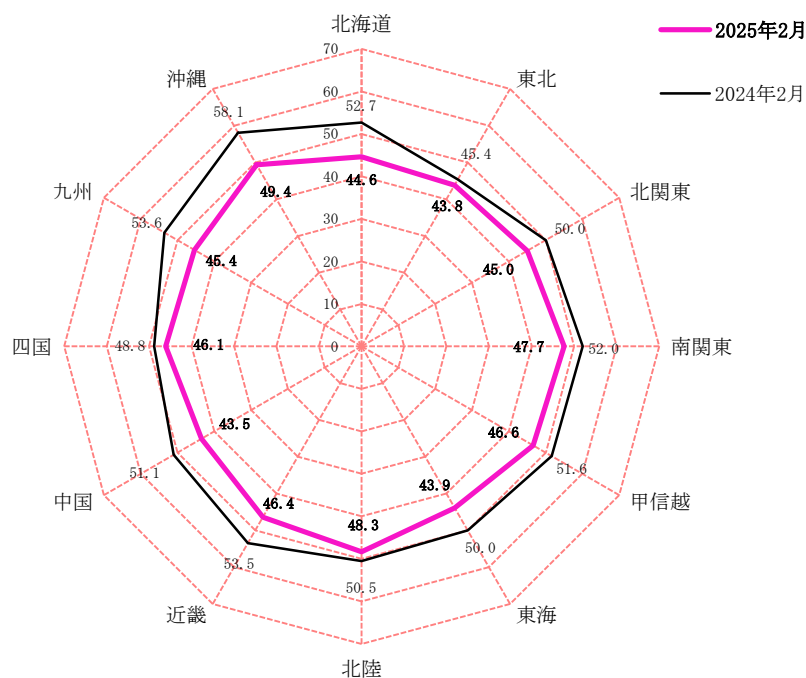


資料：内閣府「景気ウォッチャー調査」

(注) DIは3カ月前と比べた景気の現状に対する判断の回答構成比に以下の点数を乗じて合計したもの。

「良くなっている」+1、「やや良くなっている」+0.75、「変わらない」+0.5、「やや悪くなっている」+0.25、「悪くなっている」0

図－3 地域別景気の現状判断DIの変化（全分野、2024年2月・2025年2月）



資料：内閣府「景気ウォッチャー調査」

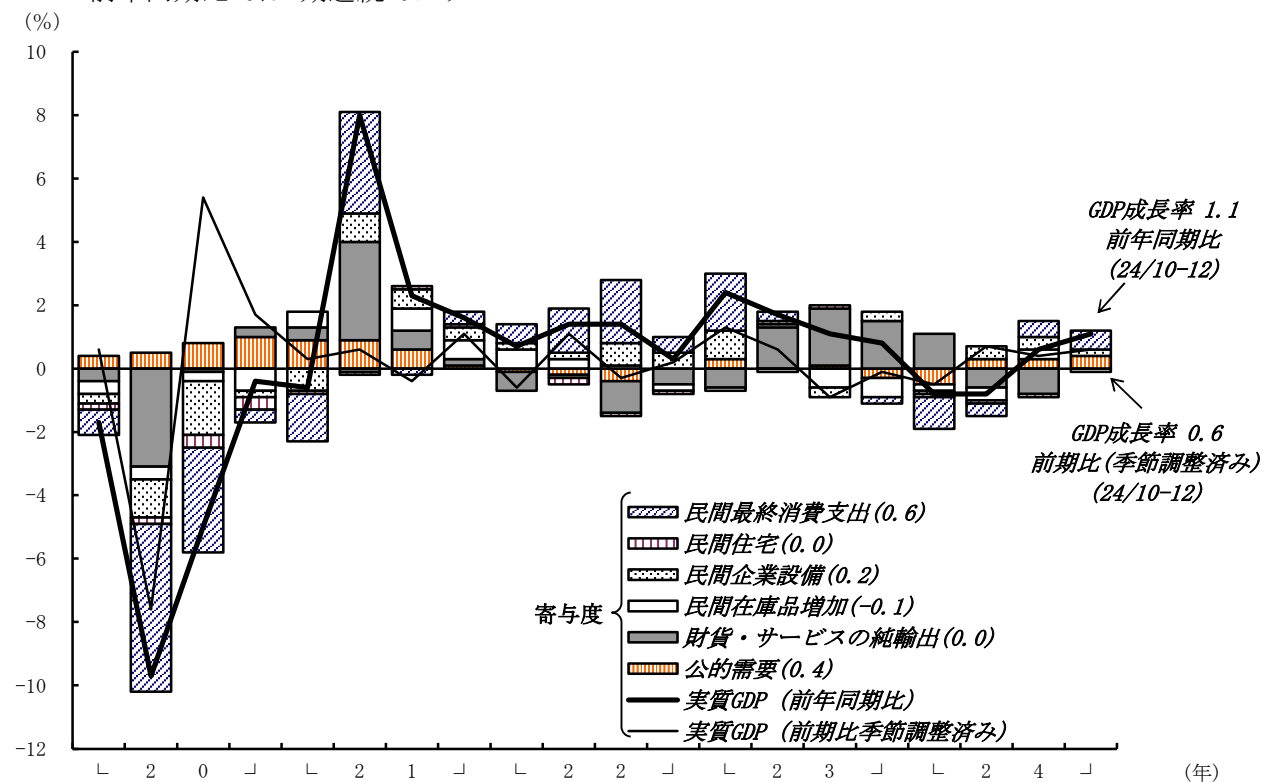
(注) DIは3カ月前と比べた景気の現状に対する判断の回答構成比に以下の点数を乗じて合計したもの。

「良くなっている」+1、「やや良くなっている」+0.75、「変わらない」+0.5、「やや悪くなっている」+0.25、「悪くなっている」0

(2) 経済成長

図－4 実質GDP成長率と需要項目別寄与度（前年同期比）の動き

— 前年同期比では2期連続でプラス —



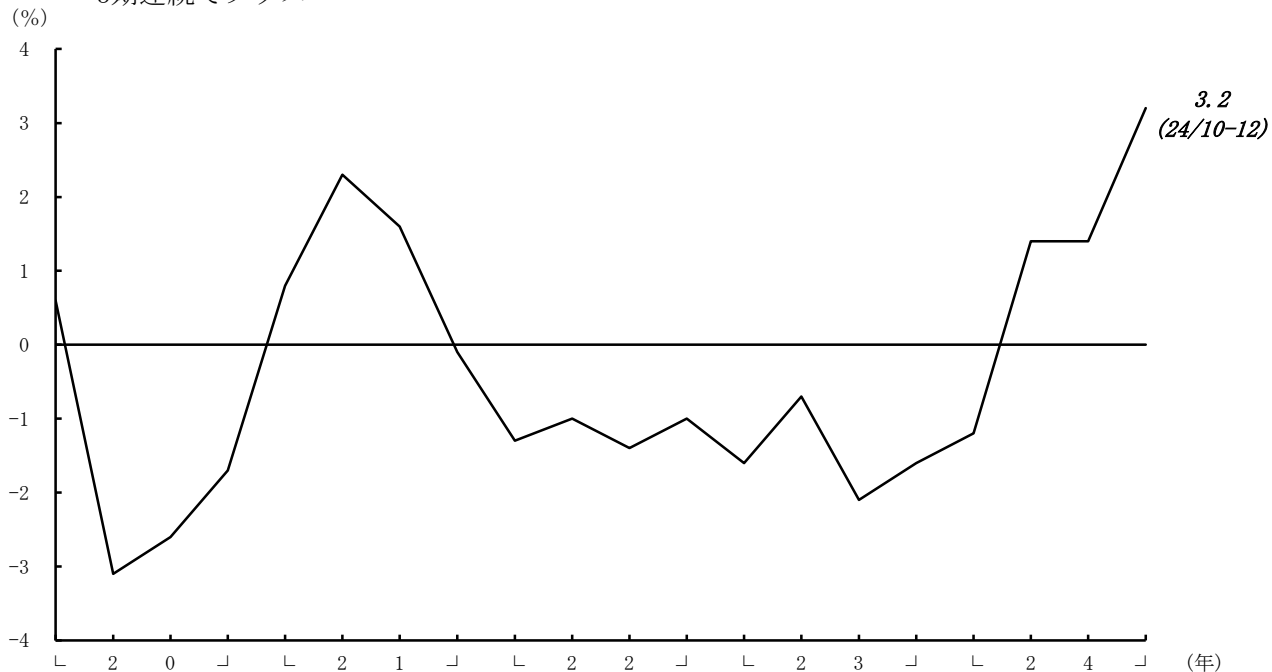
資料：内閣府「四半期別GDP速報」（2次速報）

(注) () 内は最新期の実質GDP成長率に対する寄与度である。

(3) 個人消費

図－5 雇用者報酬（実質、前年同期比）の動き

— 3期連続でプラス —



資料：内閣府「四半期別GDP速報」（2次速報）

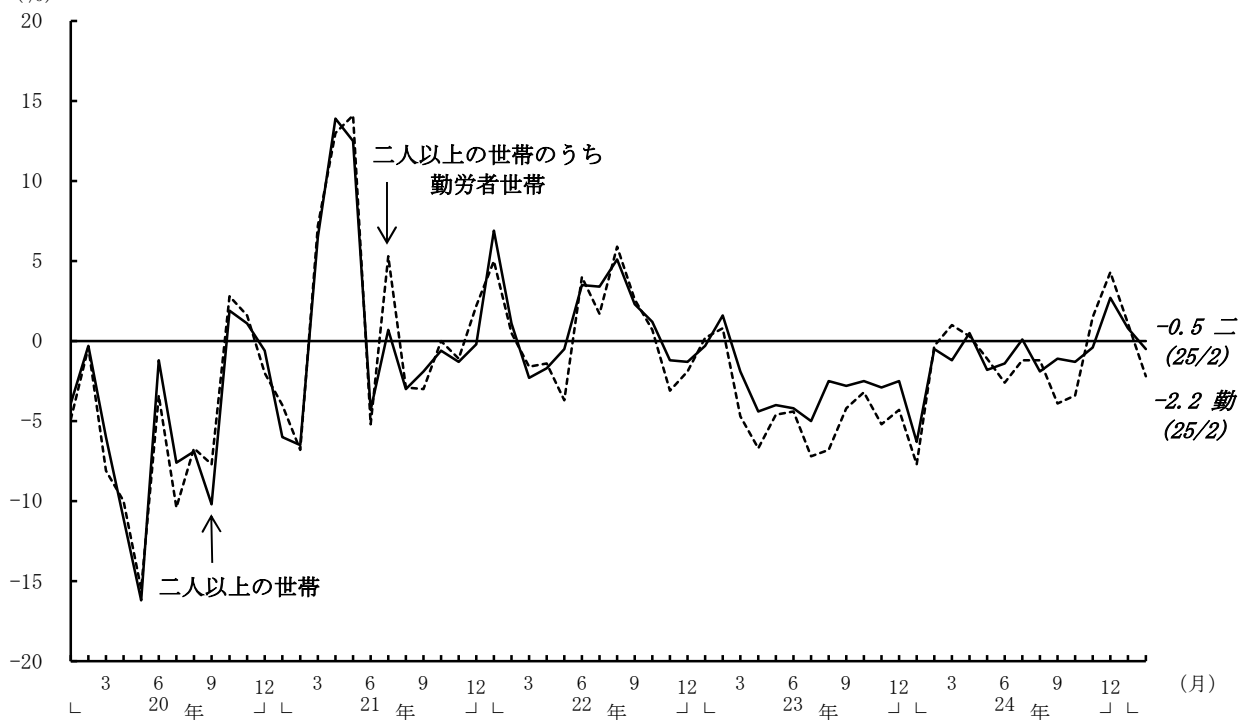
(参考) (単位：十億円)

2023年 272,743

24年10-12月 80,207

図－6 消費支出の動き（実質、二人以上の世帯、前年同月比）

（％） — 二人以上の世帯は3カ月ぶりにマイナス —



資料：総務省「家計調査報告」

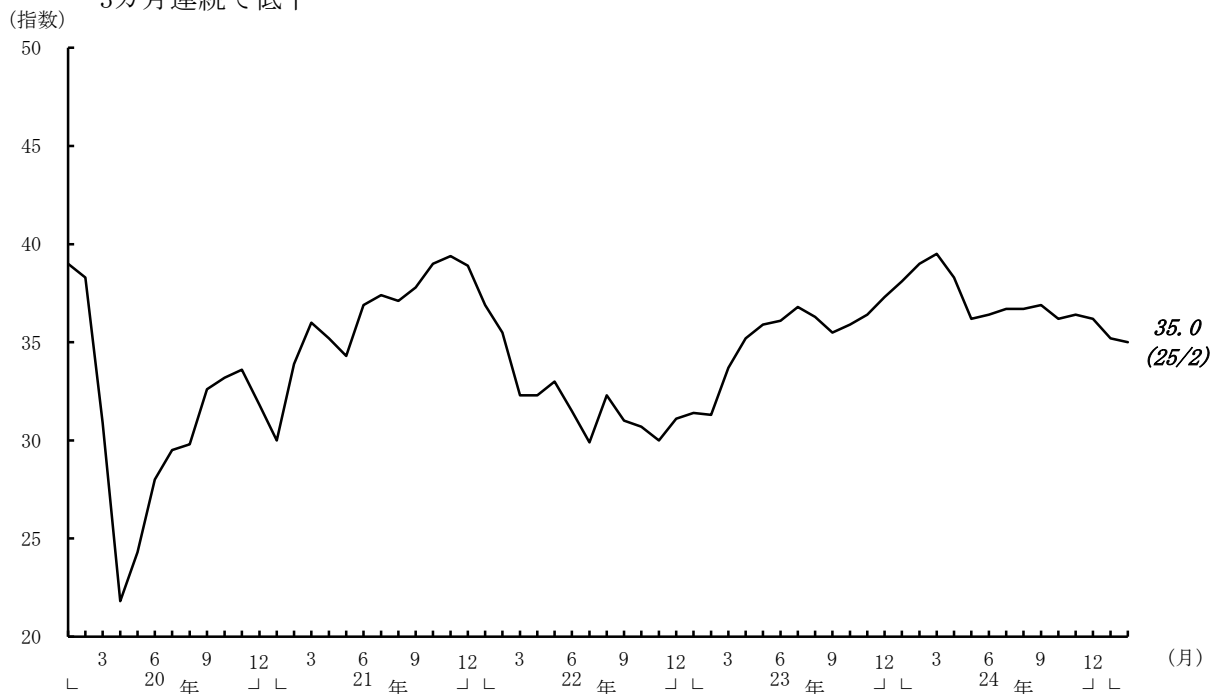
（参考）

（単位：円）

	二人以上の世帯	うち勤労者世帯
2024年平均	300,243	325,137
25年2月	290,511	313,977

図－7 消費者態度指数の動き（二人以上の世帯、季節調整済み）

— 3カ月連続で低下 —

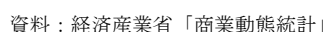


資料：内閣府「消費動向調査」

（注）DIは景気の現状に対する5段階の判断の回答構成比に以下の点数を乗じて合計したもの。

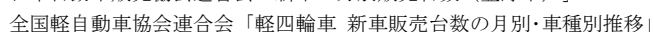
今後半年間で「改善」+0.75、「やや改善」+0.5、「不変」+0.5、「やや悪化」+0.25、「悪化」0

— 2カ月連続でマイナス —



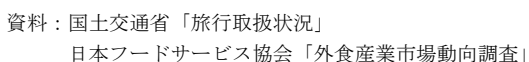
2024年	167,154
25年2月	12,193

— 乗用車合計は3カ月連続でプラス —



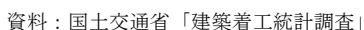
25年3月	288,234	132,639
-------	---------	---------

(%) 一 旅行は10カ月連続でプラス、外食は39カ月連続でプラス 一



(4) 住宅投資

— 10カ月ぶりにプラス —
(%)

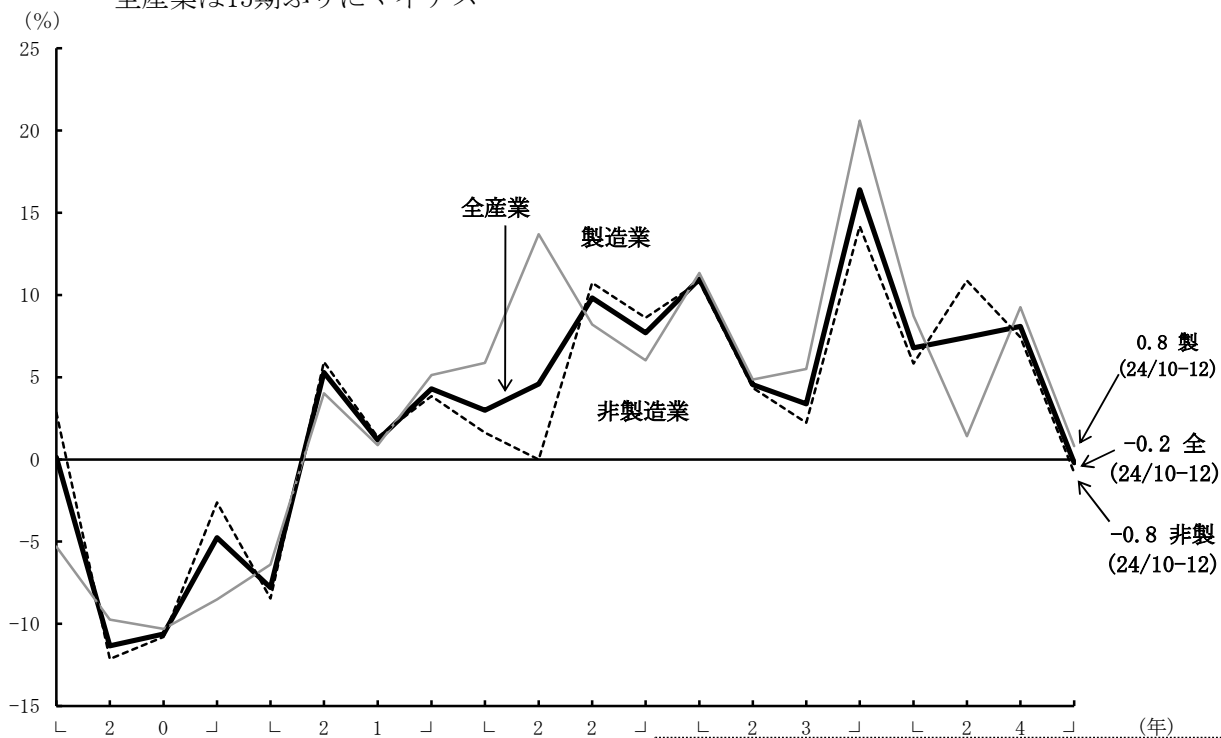


– 9 –

(5) 設備投資

図-12 設備投資額の動き（前年同期比）

— 全産業は15期ぶりにマイナス —



資料：財務省「法人企業統計調査」

(注) 1 全産業は、金融業および保険業を除いたもの。

2 設備投資額には、ソフトウェア投資額が含まれる。

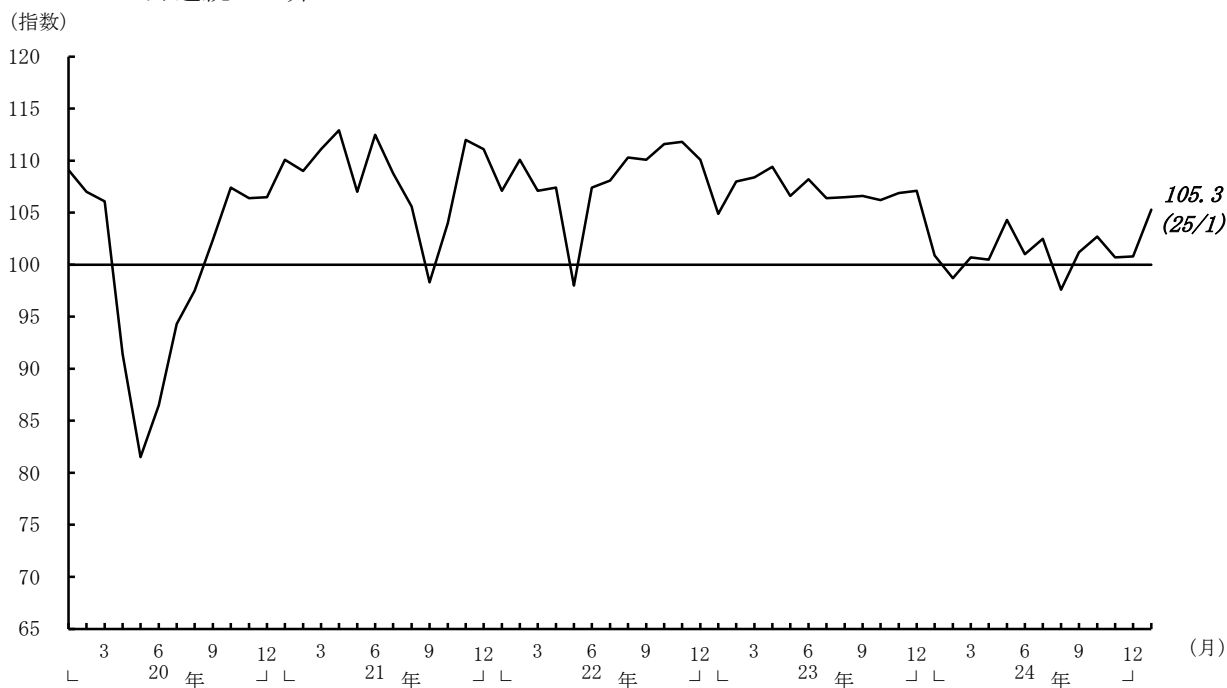
(参考)

(単位：億円)

	全産業	製造業	非製造業
2023年	545,225	192,193	353,032
24年10-12月	144,518	52,442	92,076

図-13 稼働率指数の動き（2020年＝100、季節調整済み）

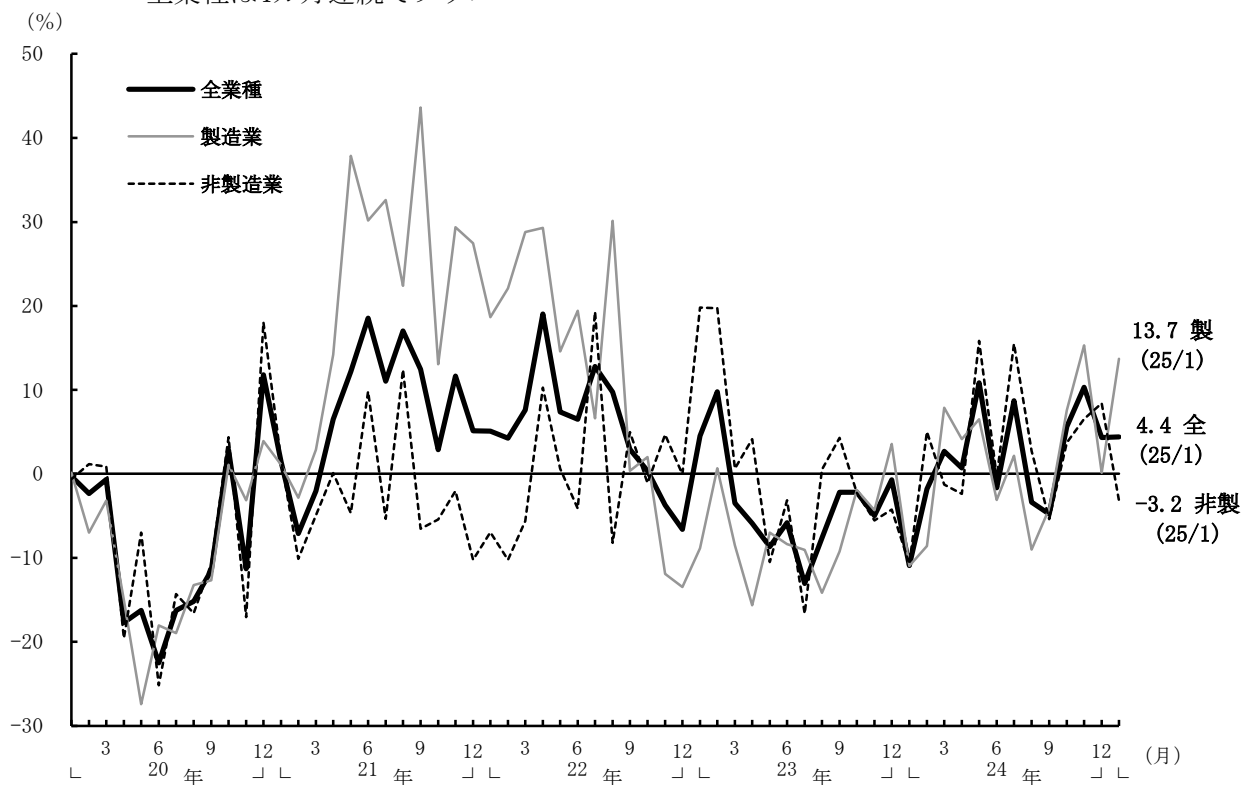
— 2カ月連続で上昇 —



資料：経済産業省「鉱工業指数」

図－14 機械受注額（船舶・電力を除く民需）の動き（前年同月比）

— 全業種は4カ月連続でプラス —

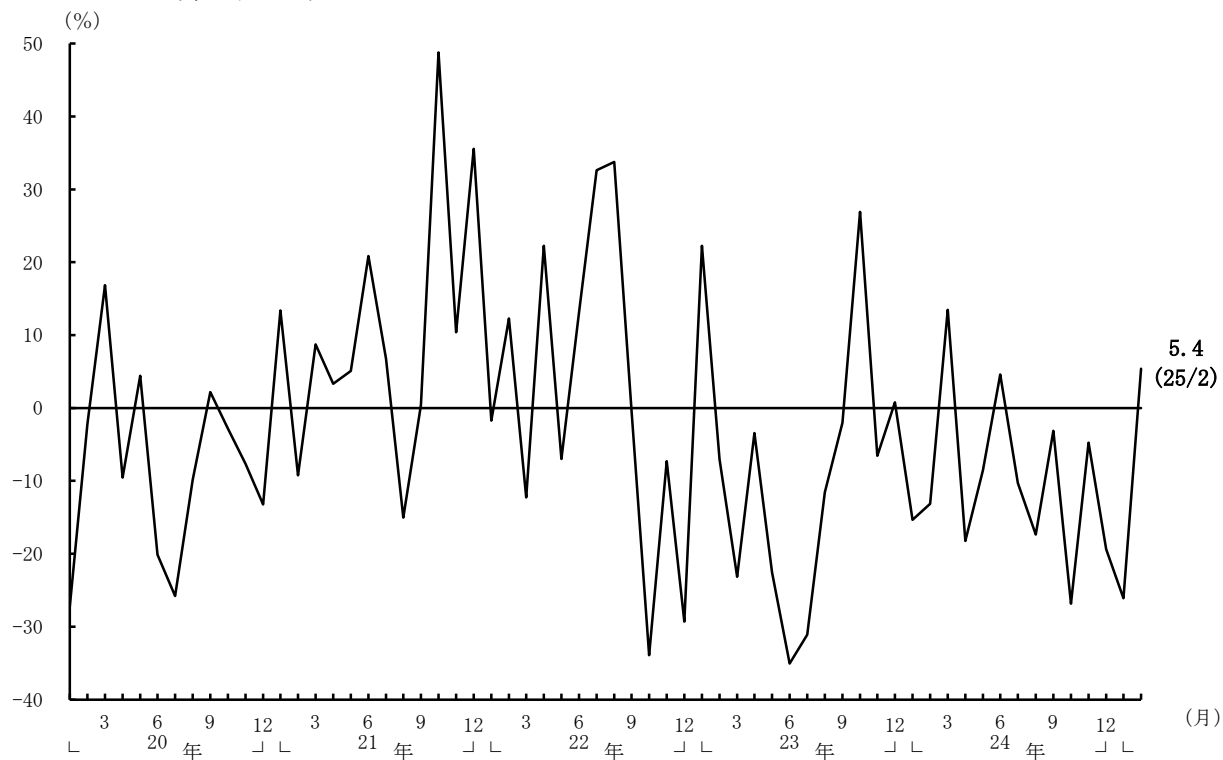


資料：内閣府「機械受注統計調査」

(参考)	(単位：億円)
2024年	105,131
25年1月	6,917

図－15 建築着工床面積（民間非居住用）の動き（前年同月比）

— 8カ月ぶりにプラス —

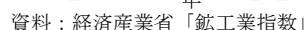


資料：国土交通省「建築着工統計調査」

(参考)	(単位：千㎡)
2024年	35,072
25年2月	2,943

図-16 鉱工業生産・出荷指数の動き（2020年=100、季節調整済み）

(指数)



— 在庫は2カ月ぶりに低下、在庫率は3カ月連続で低下 —

(指数)

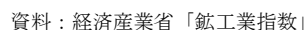
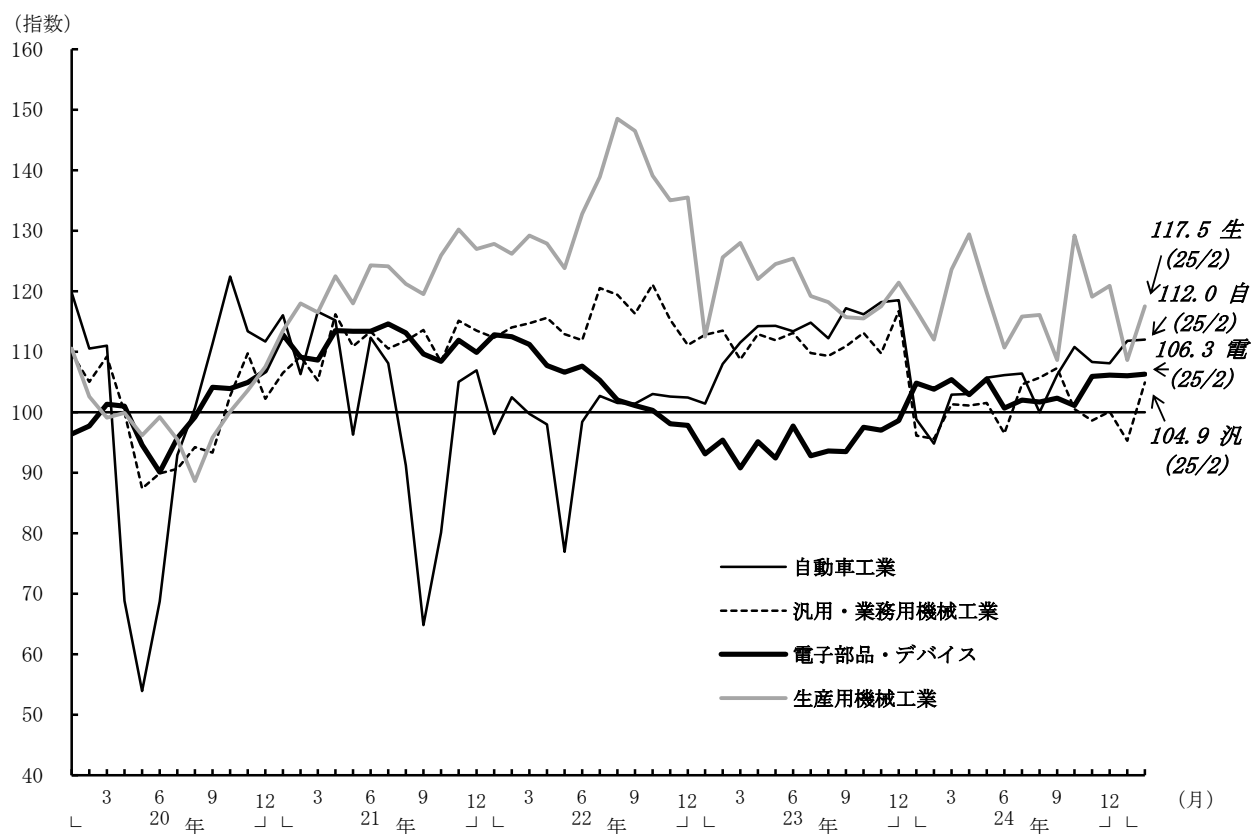


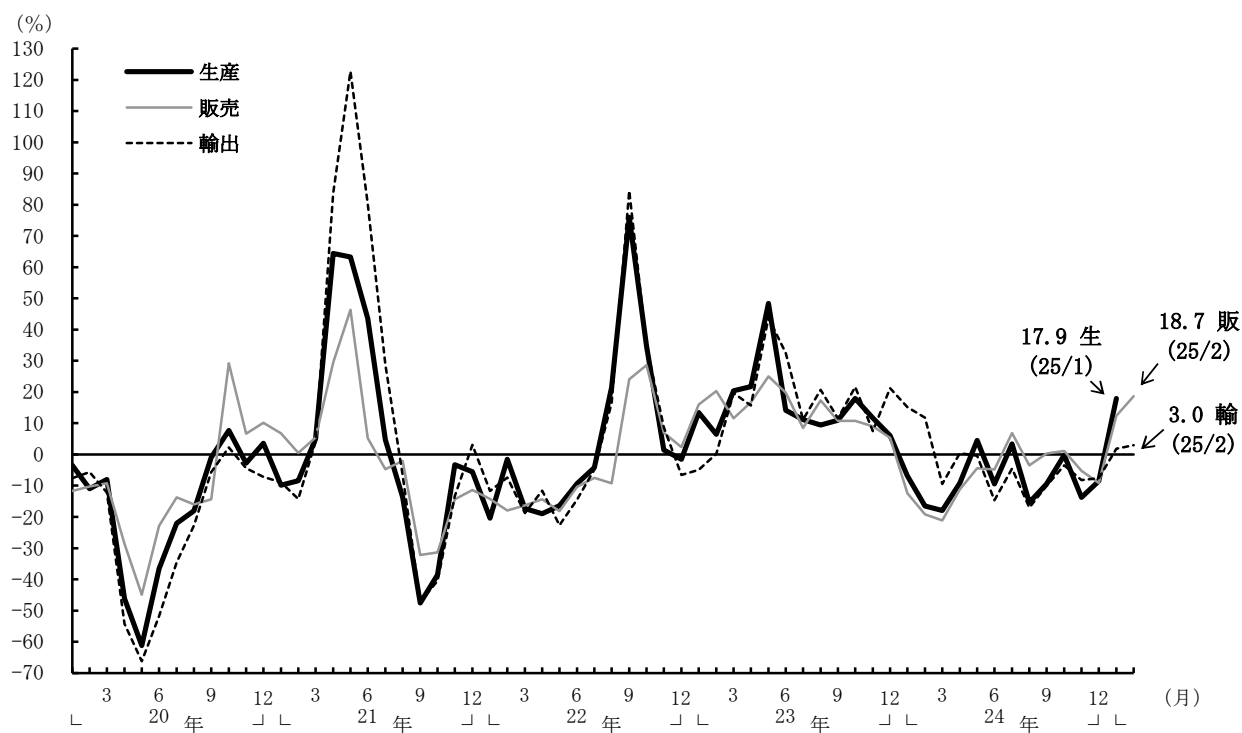
図-18 商品別鉱工業生産指数の動き（2020年=100、季節調整済み）



資料：經濟產業省「鉍工業指數」

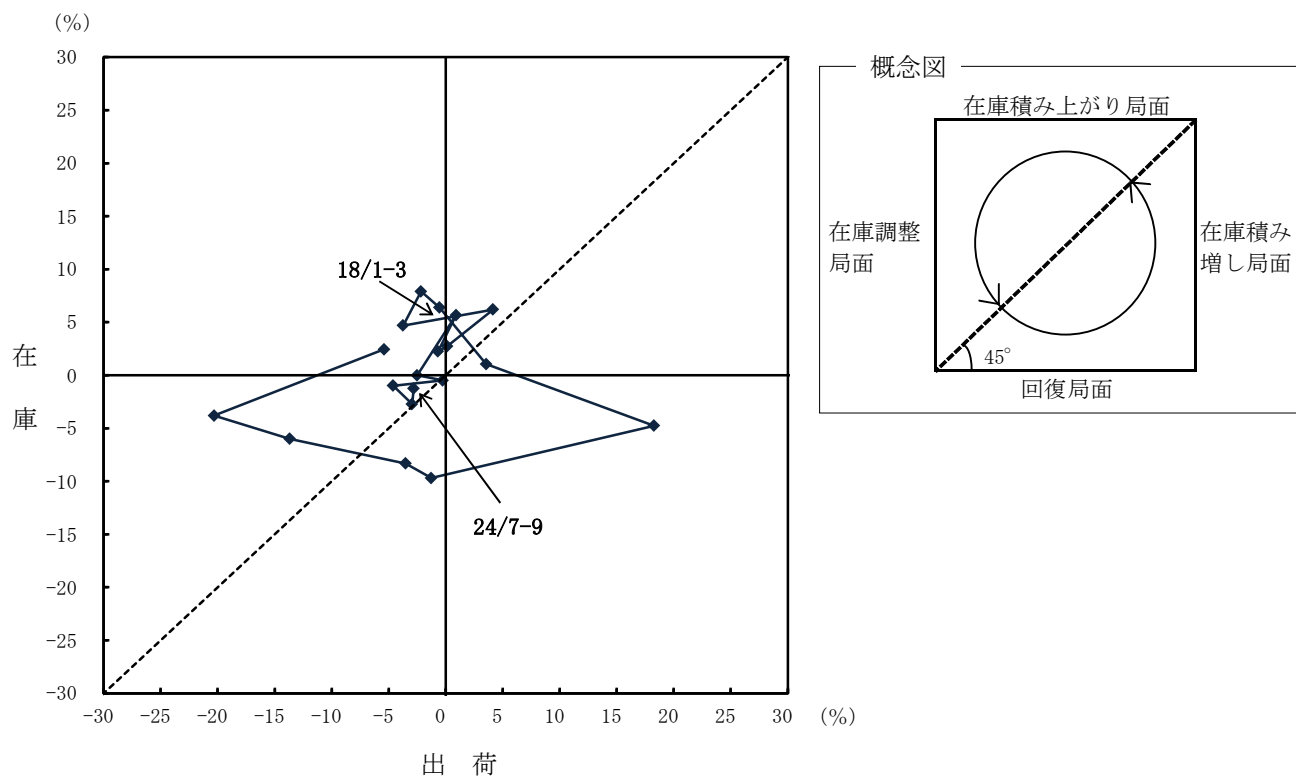
図-19 四輪車の国内生産・販売・輸出台数の動き（前年同月比）

— 生産は6カ月ぶりにプラス、販売は2カ月連続でプラス、輸出は2カ月連続でプラス —



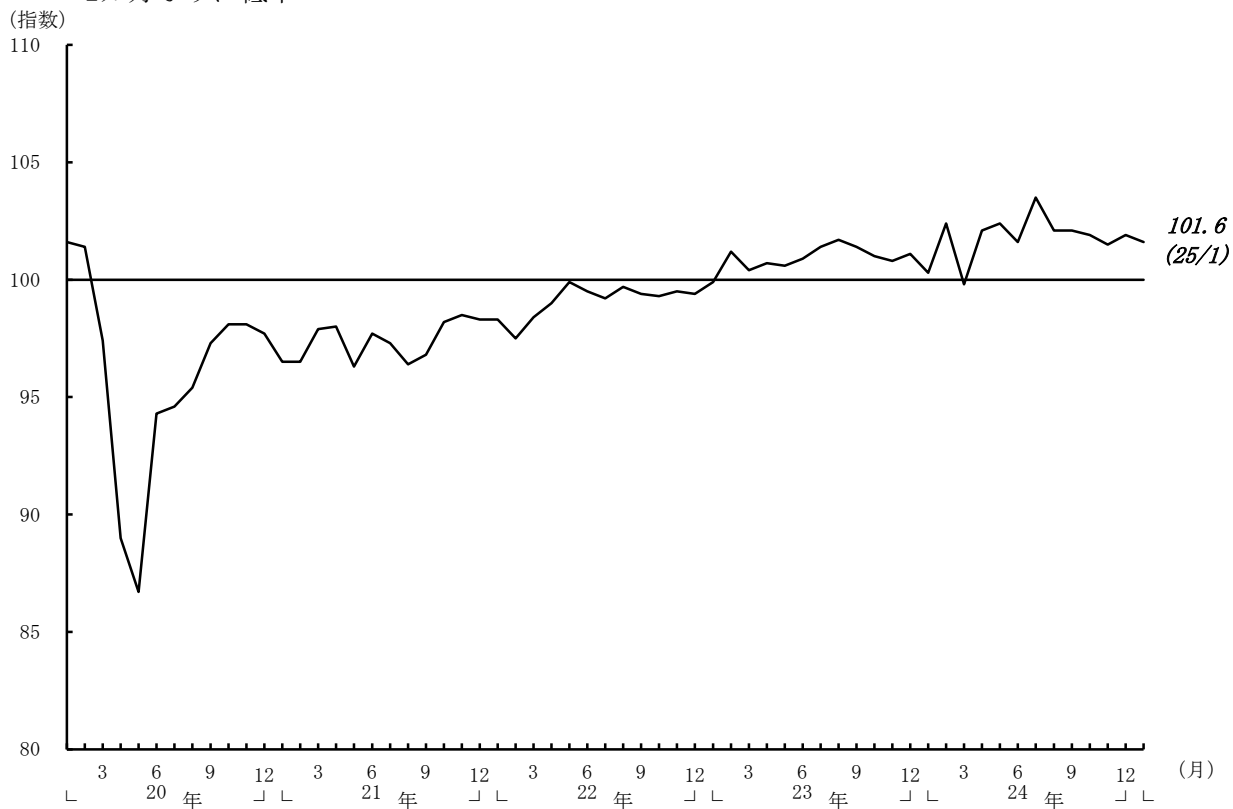
資料：日本自動車工業会「自動車統計月報」

図－20 在庫循環図（鉱工業全体、前年同期比）



資料：経済産業省「鉱工業指数」

図－21 第3次産業活動指数の動き（2015年＝100、季節調整済み）
— 2カ月ぶりに低下 —

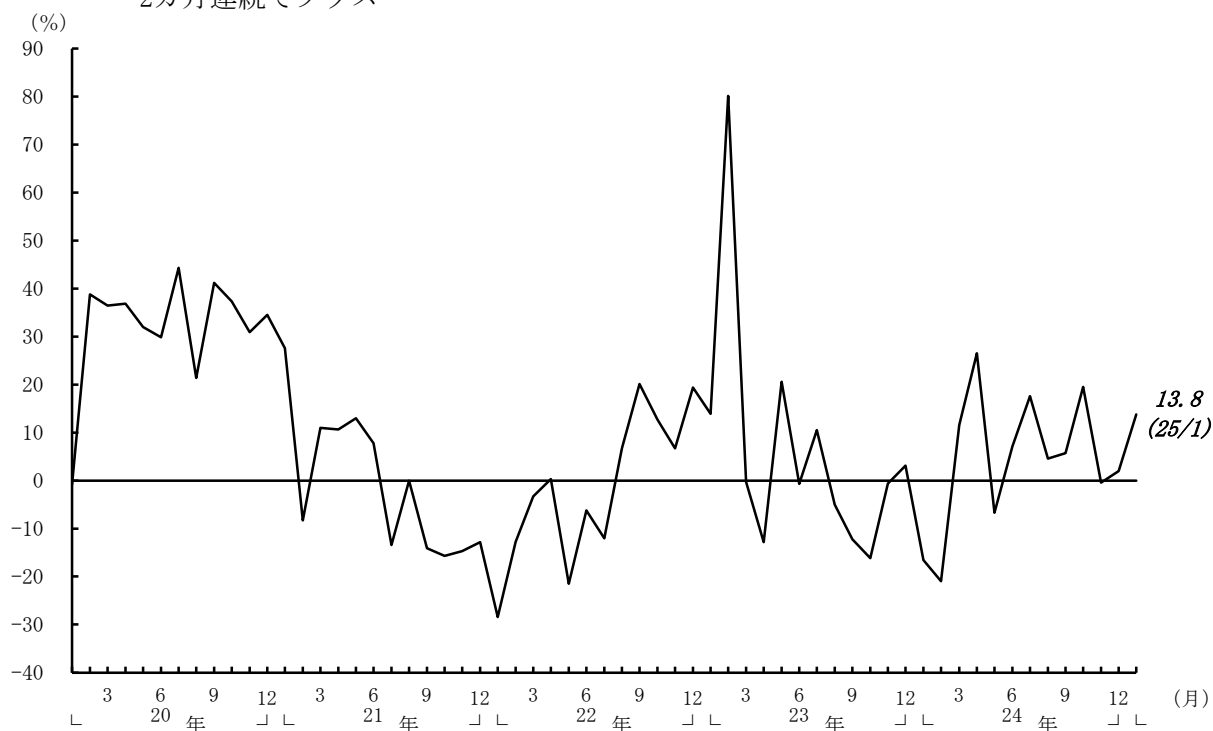


資料：経済産業省「第3次産業活動指数」

(7) 公共投資

図-22 公共工事受注額の動き（前年同月比）

— 2カ月連続でプラス —



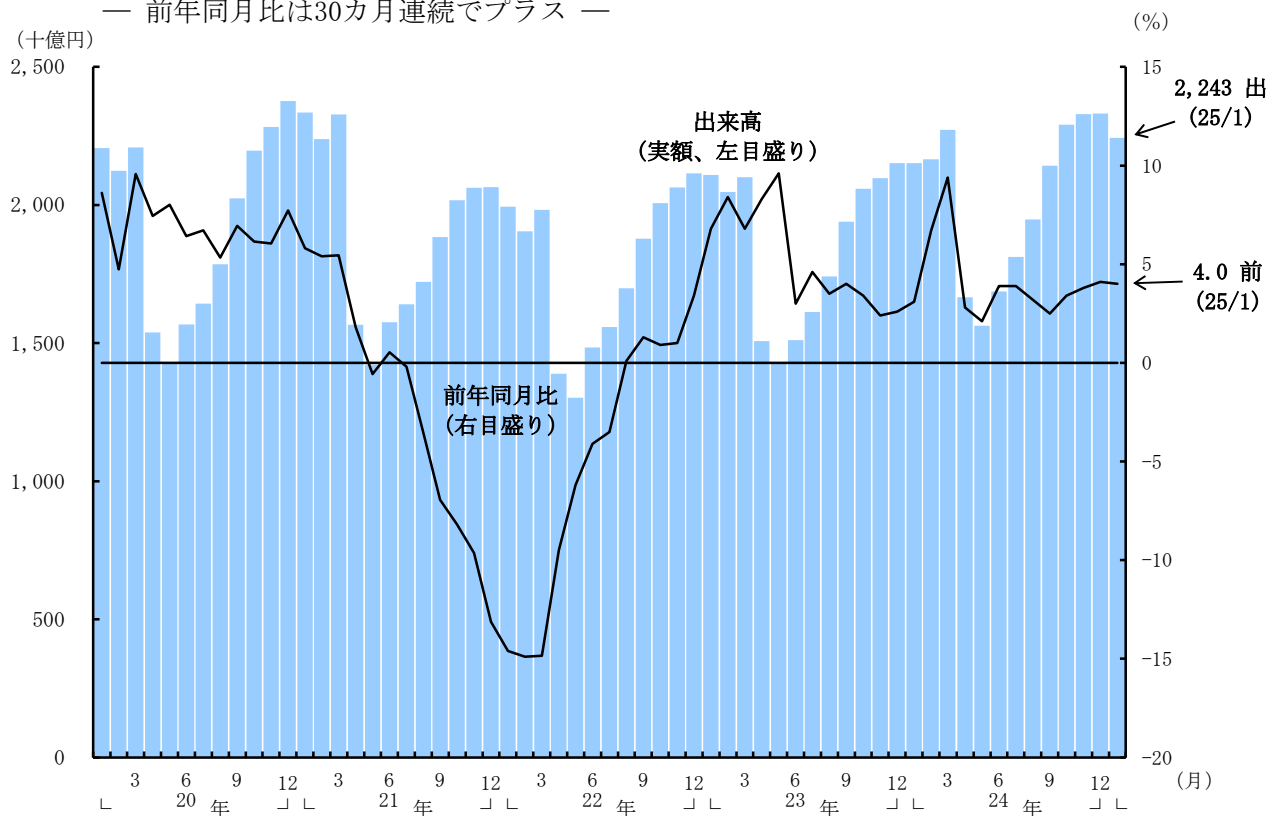
資料：国土交通省「建設工事受注動態統計調査」

(注) 公共機関からの受注工事（1件500万円以上の工事）の合計値を採用。

(参考)	(単位：十億円)
2024年	22,147
25年1月	1,060

図一23 公共工事出来高の動き（実額・前年同月比）

— 前年同月比は30カ月連続でプラス —



資料：国土交通省「建設総合統計」

(注) 2017年4月分より「建設工事受注動態統計調査」の新推計の数値を用いて推計している。

(8) 国際取引

図-24 国際収支の動き

— 貿易収支は3カ月ぶりにマイナス —

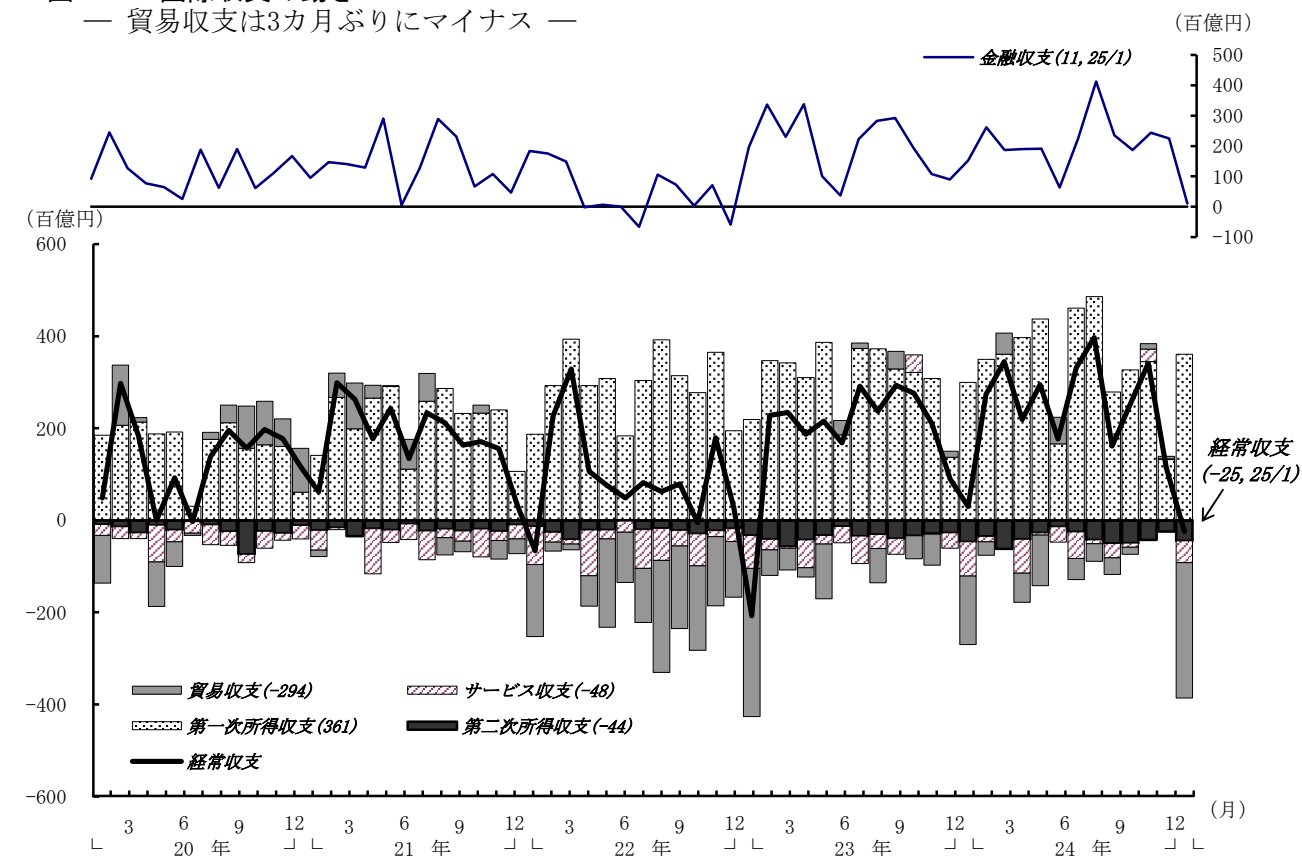
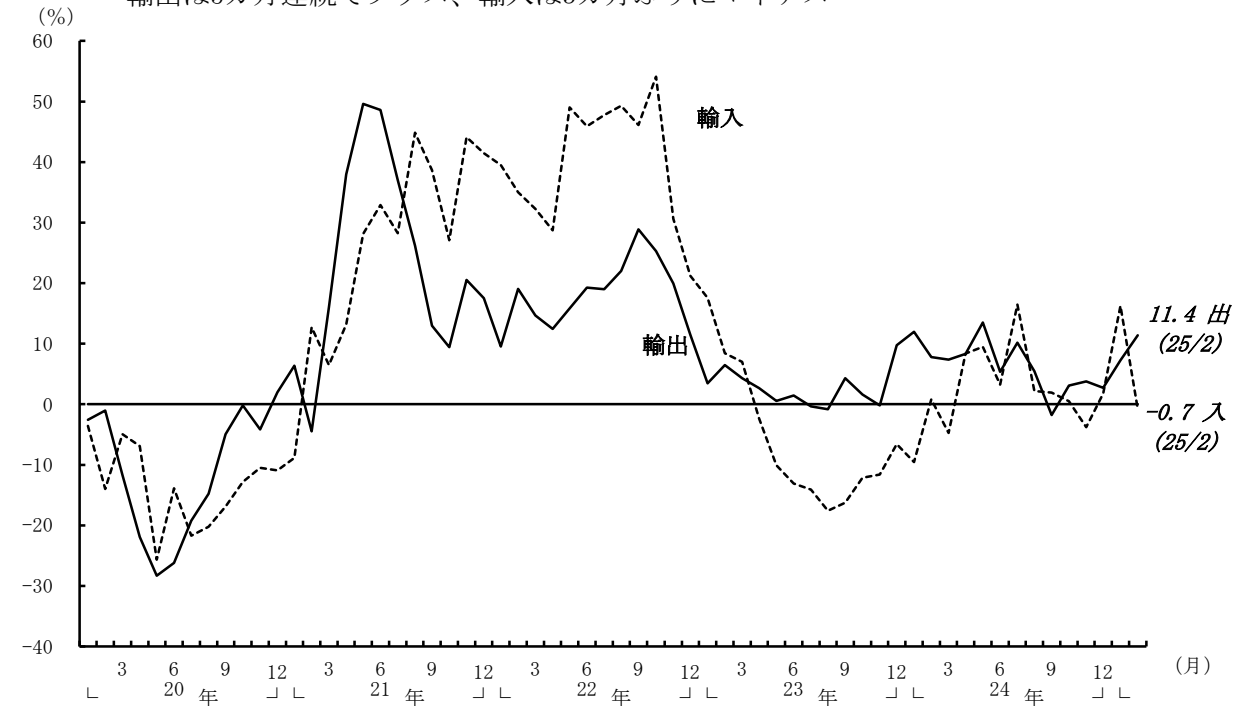


図-25 輸出入額の動き (円ベース・前年同月比)

— 輸出は5カ月連続でプラス、輸入は3カ月ぶりにマイナス —



(参考)		(単位：億円)	
	輸出	輸入	
2024年	1,070,879	1,125,591	
25年2月	91,901	85,996	

図-26 商品別輸出額の動き（円ベース・前年同月比）

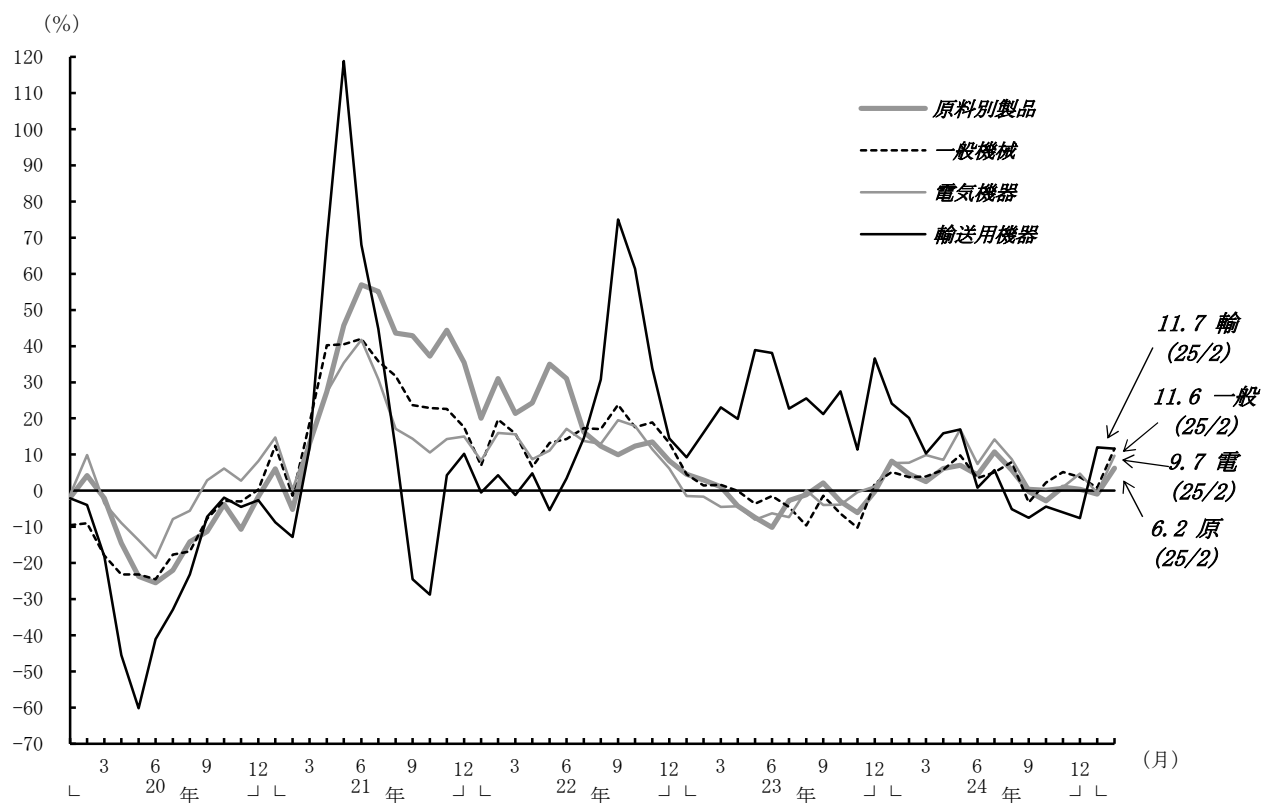
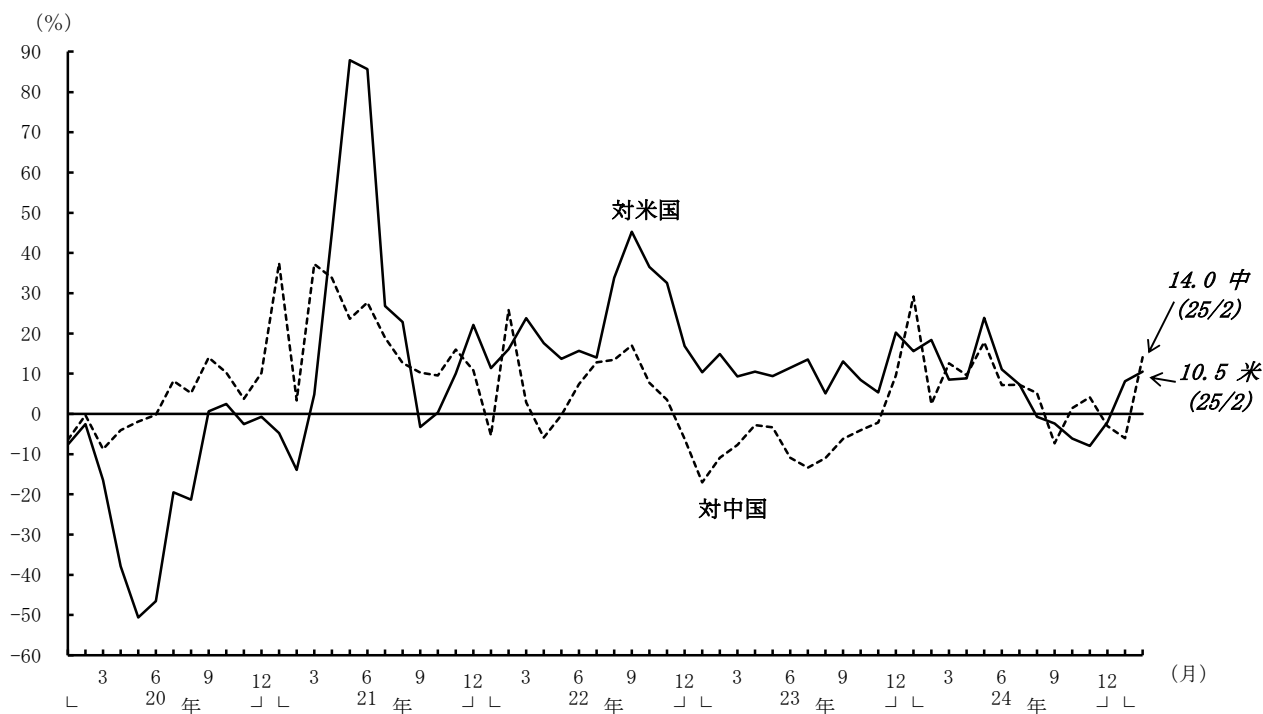


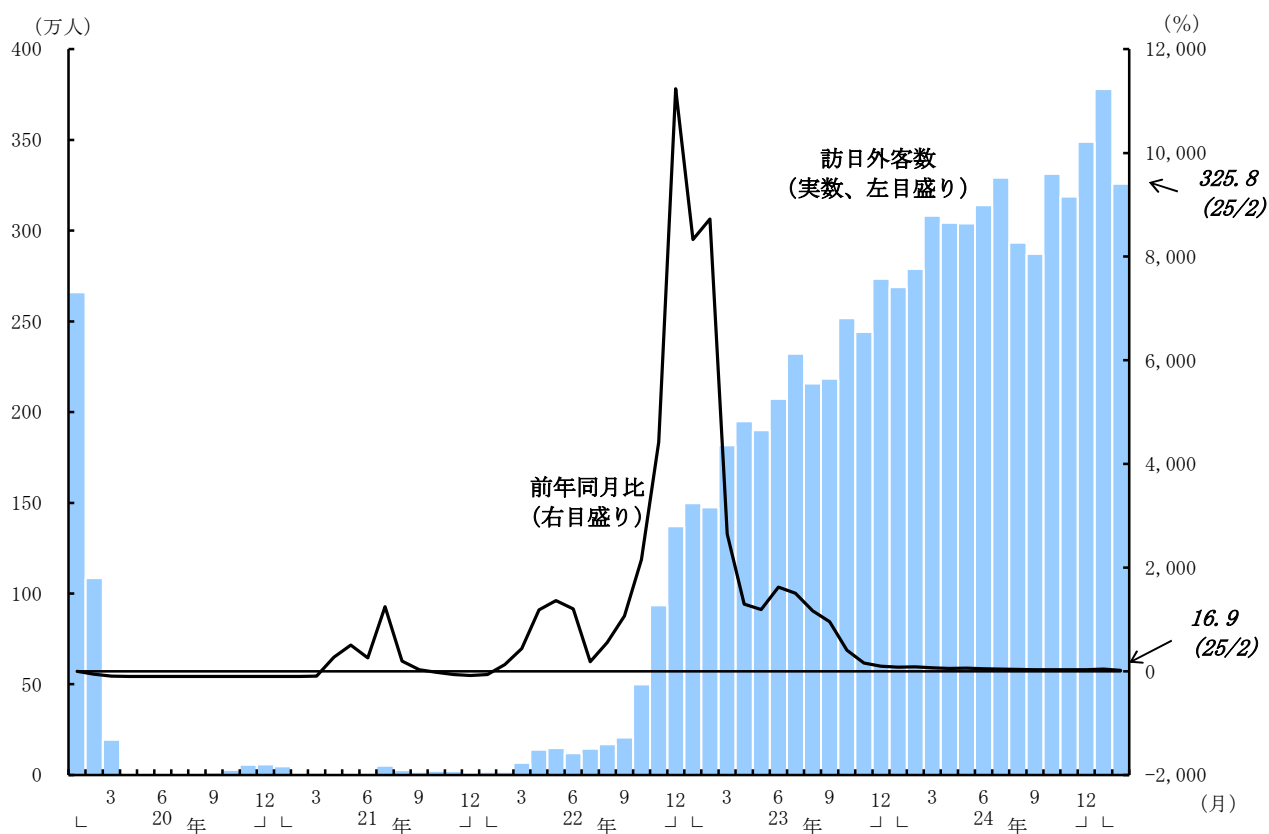
図-27 相手国別輸出額の動き（円ベース・前年同月比）

— 対米国は2カ月連続でプラス、対中国は3カ月ぶりにプラス —



(参考)		(単位：億円)	
		対米国	対中国
2024年		212,952	188,649
25年2月		19,048	15,380

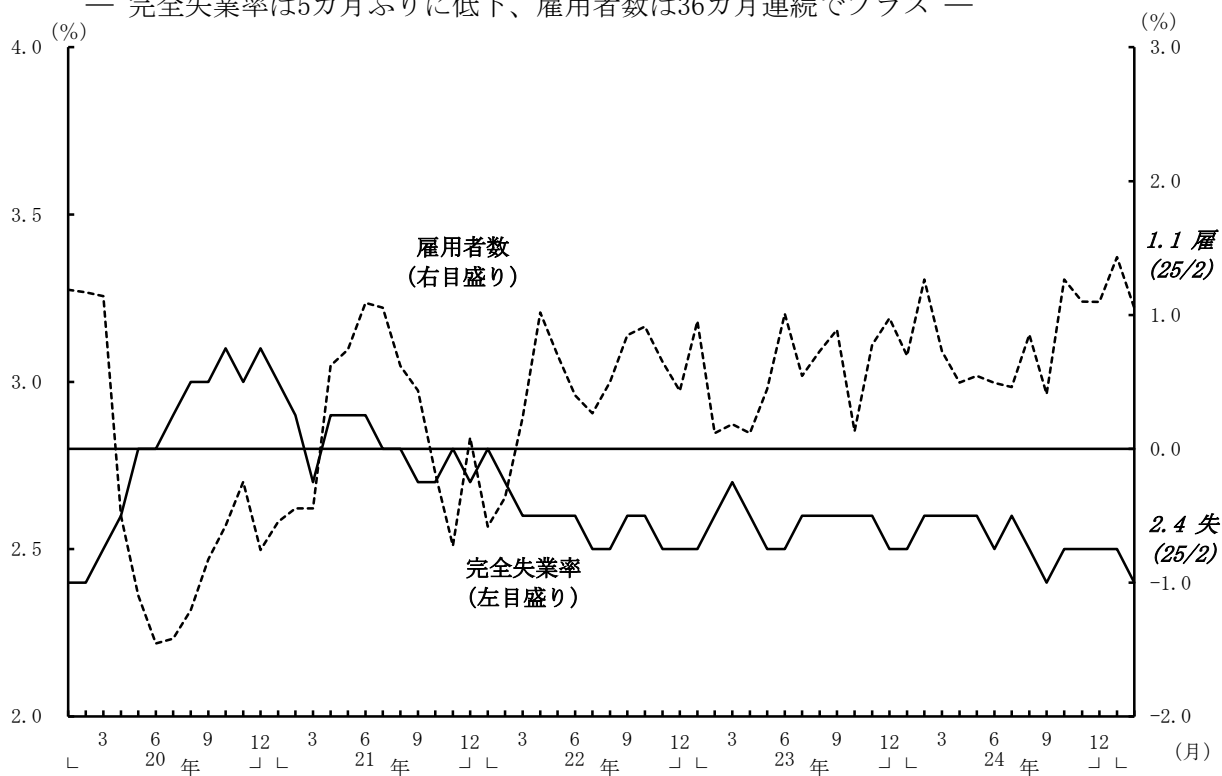
図-28 訪日外客数の動き
— 訪日外客数は3カ月ぶりに減少 —



資料: 日本政府観光局 (JNTO) 「訪日外客統計」

(9) 雇用

図-29 完全失業率 (季節調整済み) と雇用者数 (前年同月比) の動き
— 完全失業率は5カ月ぶりに低下、雇用者数は36カ月連続でプラス —

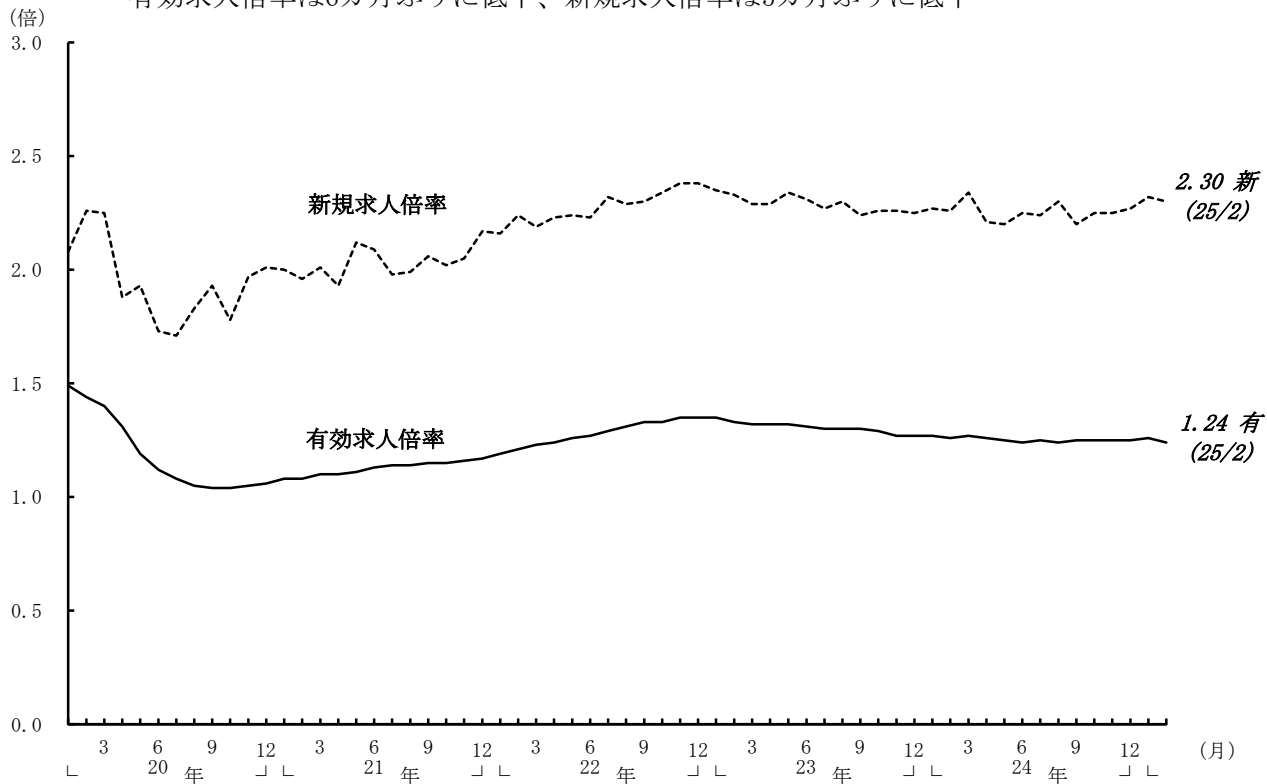


資料: 総務省「労働力調査」

図-30 有効求人倍率、新規求人倍率の動き

(新規学卒者を除きパートタイムを含む、季節調整済み)

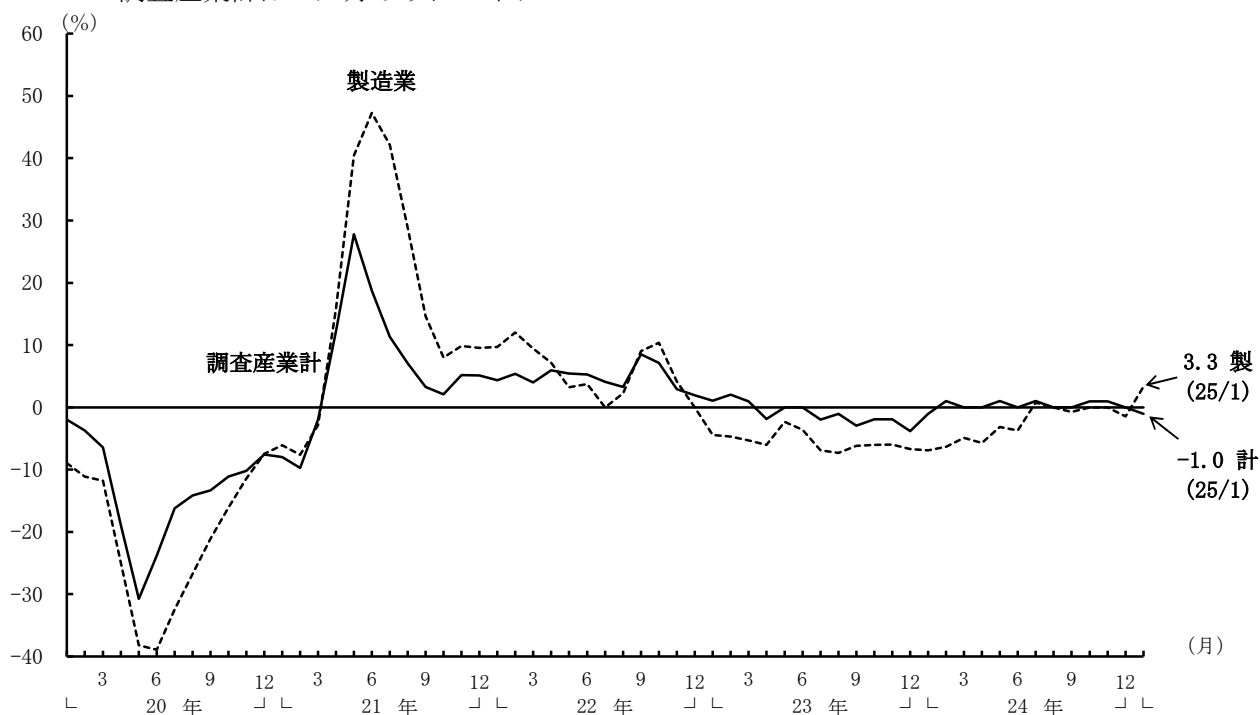
— 有効求人倍率は6カ月ぶりに低下、新規求人倍率は5カ月ぶりに低下 —



資料：厚生労働省「一般職業紹介状況」

図-31 所定外労働時間の動き（事業所規模5人以上、前年同月比）

— 調査産業計は12カ月ぶりにマイナス —

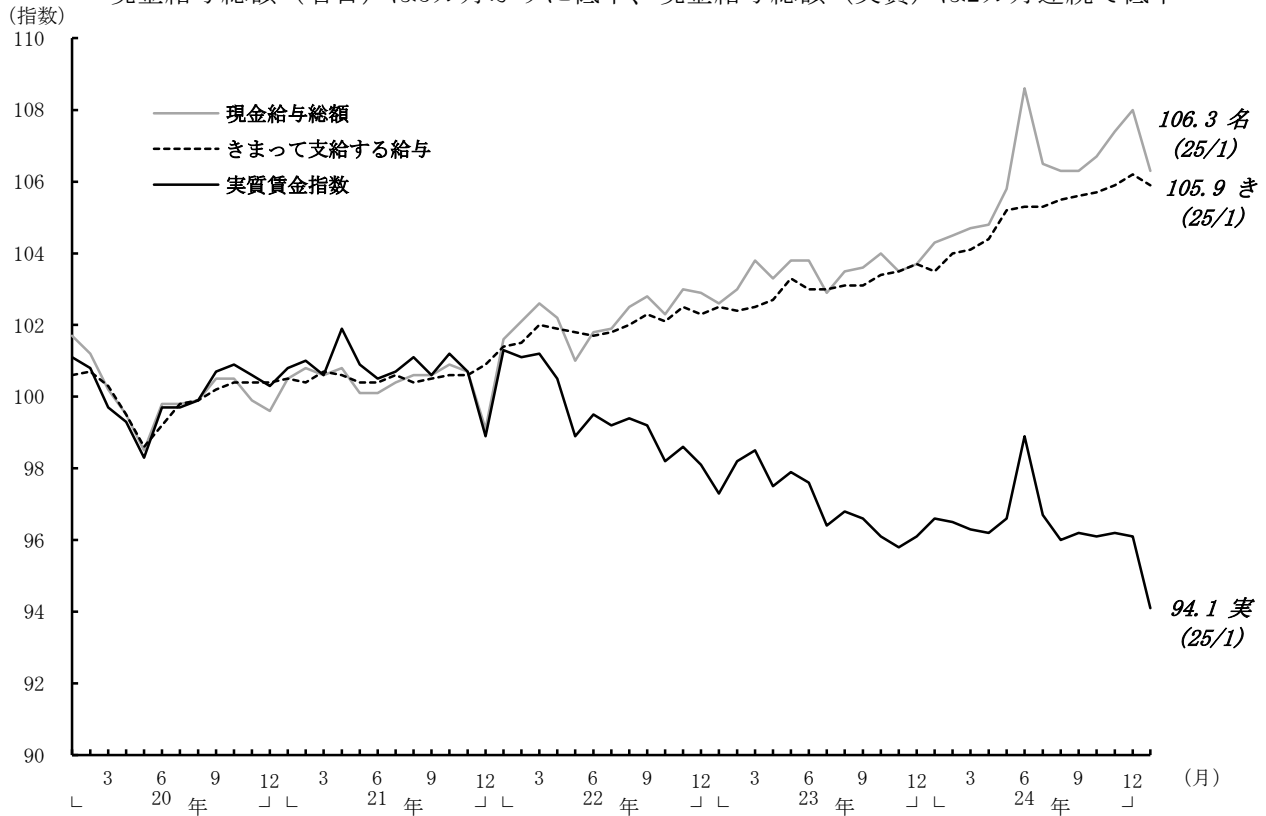


資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

(参考)	(単位：時間)	
	調査産業計	製造業計
2024年平均	10.1	13.3
25年1月	9.5	12.5

図-32 賃金指数の動き（事業所規模5人以上、2020年＝100、季節調整済み）

— 現金給与総額（名目）は5カ月ぶりに低下、現金給与総額（実質）は2カ月連続で低下 —

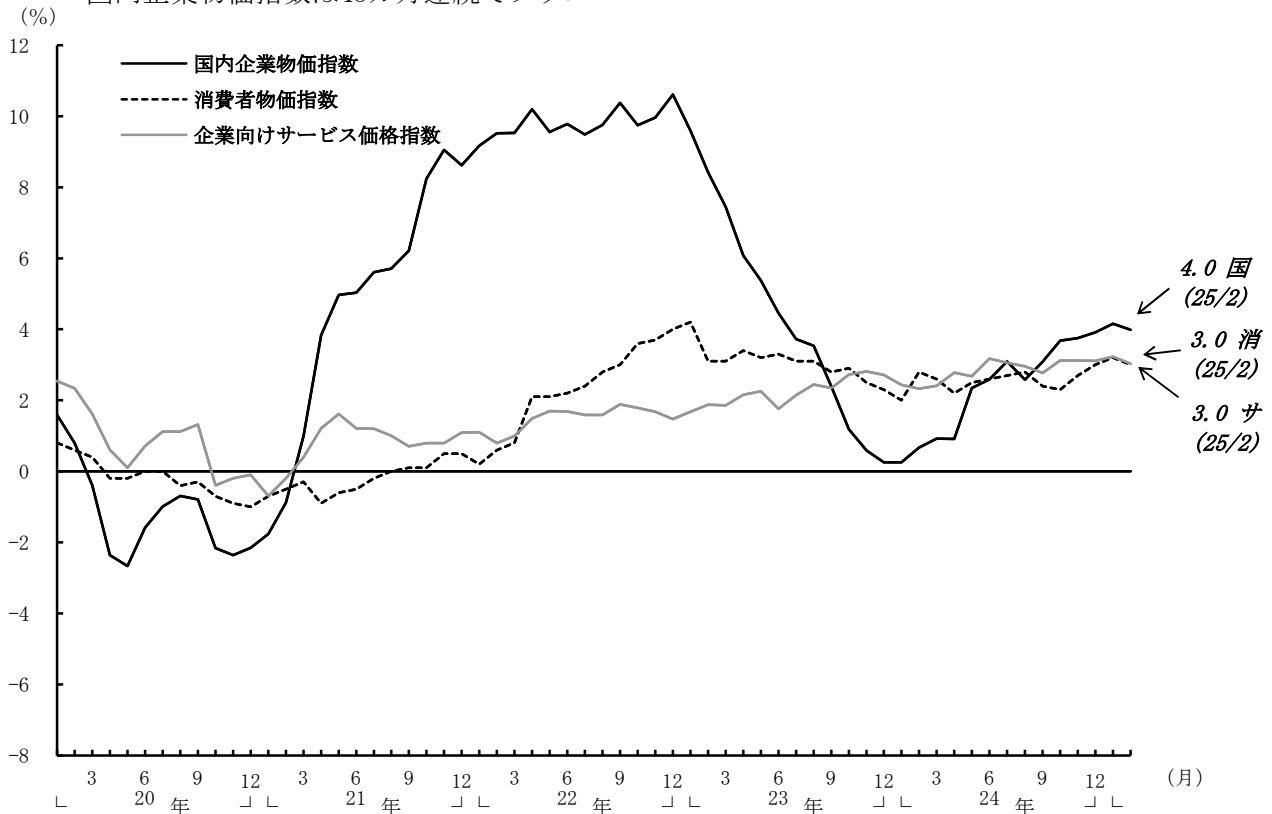


資料：厚生労働省「毎月勤労統計調査」

（10）物価

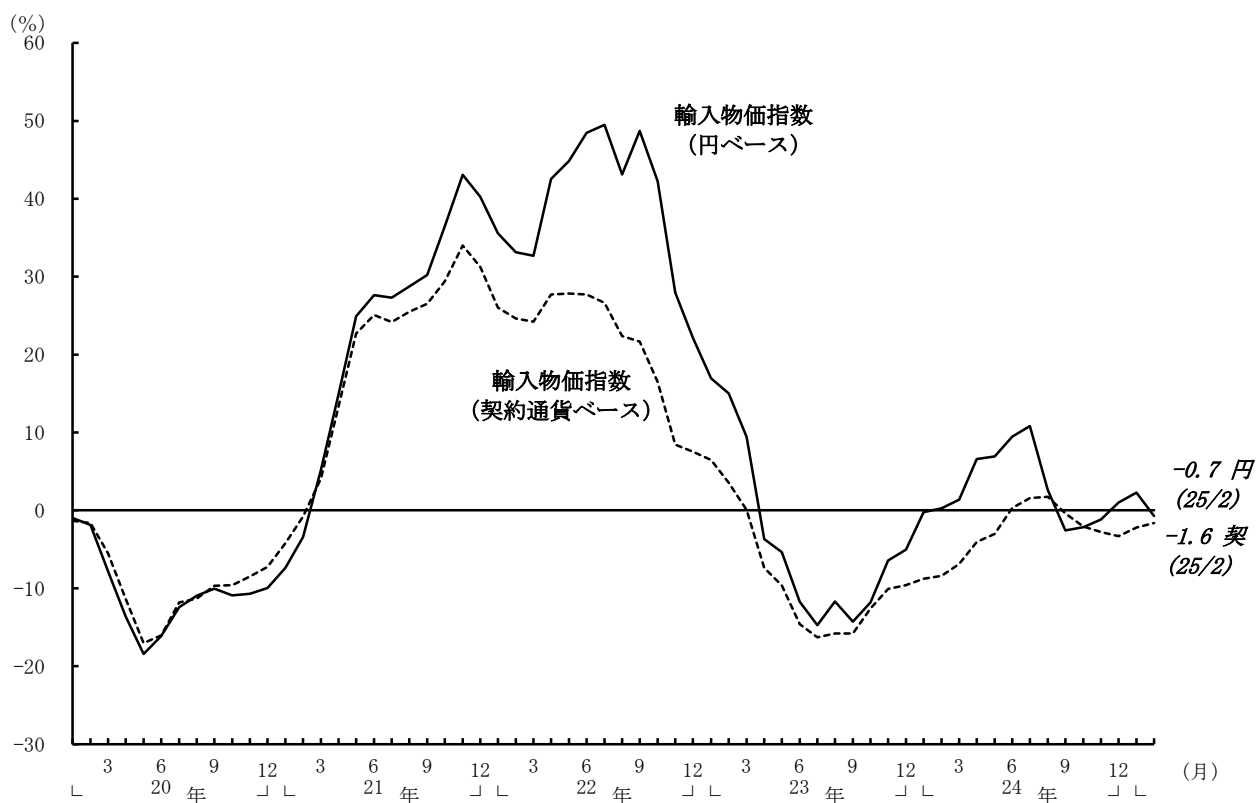
図-33 物価指数、サービス価格指数の動き（前年同月比）

— 国内企業物価指数は48カ月連続でプラス —



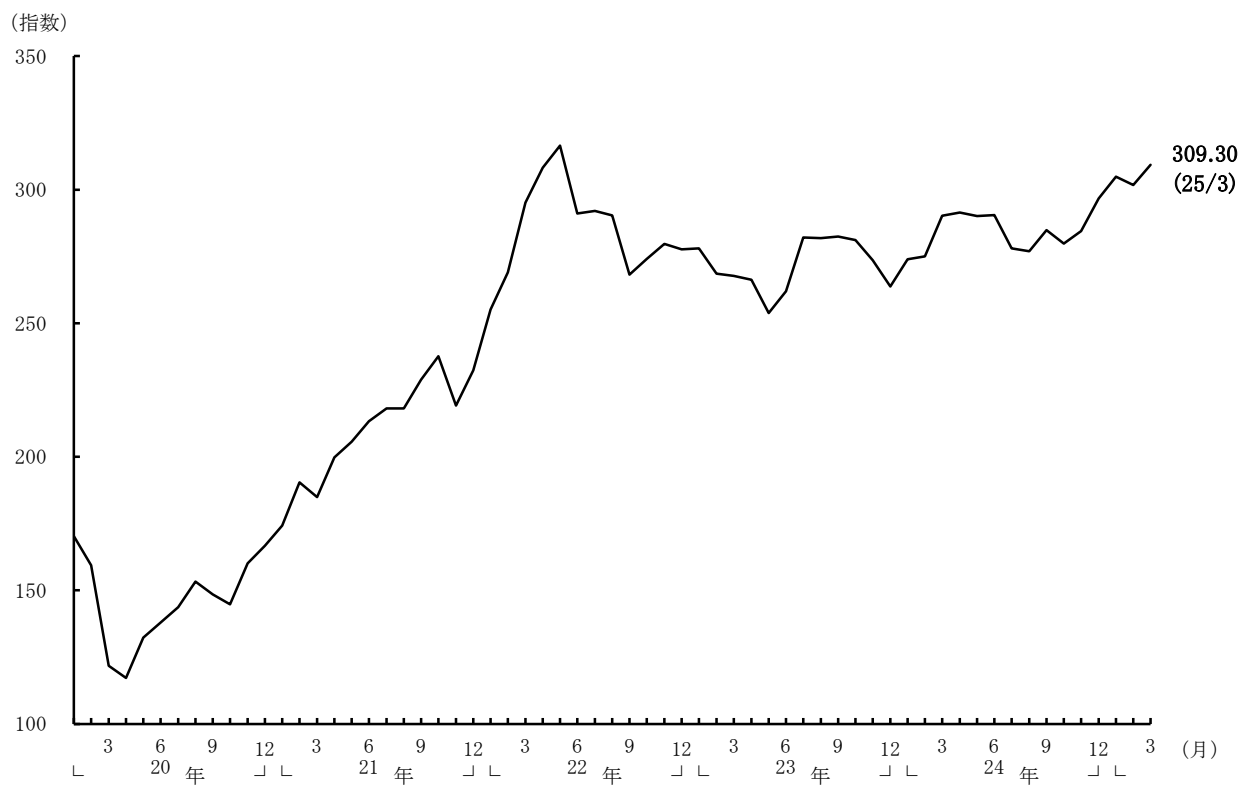
資料：日本銀行「企業物価指数」「企業向けサービス価格指数」、総務省「消費者物価指数」

図-34 輸入物価指数の動き（前年同月比）
 — 輸入物価指数（円ベース）は3カ月ぶりにマイナス —



資料：日本銀行「企業物価指数」

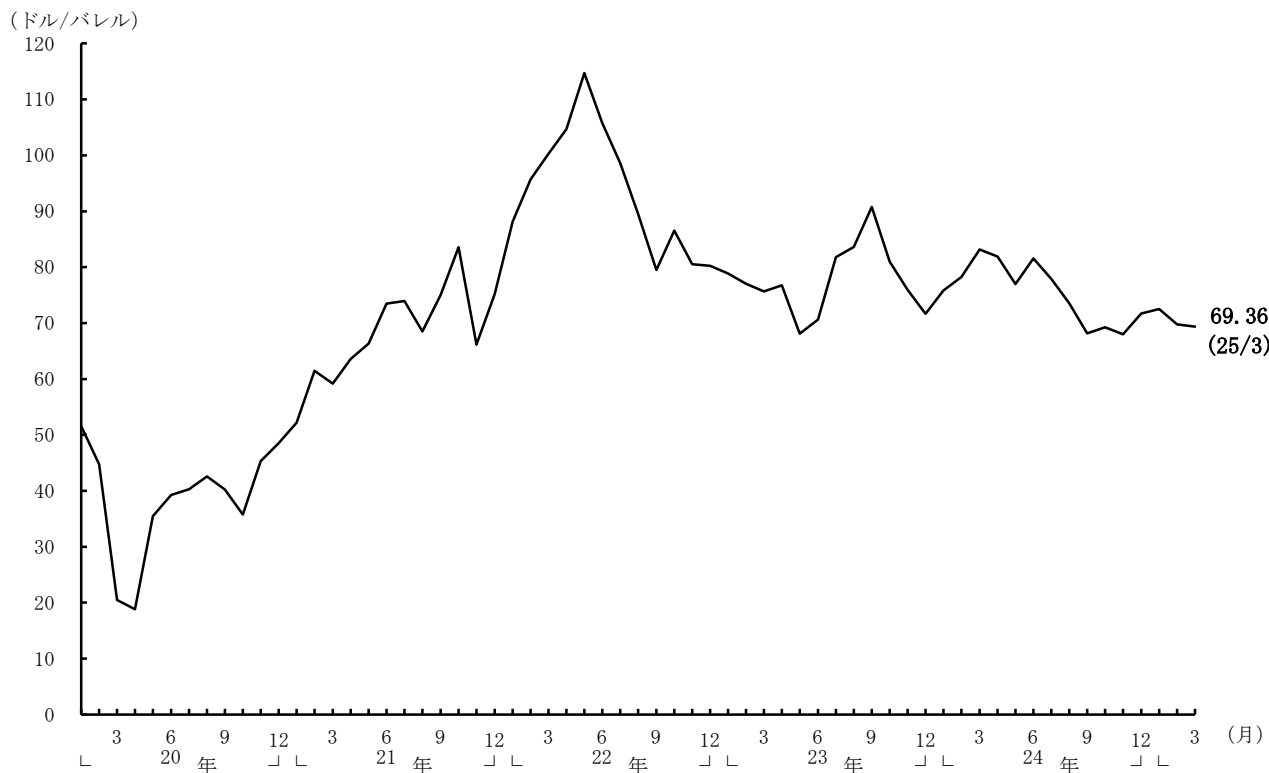
図-35 ロイター・ジェフリーズCRB指数の動き（1967年=100）
 —2カ月ぶりに上昇—



資料：ブルームバーグホームページ

(11) 原油・素材

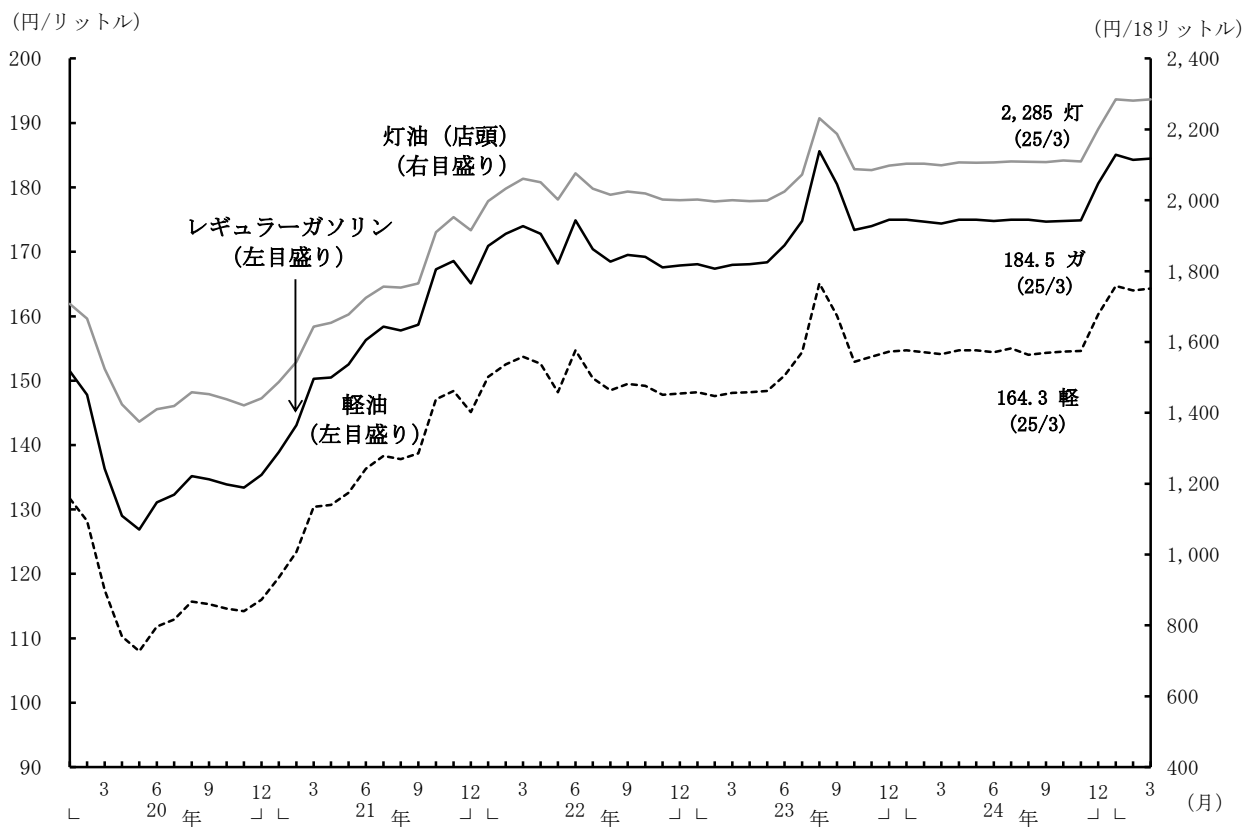
図-36 原油価格（WTI）の動き



資料：日本経済新聞社調べ

(注) 期近物の終値。

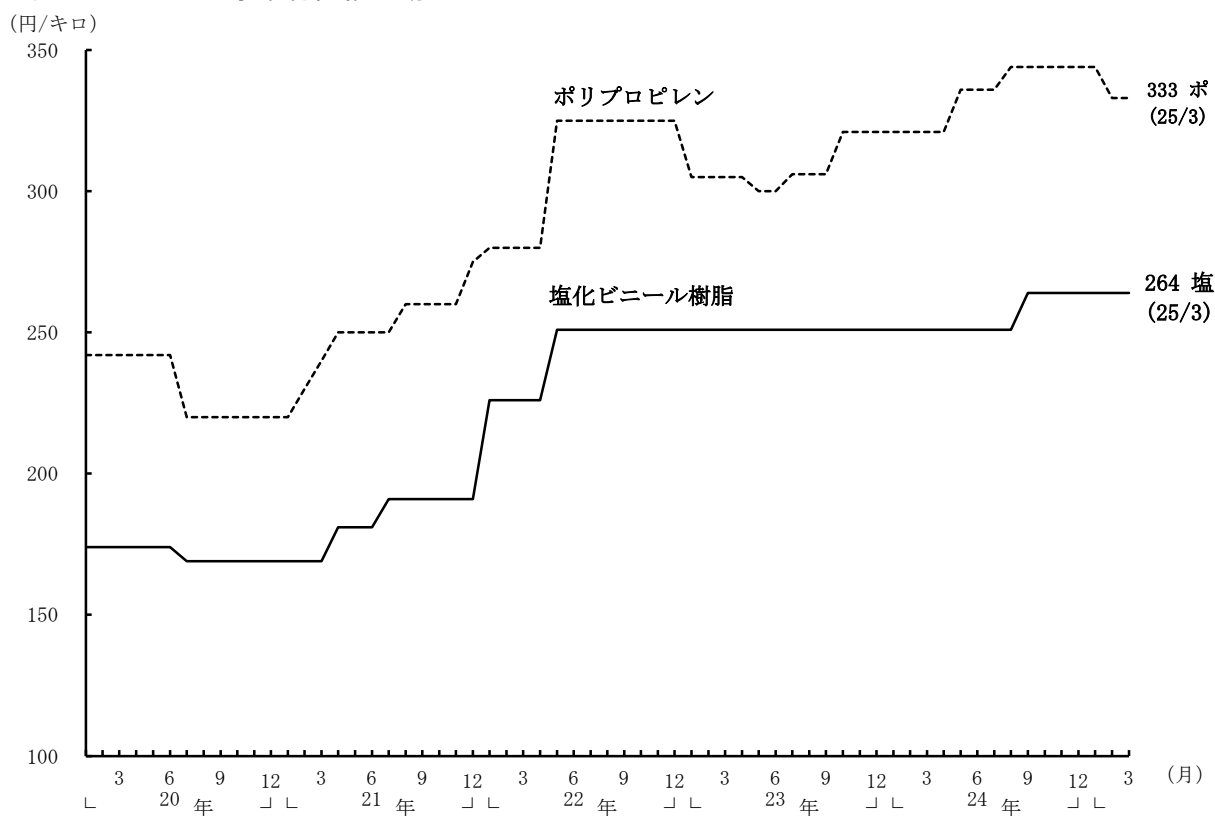
図-37 給油所石油製品市況の動き（油種別、全国平均）



資料：経済産業省 資源エネルギー庁「石油製品価格調査」

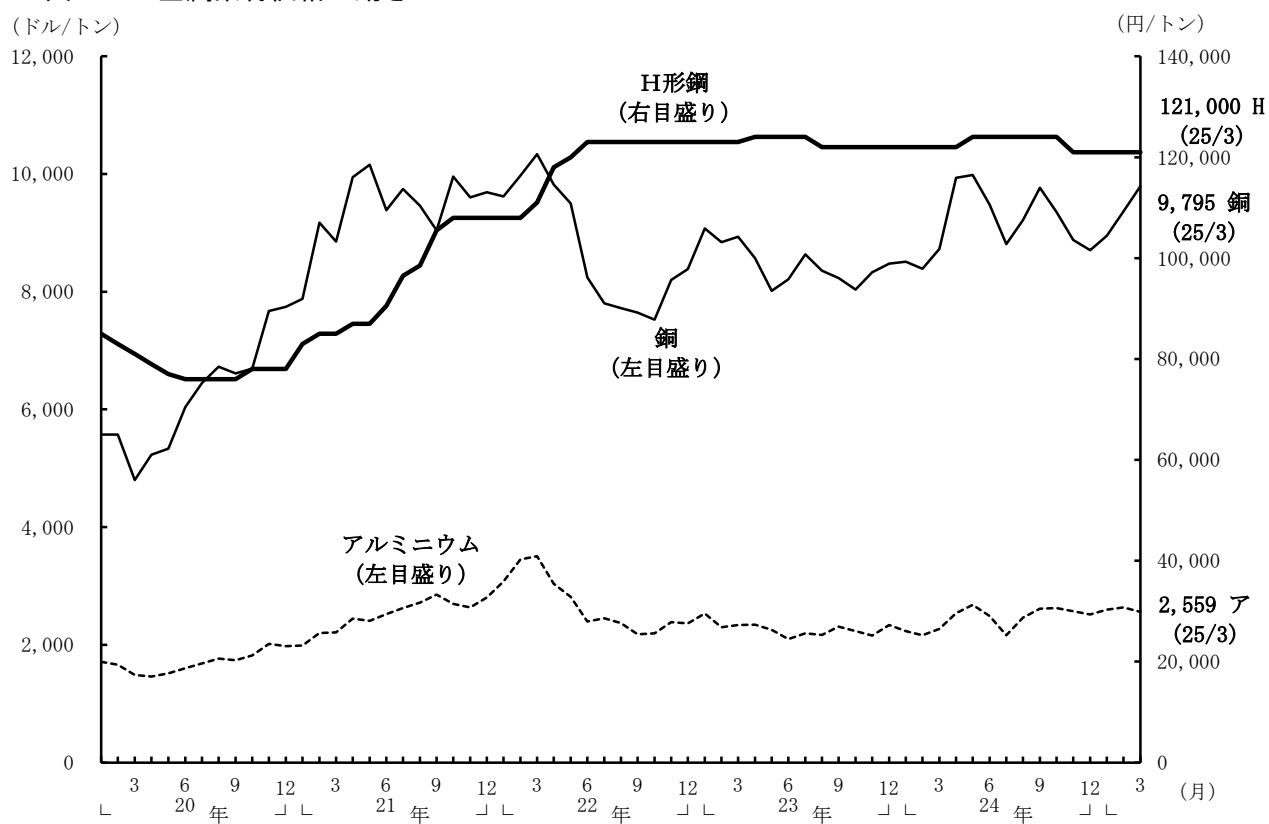
(注) 価格は消費税込みで、各月における最終週の値。

図－38 石油化学素材価格の動き



資料：日本経済新聞社調べ

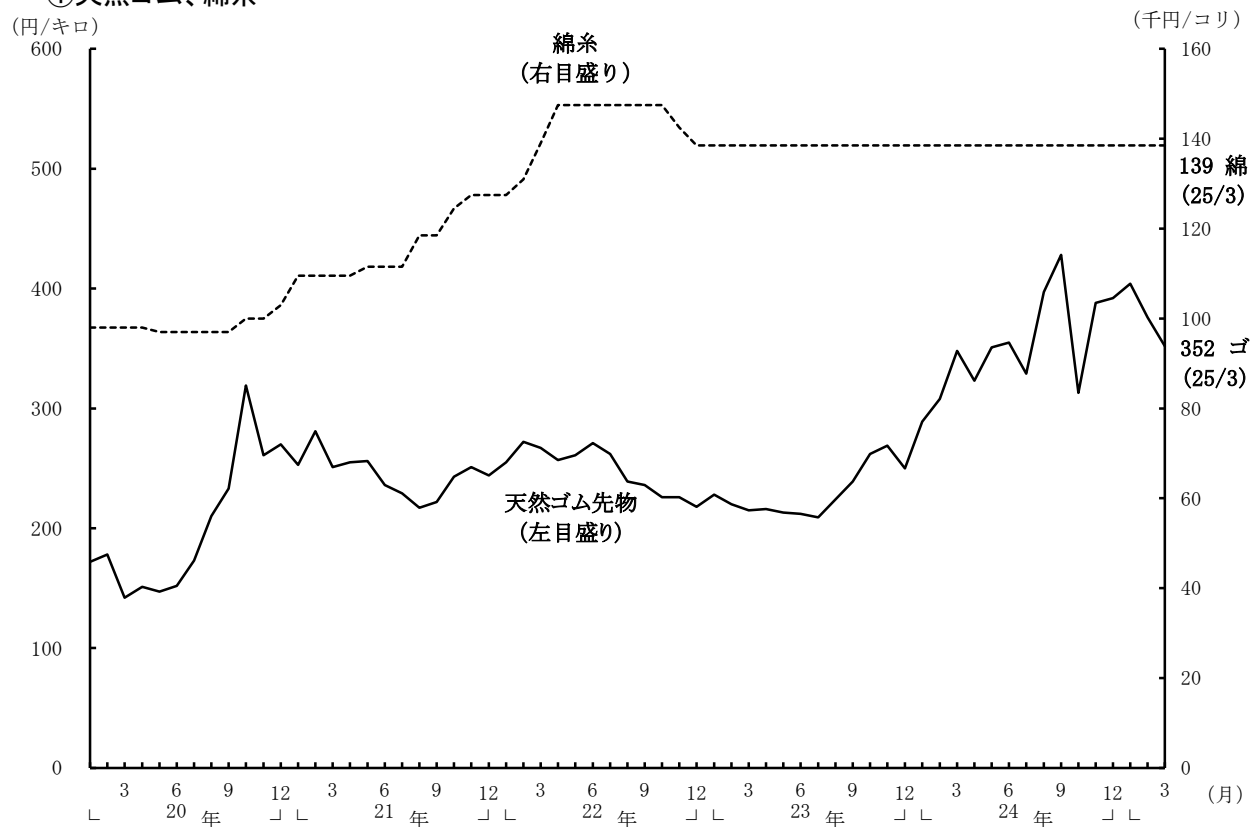
図－39 金属素材価格の動き



資料：日本経済新聞社調べ

図－40 その他の素材価格の動き

①天然ゴム、綿糸



②木材、段ボール

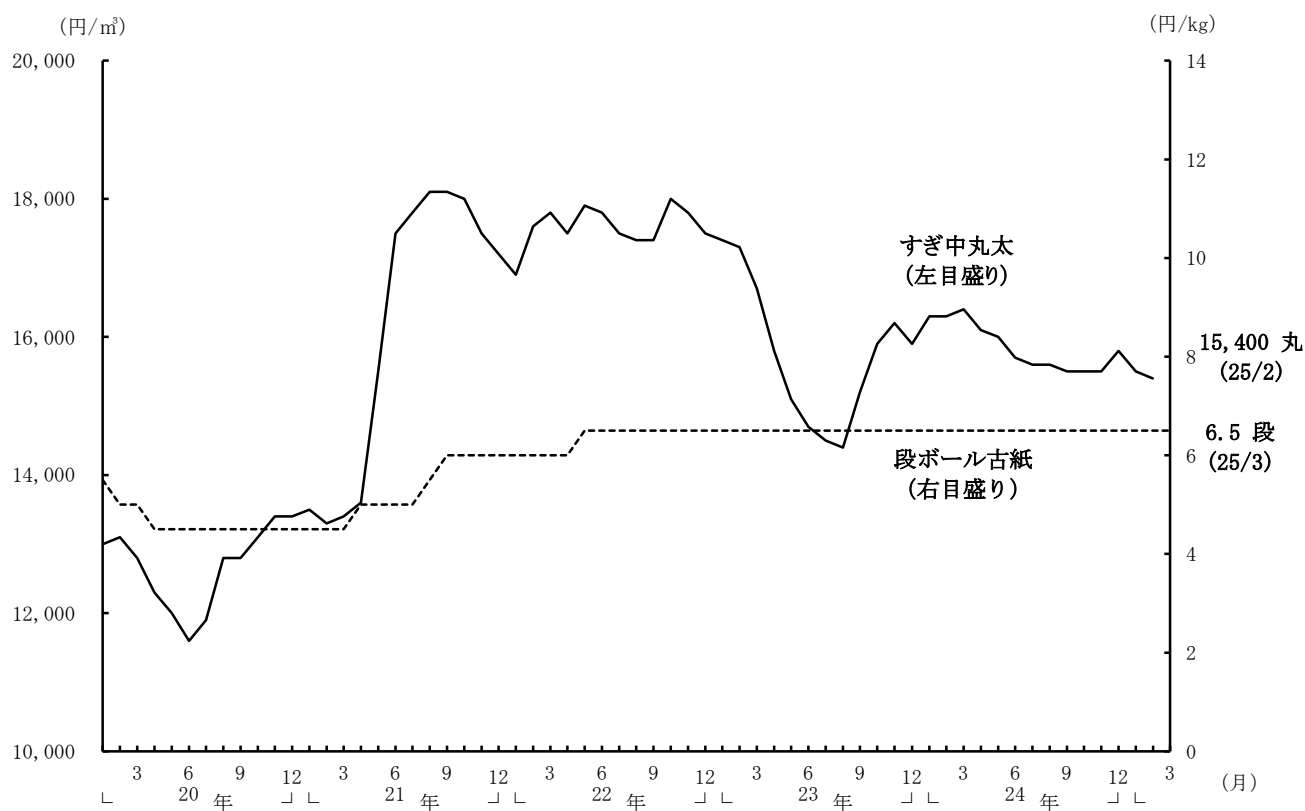
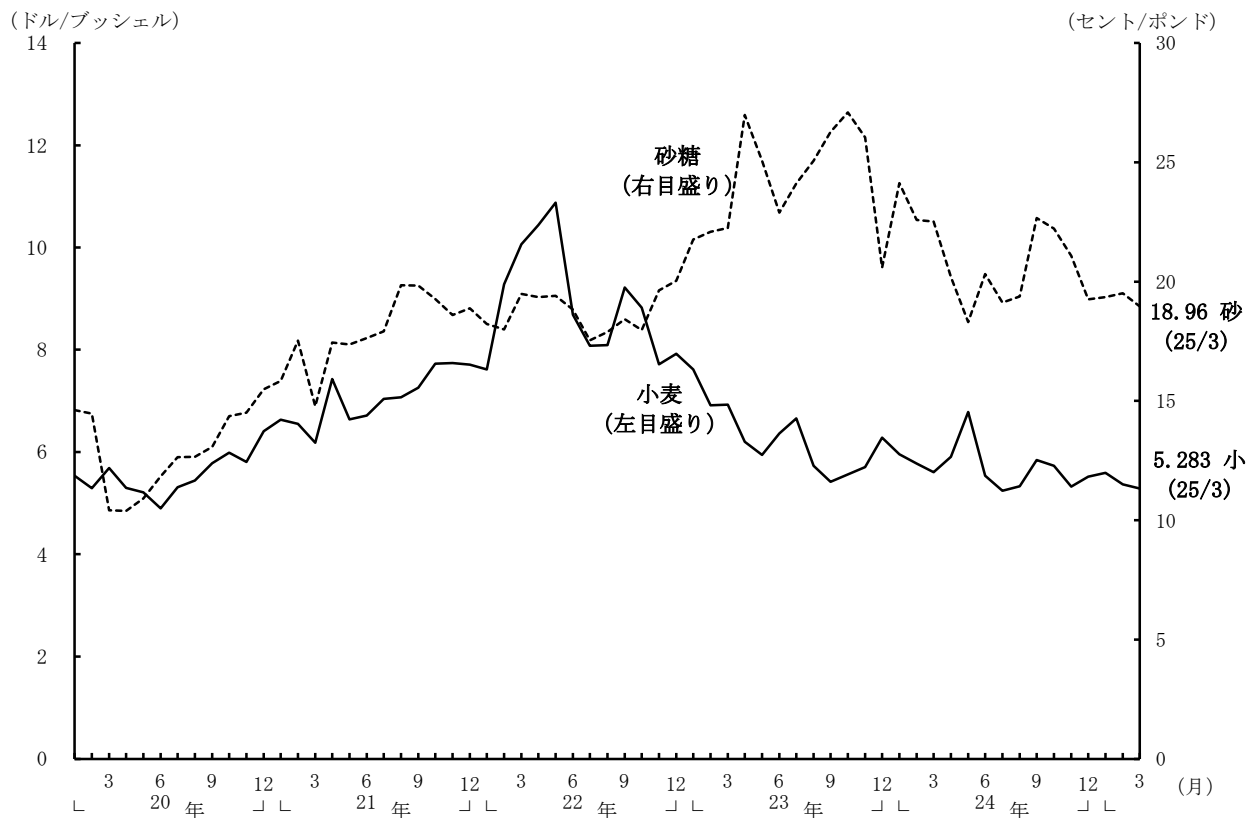
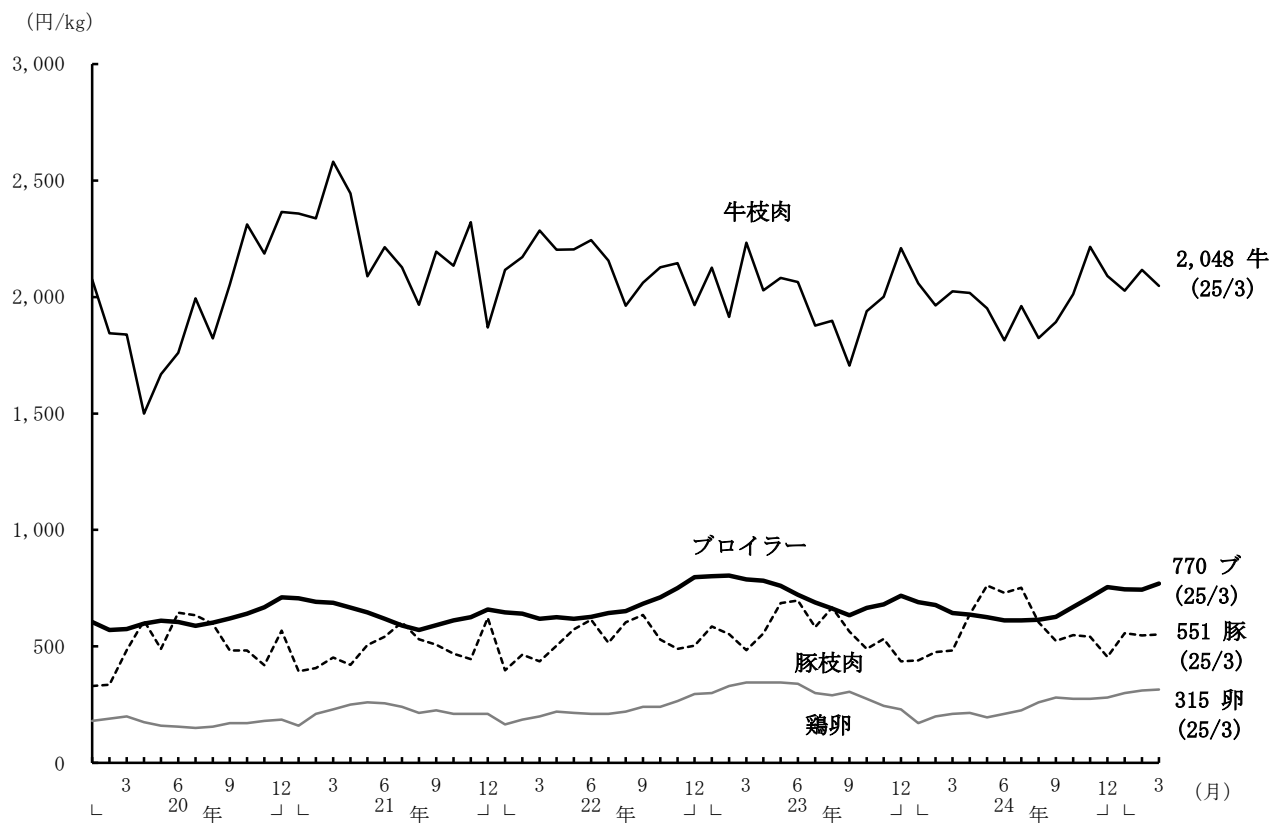


図-41 食糧品価格の動き

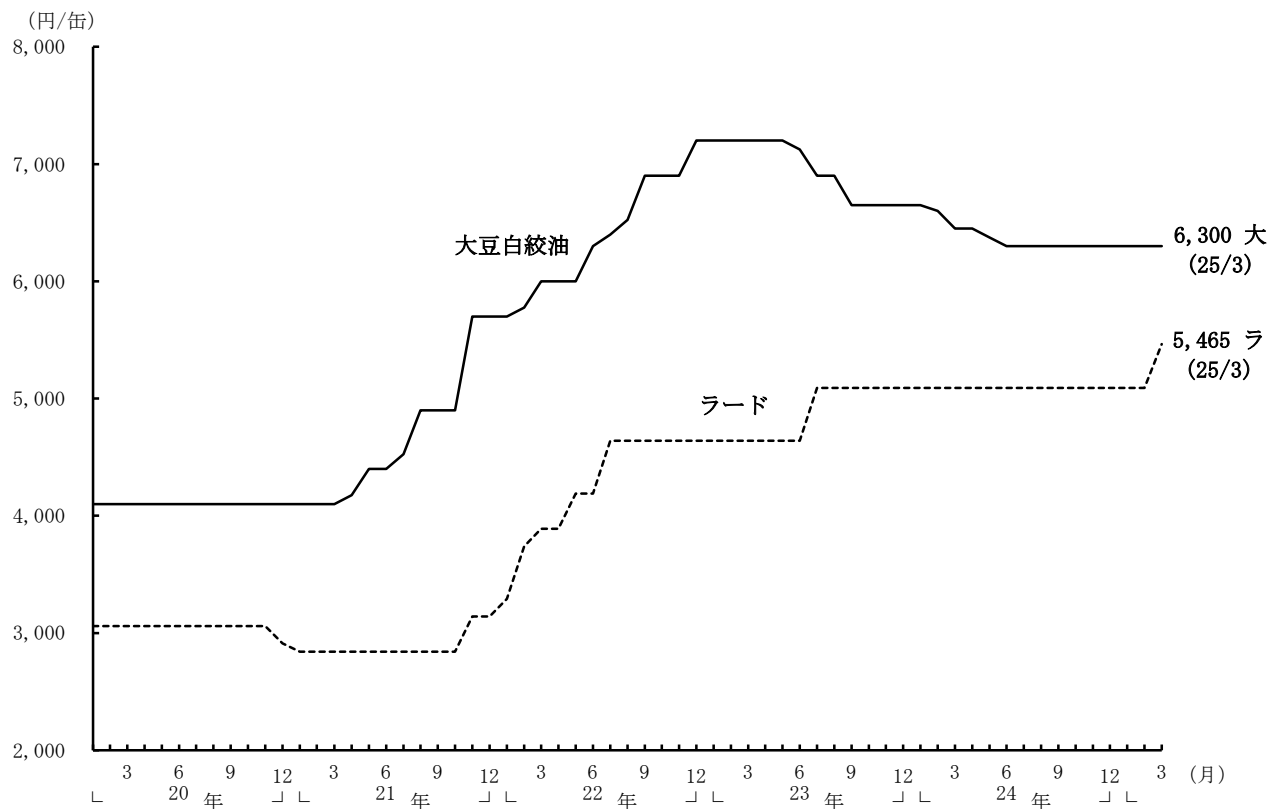
①小麦、砂糖



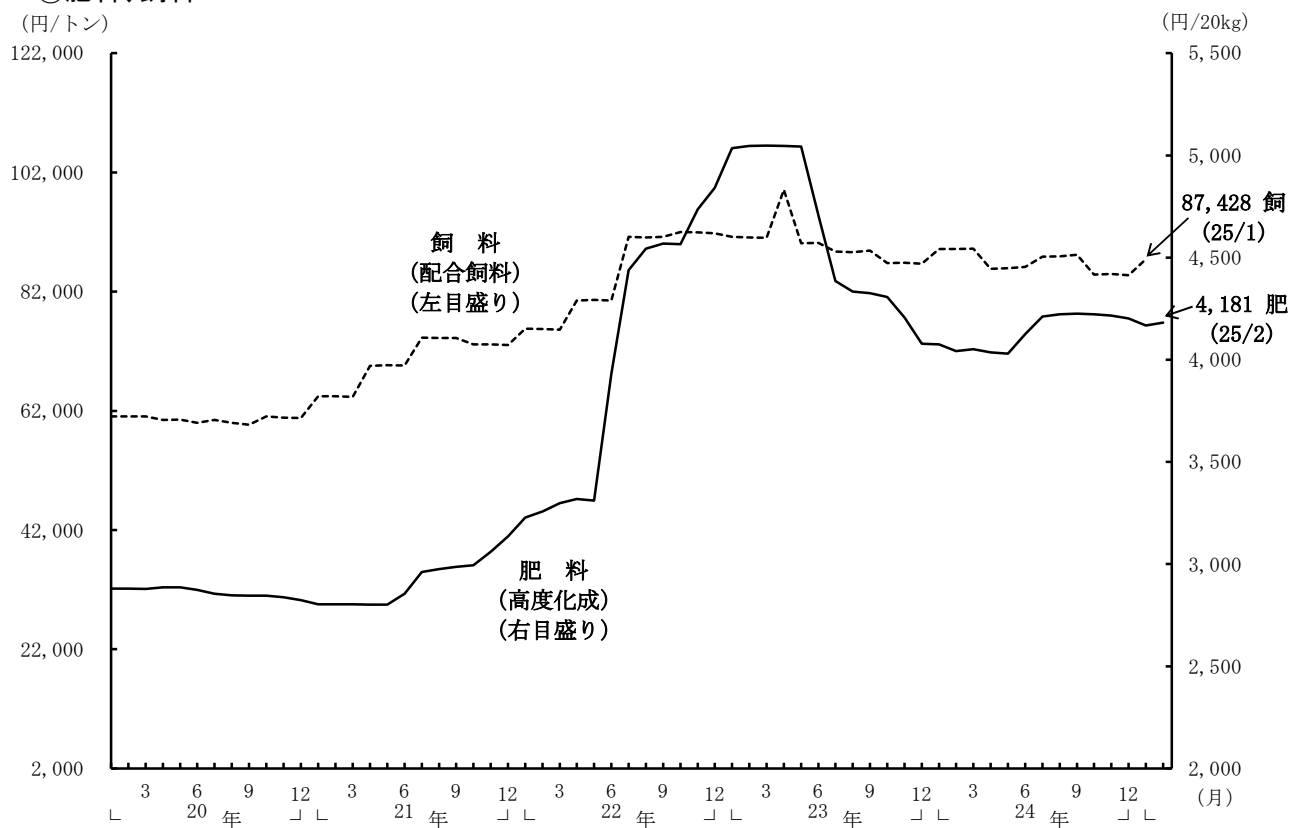
②食肉、鶏卵



③食用油



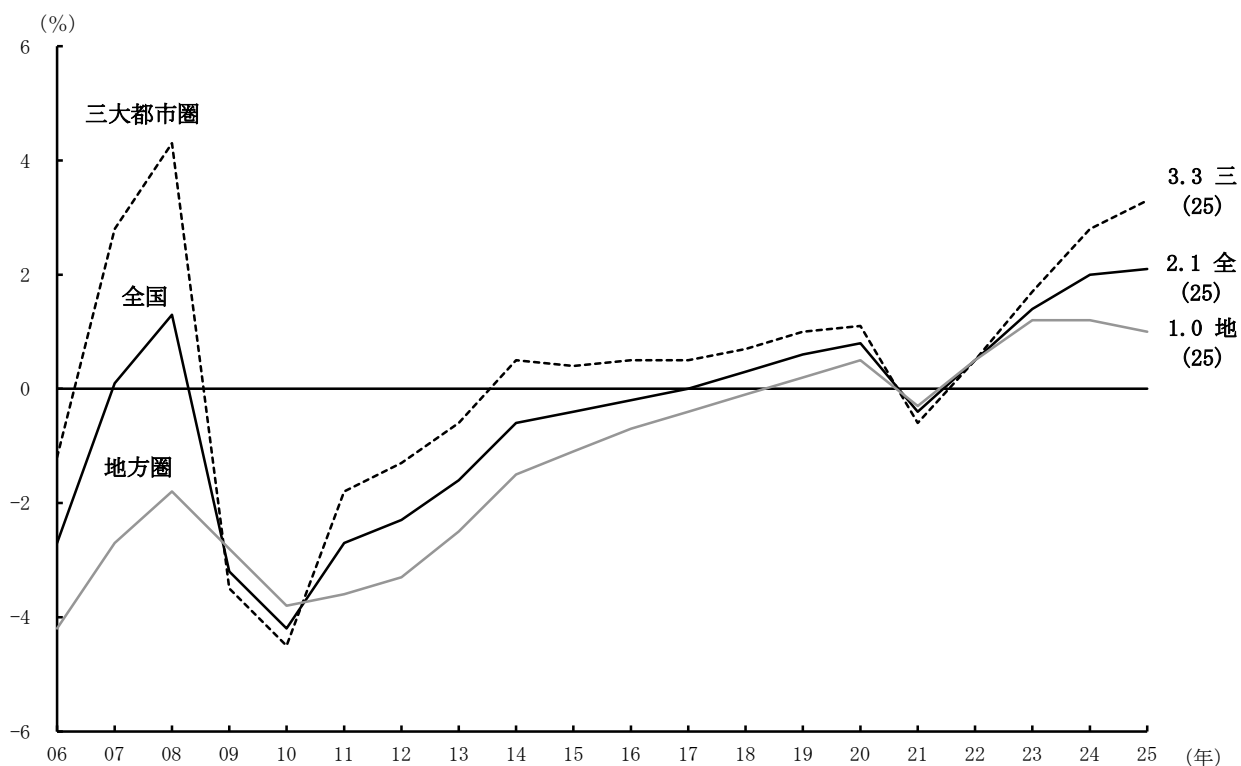
④肥料、飼料



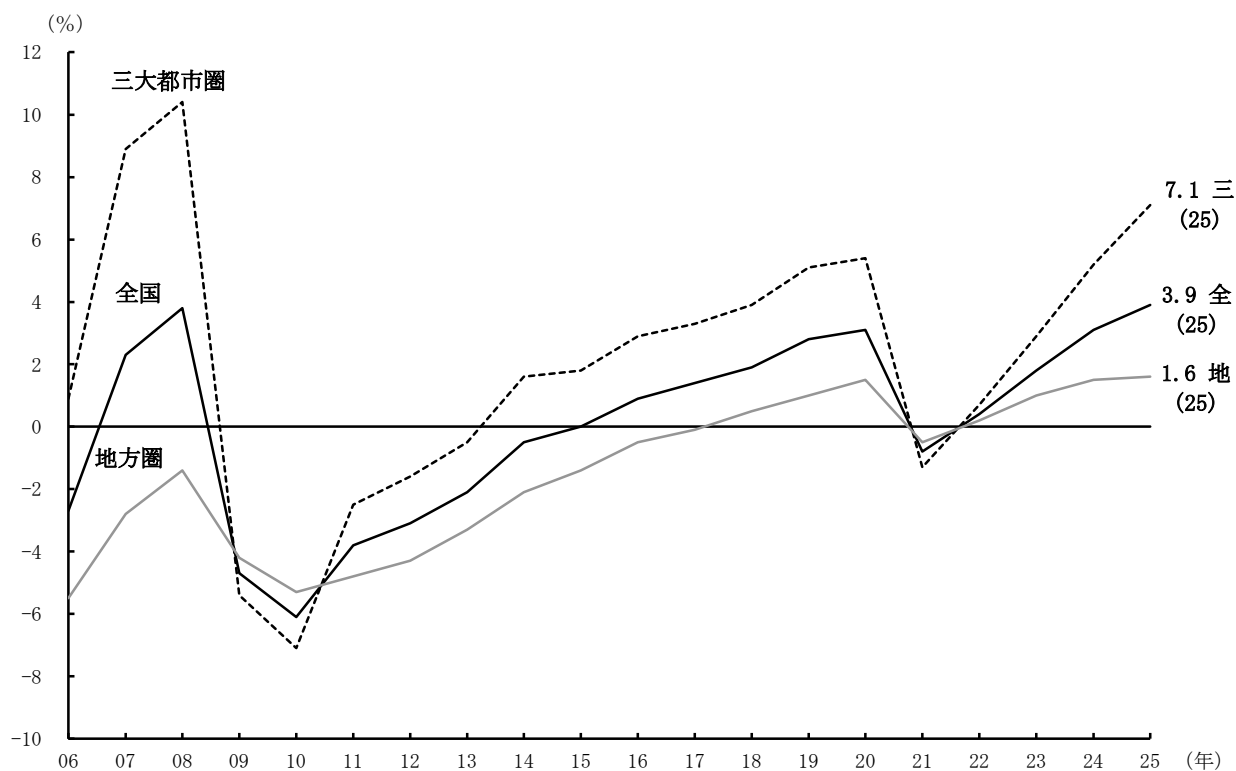
(12) 不動産価格

図-42 公示地価の動き（前年比）

①住宅地 ― 全国、三大都市圏ともに4年連続でプラス ―



②商業地 ― 全国、三大都市圏ともに4年連続でプラス ―



資料：国土交通省「地価公示」

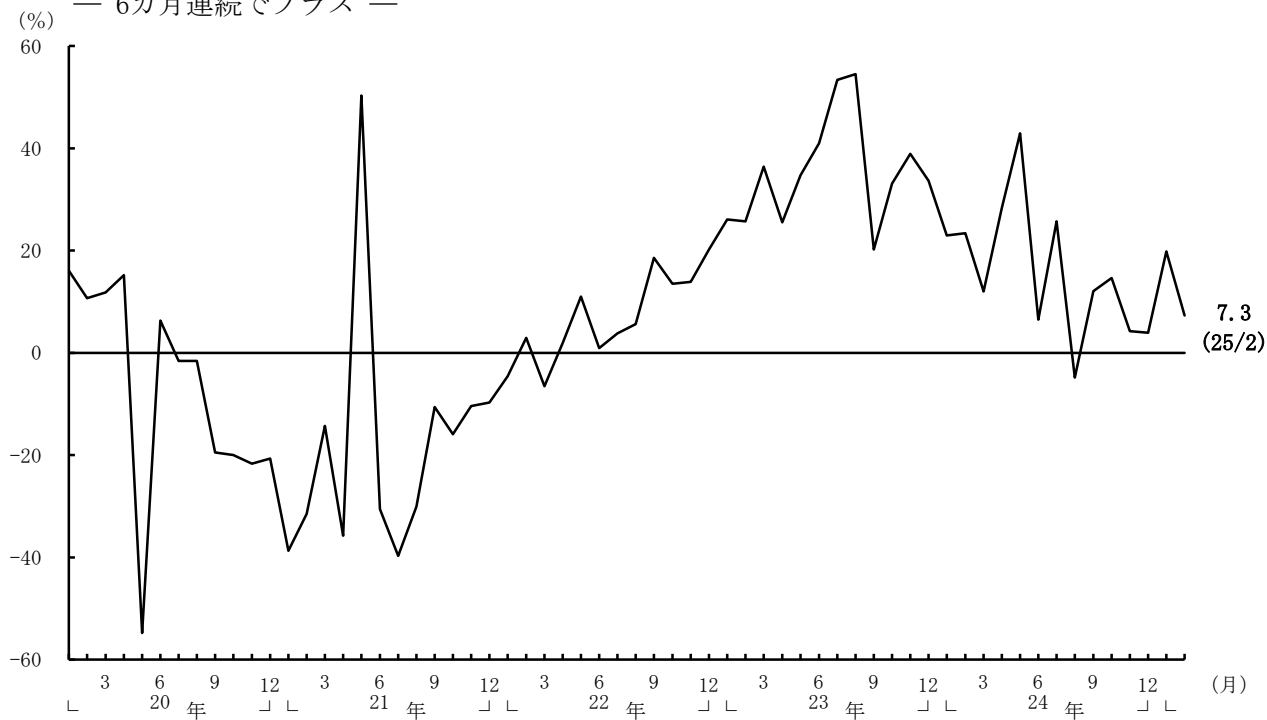
(注) 1 数値は、継続調査地点における地価の変動率を平均した値。

2 三大都市圏とは、東京圏、大阪圏、名古屋圏。

(13) 倒産

図-43 倒産件数の動き（前年同月比）

— 6カ月連続でプラス —

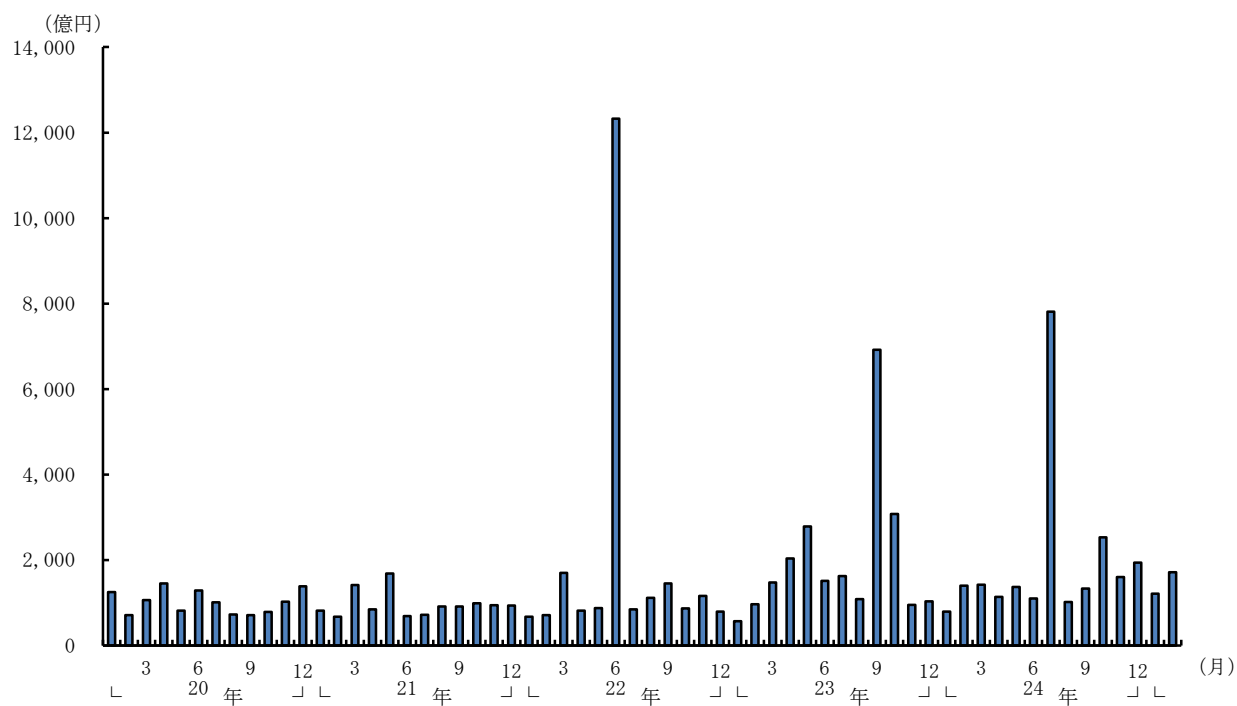


資料：東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

(参考)	(単位：件)
2024年	10,006
25年2月	764

図-44 倒産企業負債総額の動き

— 2カ月ぶりに増加 —

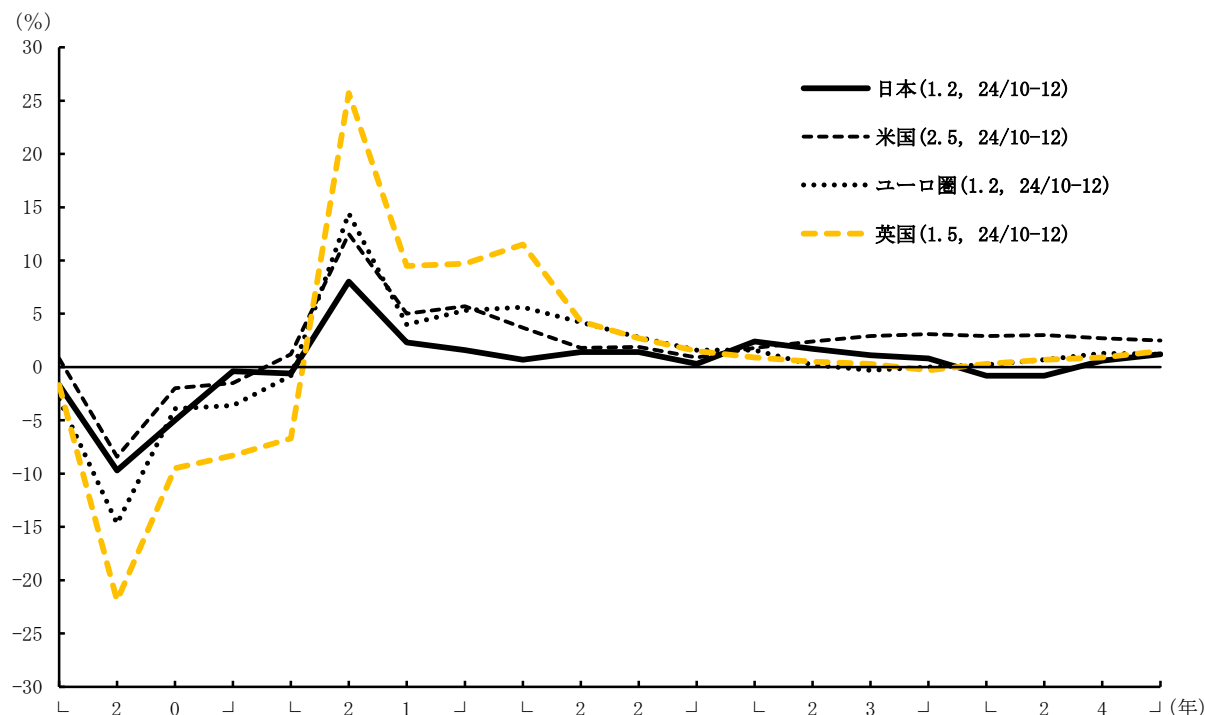


資料：東京商工リサーチ「全国企業倒産状況」

(参考)	(単位：億円)
2024年	23,435
25年2月	1,713

(14) 海外経済

図－45 実質GDP成長率の動き（日本・米国・ユーロ圏・英国）



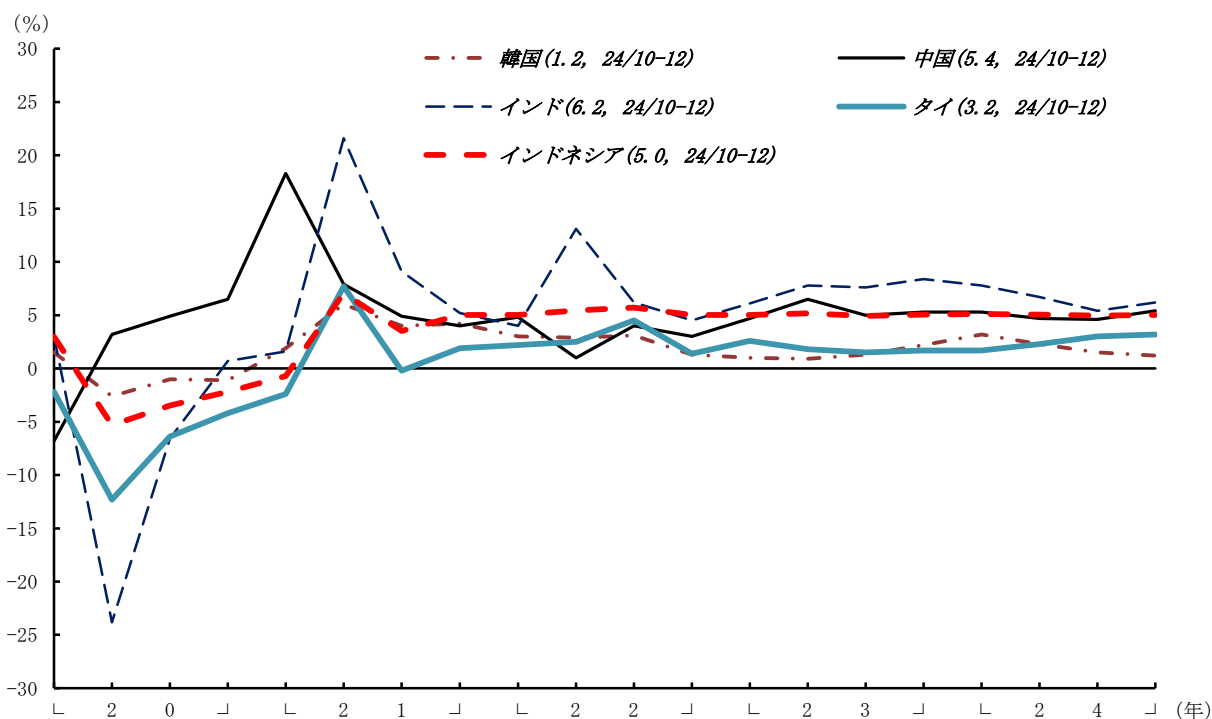
資料：内閣府（日本）、米国商務省（米国）、EuroStat（ユーロ圏）、英国国家統計局（英国）の各ホームページ

（注）1 前年同期比。

2 ユーロ圏は2022年5月まで単一通貨ユーロを採用する19カ国ベースの数値、2022年6月から20カ国ベースの数値。

3 英国は季節調整値。

図－46 実質GDP成長率の動き（韓国・中国・インド・タイ・インドネシア）

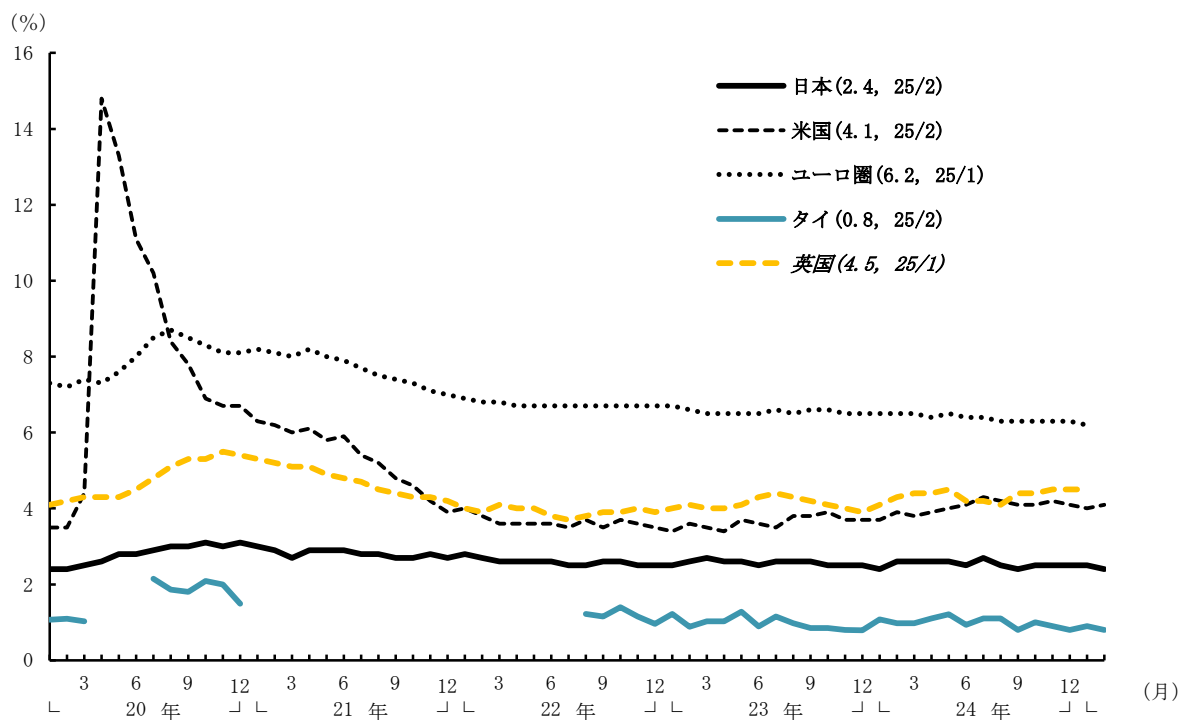


資料：大韓民国統計庁（韓国）、中国国家统计局（中国）、インド統計及び事業実施庁（インド）

タイ王国統計局（タイ）、インドネシア中央統計庁（インドネシア）の各ホームページ

（注）前年同期比。

図-47 失業率の動き（日本・米国・ユーロ圏・英国・タイ）



資料：総務省（日本）、米国商務省（米国）、EuroStat（ユーロ圏）等の各ホームページ

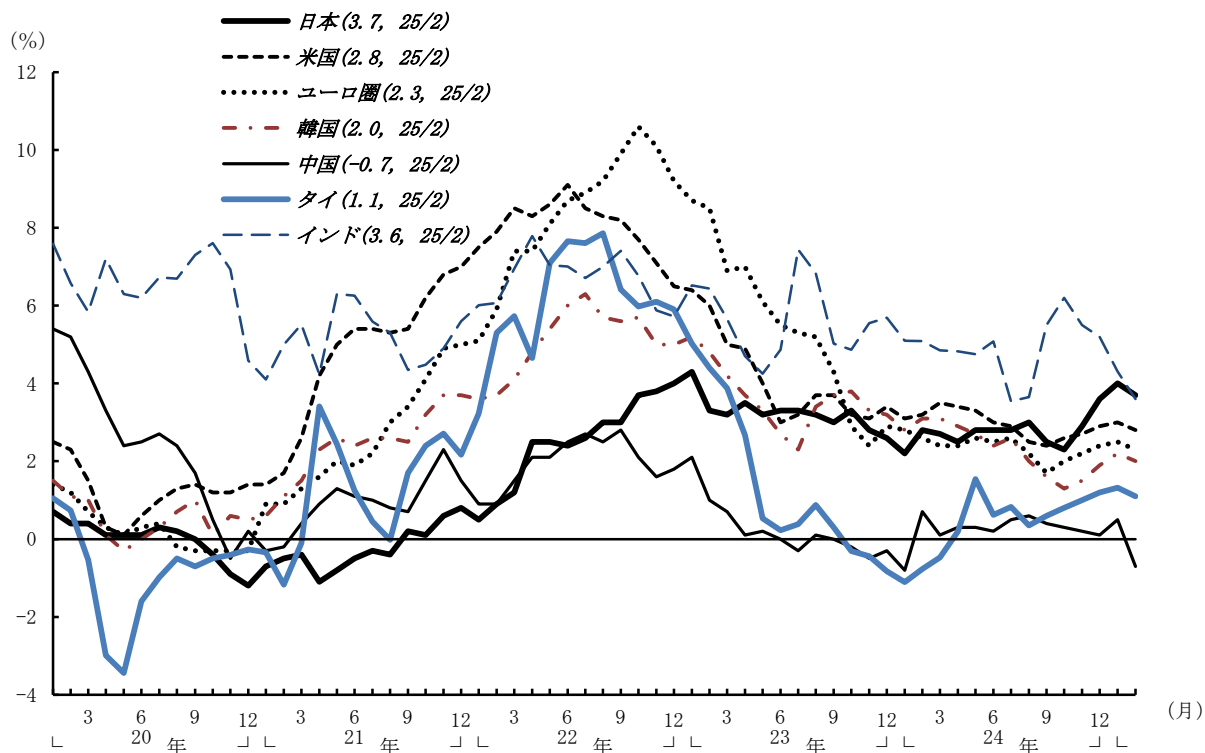
（注）1 日本、米国、ユーロ圏、英国は季節調整済み。

2 ユーロ圏は2022年5月まで単一通貨ユーロを採用する19カ国ベースの数値、2022年6月から20カ国ベースの数値。

3 英国は当月を含む前3カ月の平均値。労働力調査の見直しに伴い、開発中の公式統計という位置づけで公表されている。

4 タイは2020年4月から6月、2021年1月から2022年7月のデータが公表されていない。

図-48 消費者物価指数の動き（日本・米国・ユーロ圏・韓国・中国・インド・タイ）



資料：総務省（日本）、米国商務省（米国）、EuroStat（ユーロ圏）等の各ホームページ

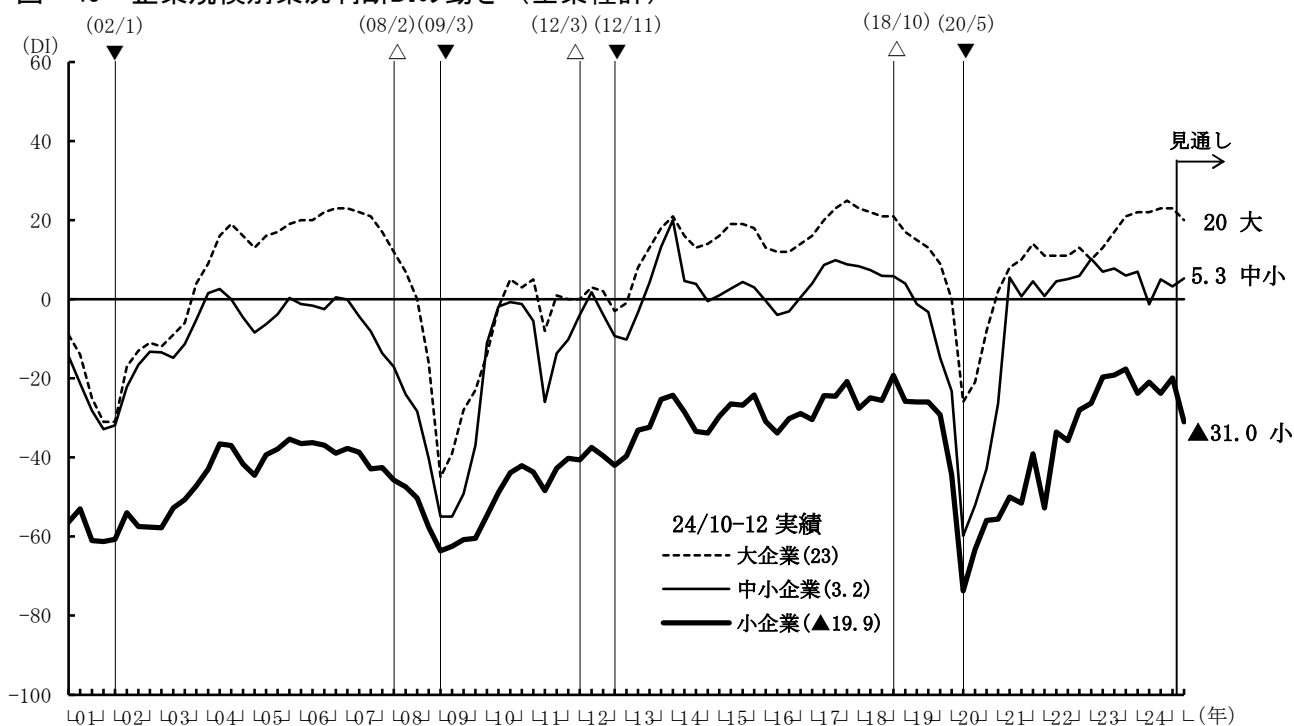
（注）1 前年同月比。

2 ユーロ圏は2022年5月まで単一通貨ユーロを採用する19カ国ベースの数値、2022年6月から20カ国ベースの数値。

2 小企業

景況

図-49 企業規模別業況判断DIの動き（全業種計）

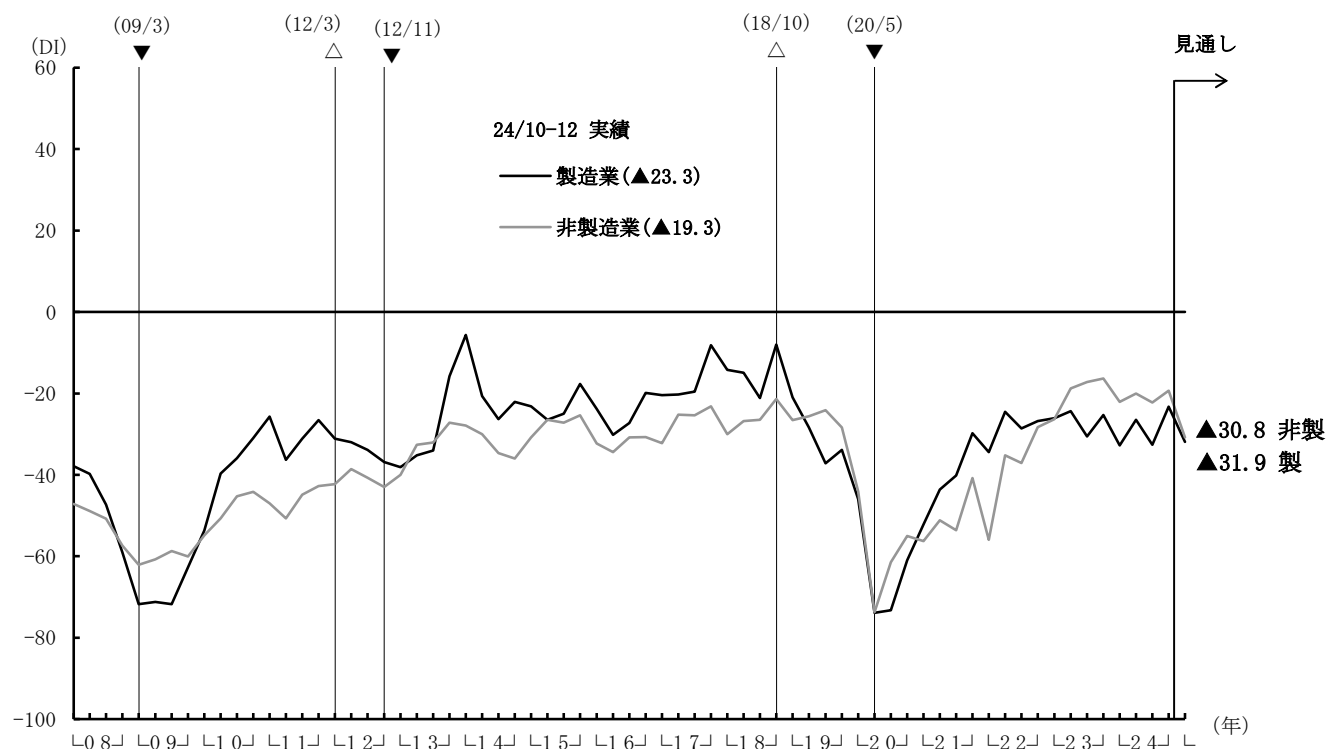


資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査」（小企業、中小企業）、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（大企業）

(注) 1 大企業と小企業は「良い」企業割合－「悪い」企業割合。

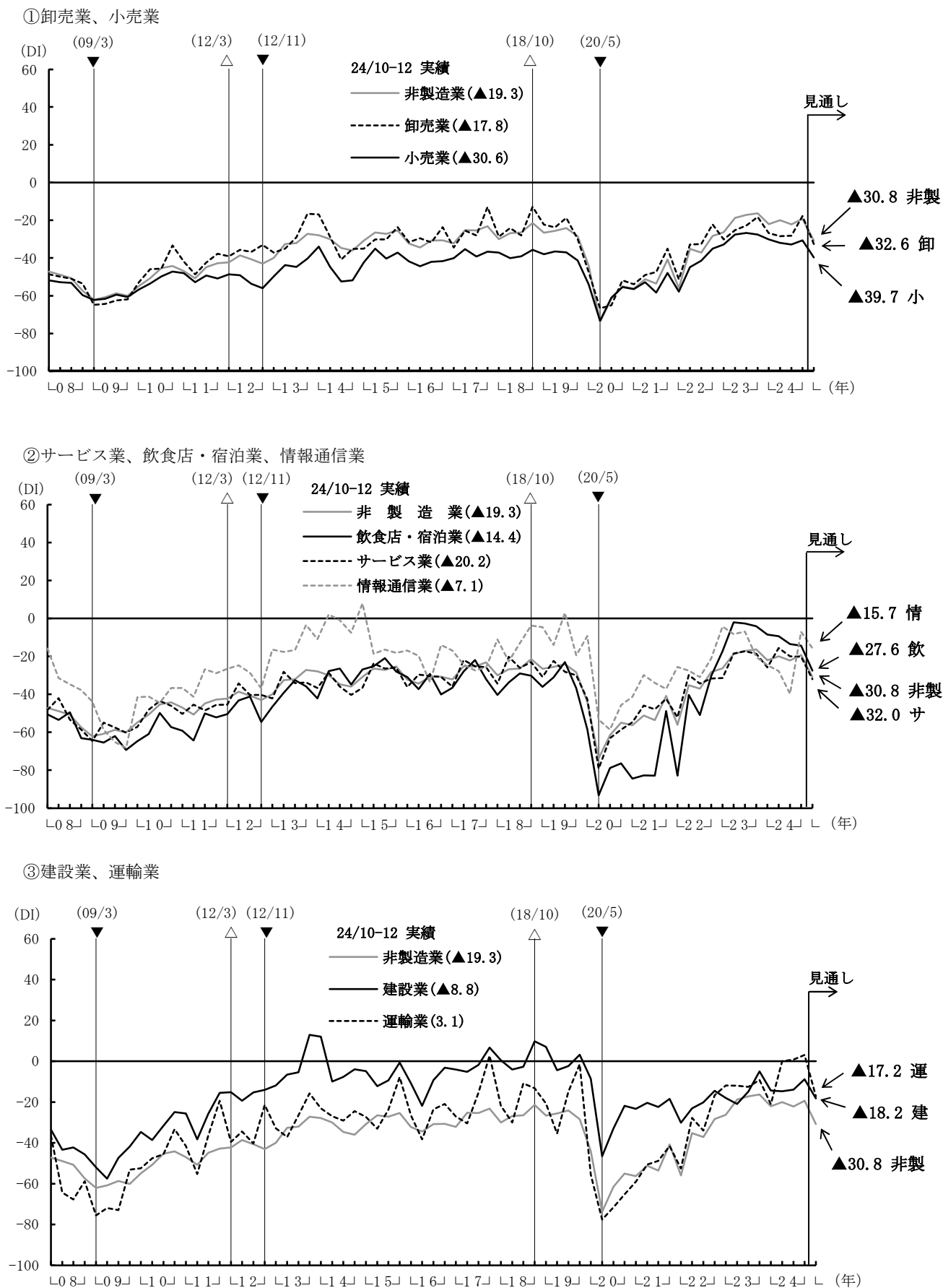
2 中小企業は「好転」－「悪化」企業割合（季節調整値）。

図-50 業況判断DIの動き（製造業、非製造業）



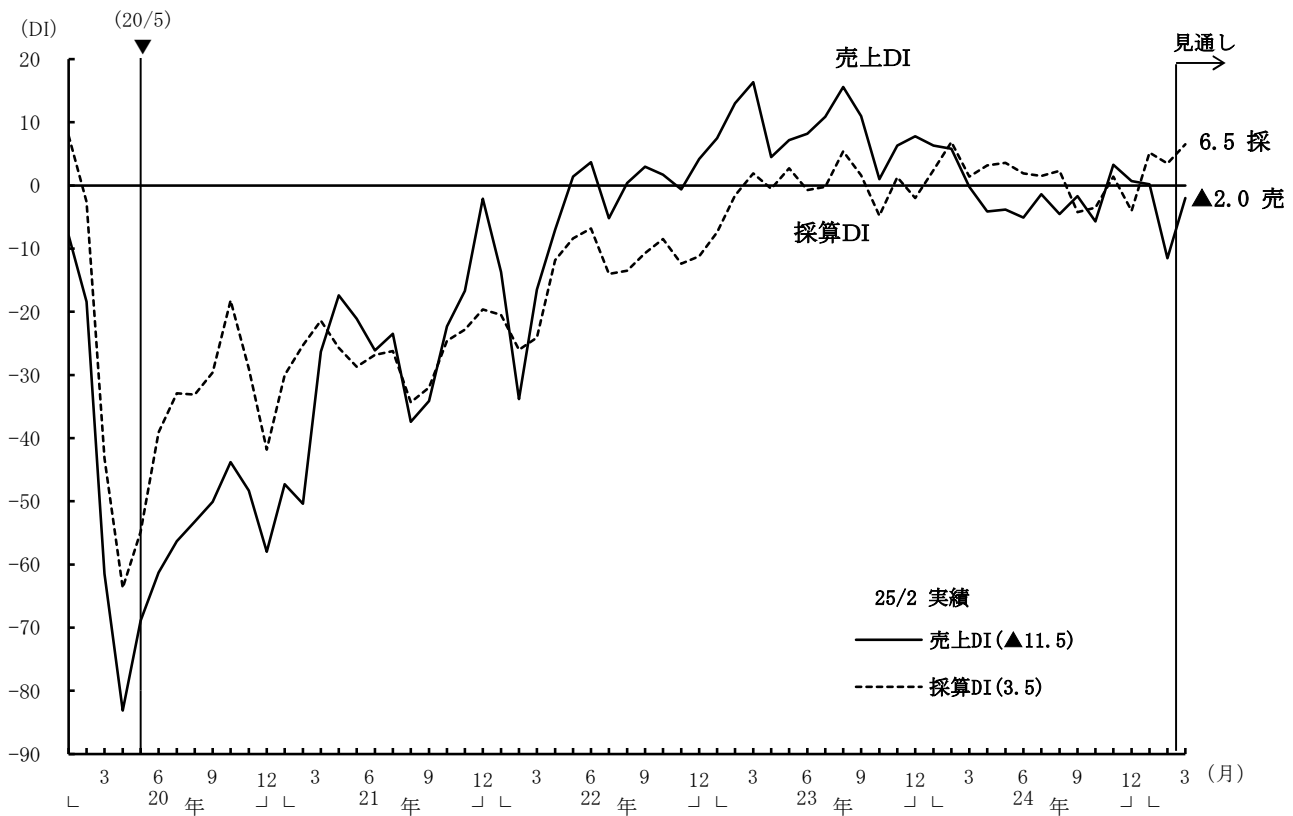
資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査（小企業編）」

図－51 業種別業況判断DIの動き（非製造業）



資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査（小企業編）」

図－52 売上・採算DIの動き（全業種計、季節調整済み）

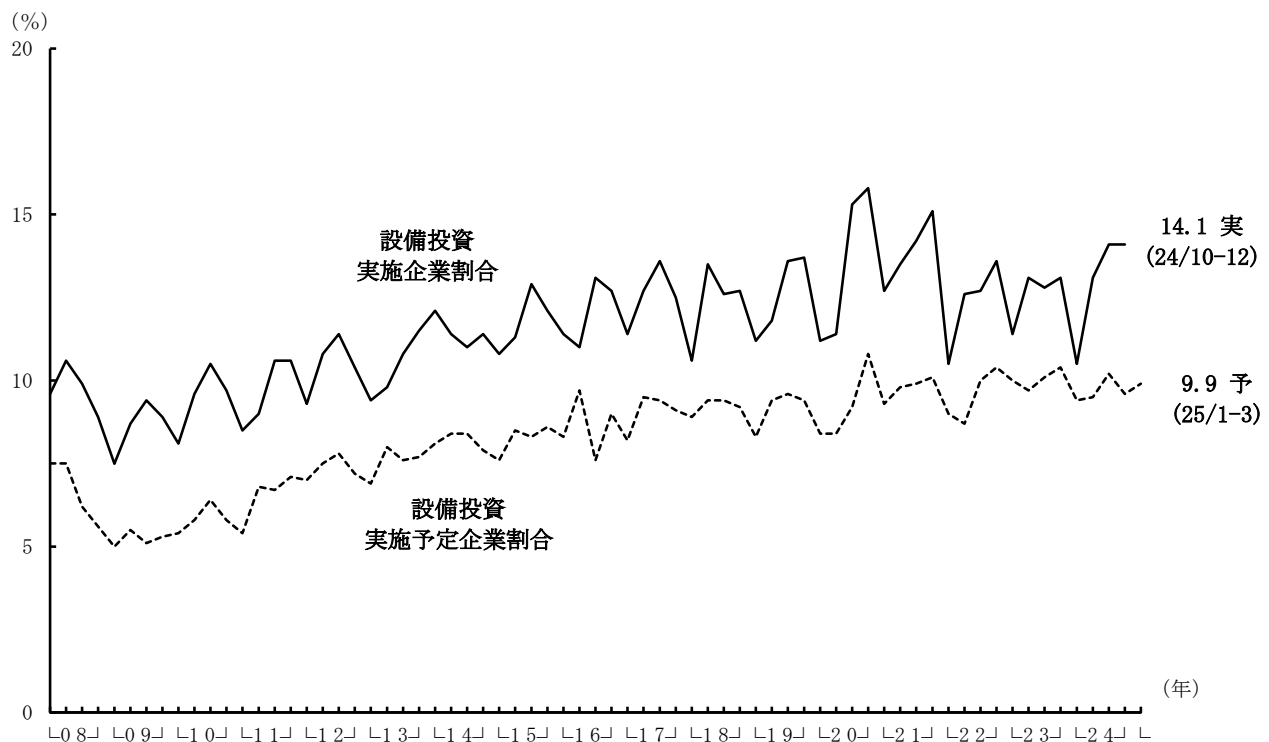


資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国小企業月次動向調査」

(注) 1 売上DIは前年同月に比べて「増加」企業割合－「減少」企業割合。

2 採算DIは「黒字」企業割合－「赤字」企業割合。

図－53 設備投資実施企業割合、設備投資実施予定企業割合

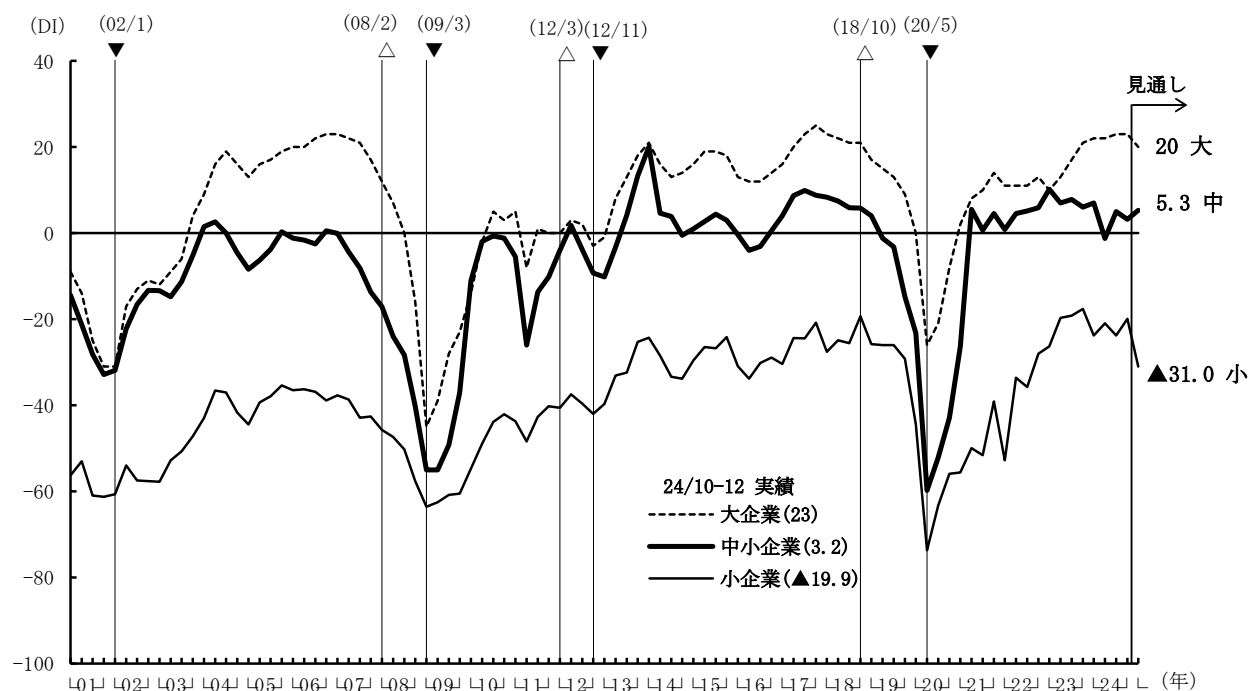


資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査（小企業編）」

3 中小企業

景況

図－54 企業規模別業況判断DIの動き（全業種計）

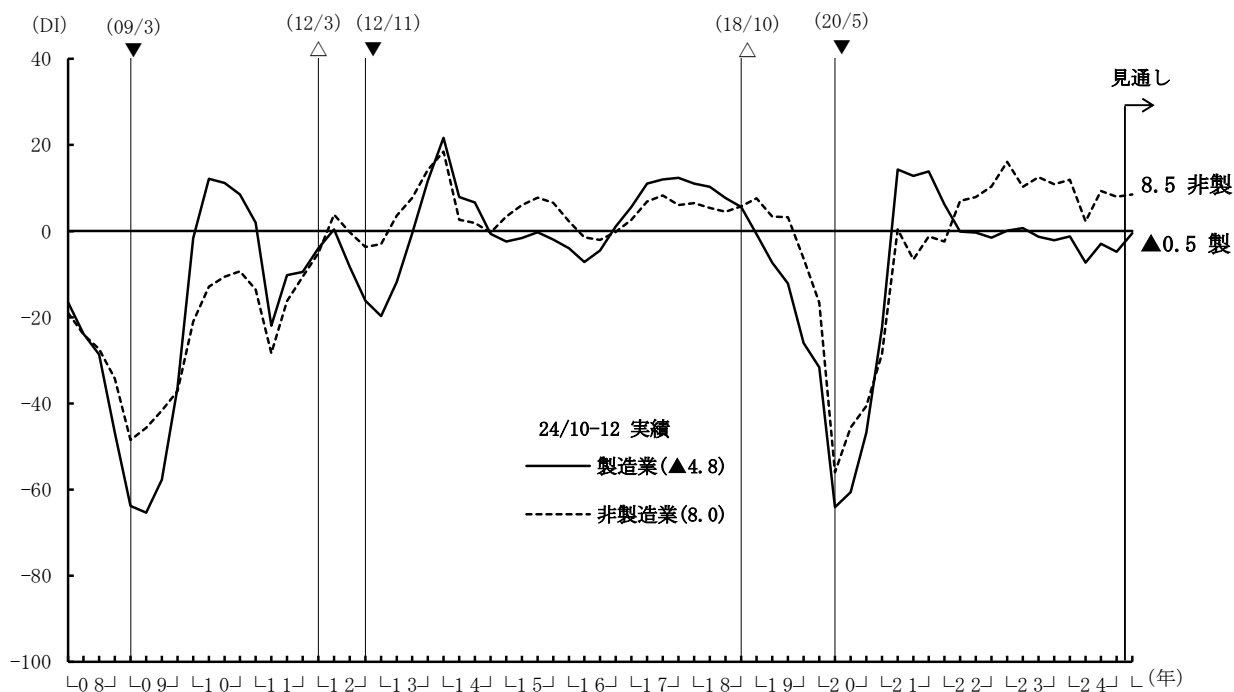


資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査」（小企業、中小企業）、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（大企業）

(注) 1 大企業と小企業は「良い」企業割合－「悪い」企業割合。

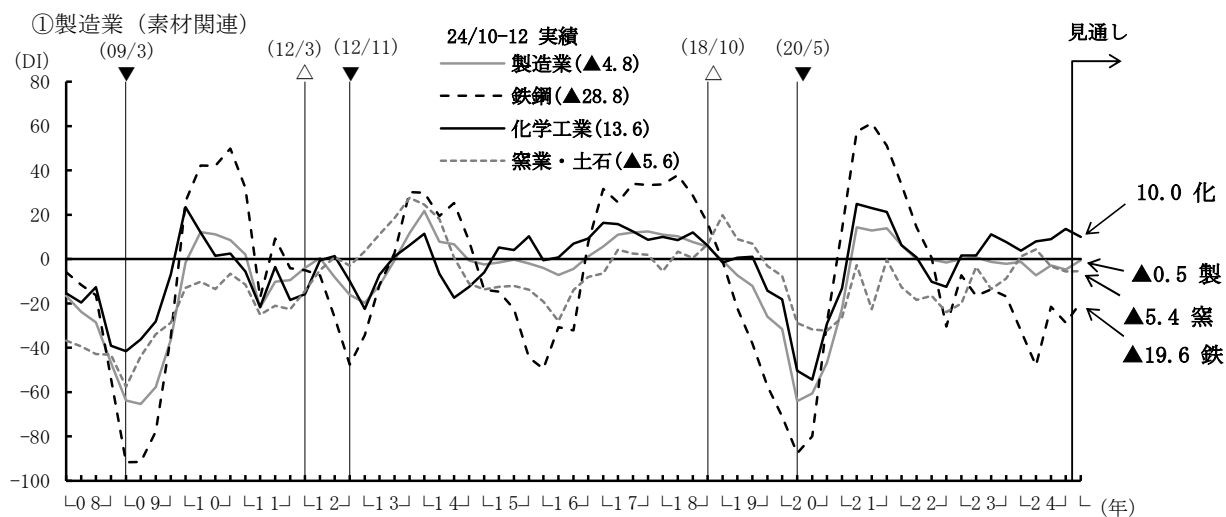
2 中小企業は「好転」－「悪化」企業割合（季節調整値）。

図－55 業況判断DIの動き（製造業、非製造業）

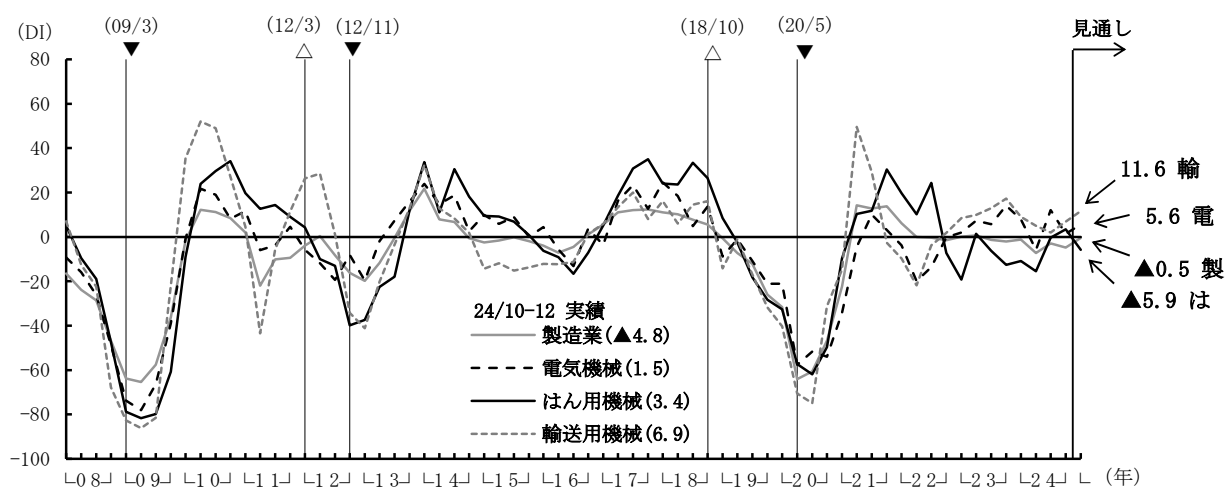


資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査（中小企業編）」

図－56 業種別業況判断DIの動き（製造業）

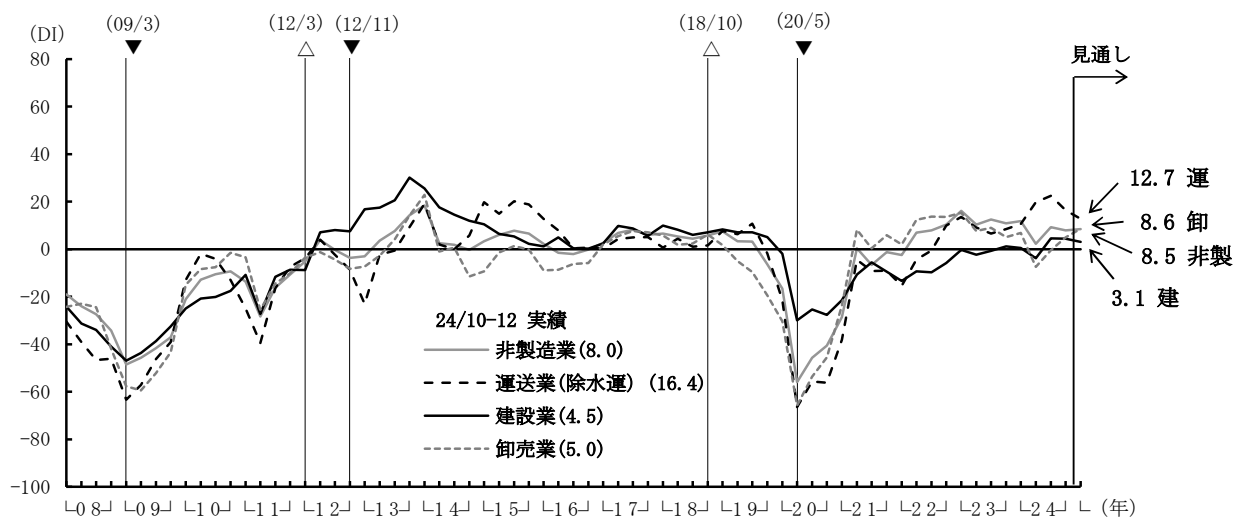


②製造業（機械関連）



資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査（中小企業編）」

図－57 業種別業況判断DIの動き（非製造業）



資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査（中小企業編）」

2 売上げ見通しDIは過去3カ月の実績比で「増加」－「減少」企業割合（季節調整値）。

Figure 1 is a combination bar and line chart comparing the Equipment Investment Growth Rate (grey bars) and the Business Situation Judgment DI (black line) from 2007 to 2024. The Y-axis represents the percentage change or index value, ranging from -80 to 30. The X-axis represents the year. A vertical dashed line at 2024 separates historical data (実績) from projected data (計画). The DI for 2024 is 4.2, and the projected DI for 2025 is 11.7.

年度	設備投資増減率 (半期ベース、前年同期比) (%)	業況判断DI (四半期ベース、季節調整値)
07	-2	2
08	-3	-15
09	-12	-65
10	-38	-65
11	20	12
12	14	10
13	16	-10
14	21	-15
15	11	22
16	9	10
17	5	-2
18	8	12
19	11	10
20	-10	-25
21	-10	-65
22	-11	-48
23	25	15
24	10	4.2
25 (計画)	-	11.7

2 業況判断DIは季節調整値（四半期ベース）。

4 金融

(1) 外国為替

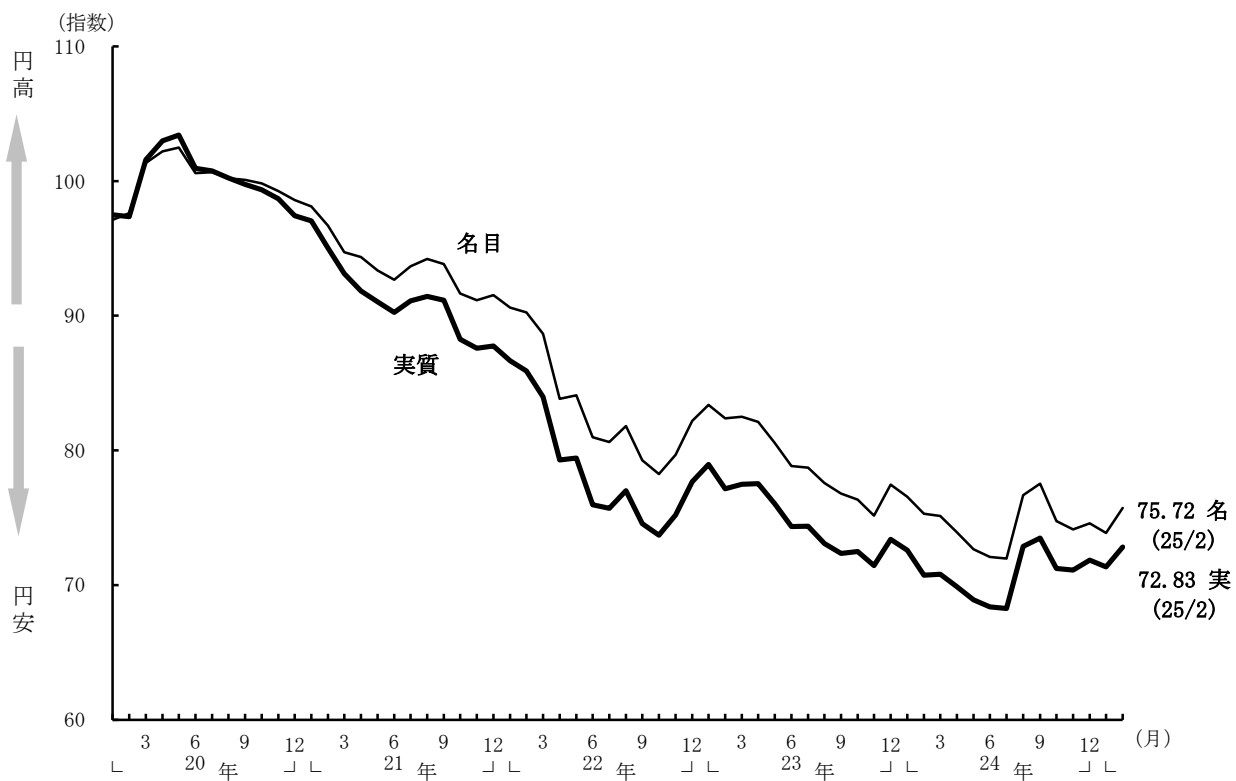
図-60 円相場の動き



資料：日本銀行「外国為替相場状況（日次）」

(注) 東京市場の17時時点。

図-61 実効為替レート（指数）の動き



資料：日本銀行「実効為替レート」

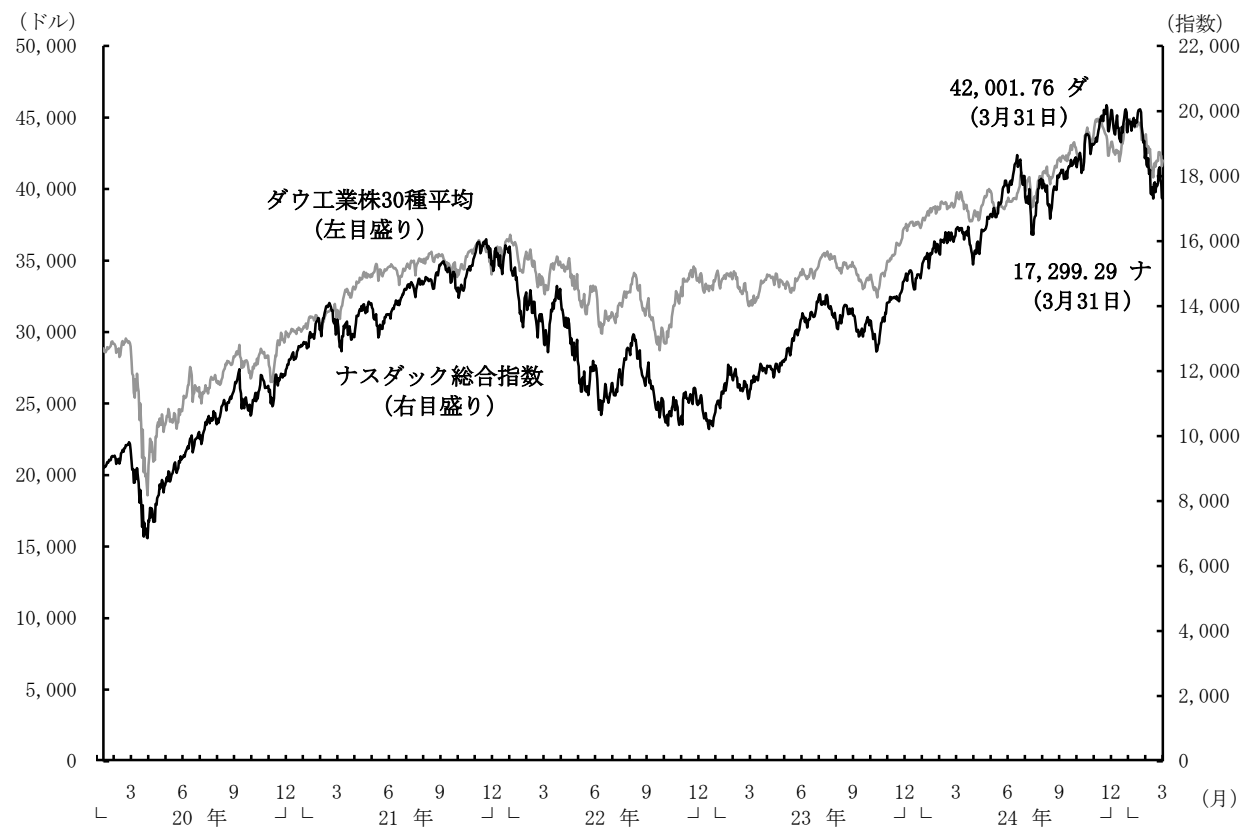
(2) 株価

図－62 国内株式市場の動き



資料：日本経済新聞社調べ

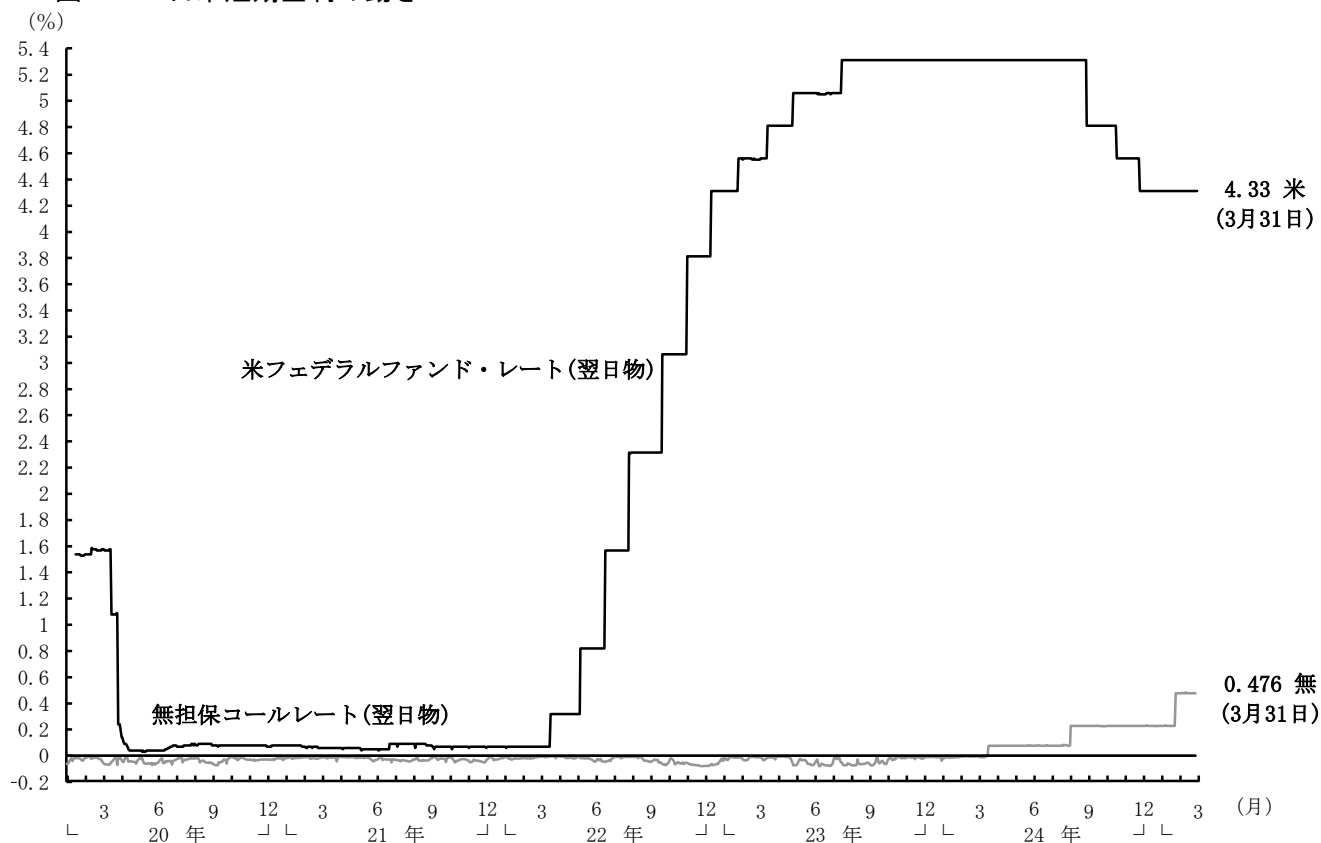
図－63 米国株式市場の動き



資料：日本経済新聞社調べ

(3) 金利

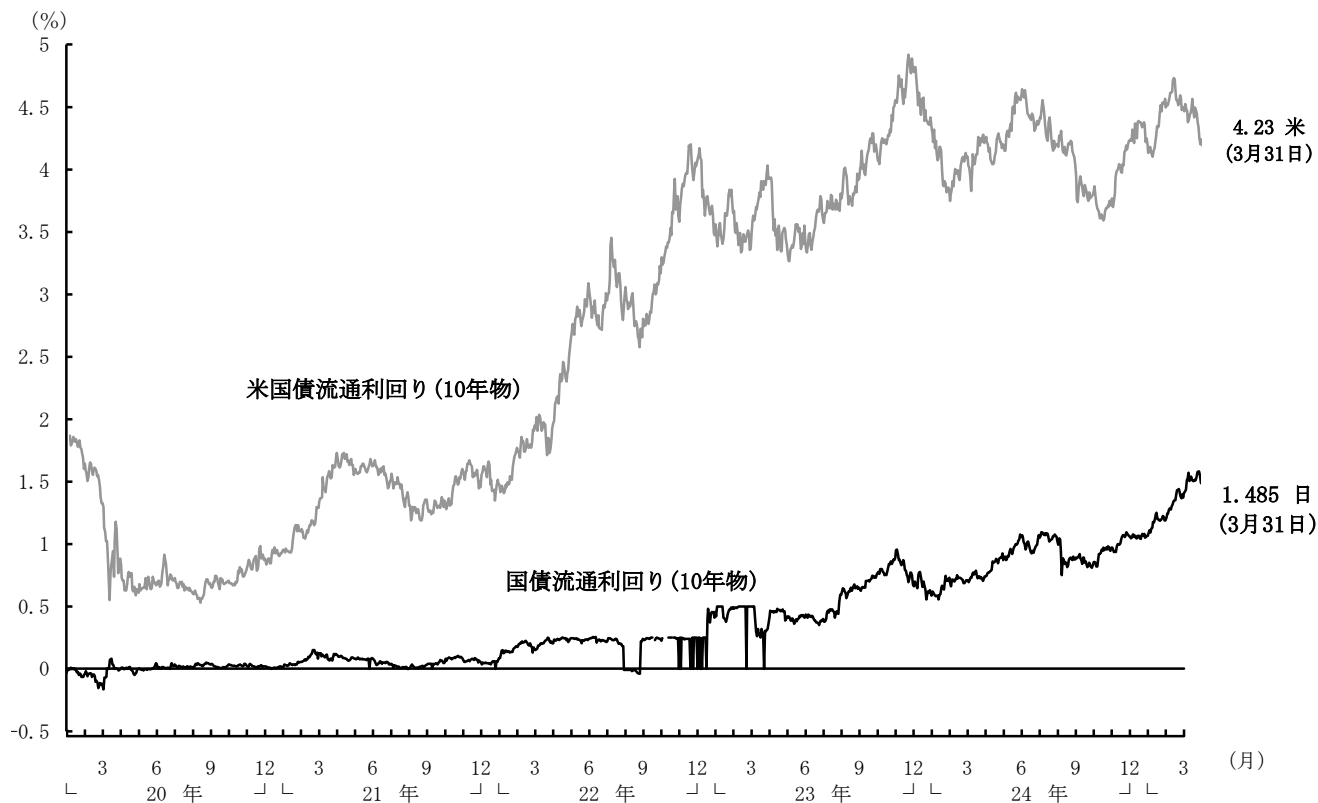
図-64 日米短期金利の動き



資料：日本銀行ホームページ

米国連邦準備制度理事会ホームページ

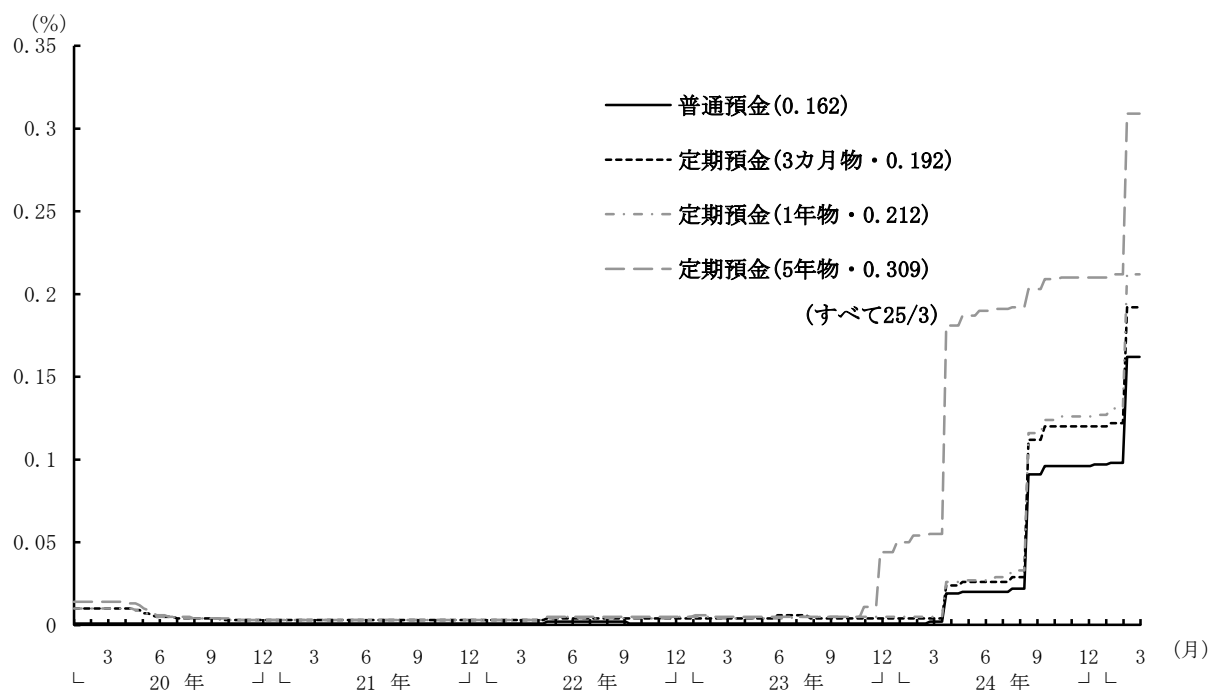
図-65 日米長期金利の動き



資料：日本相互証券ホームページ

米国連邦準備制度理事会ホームページ

図－66 預金金利の動き

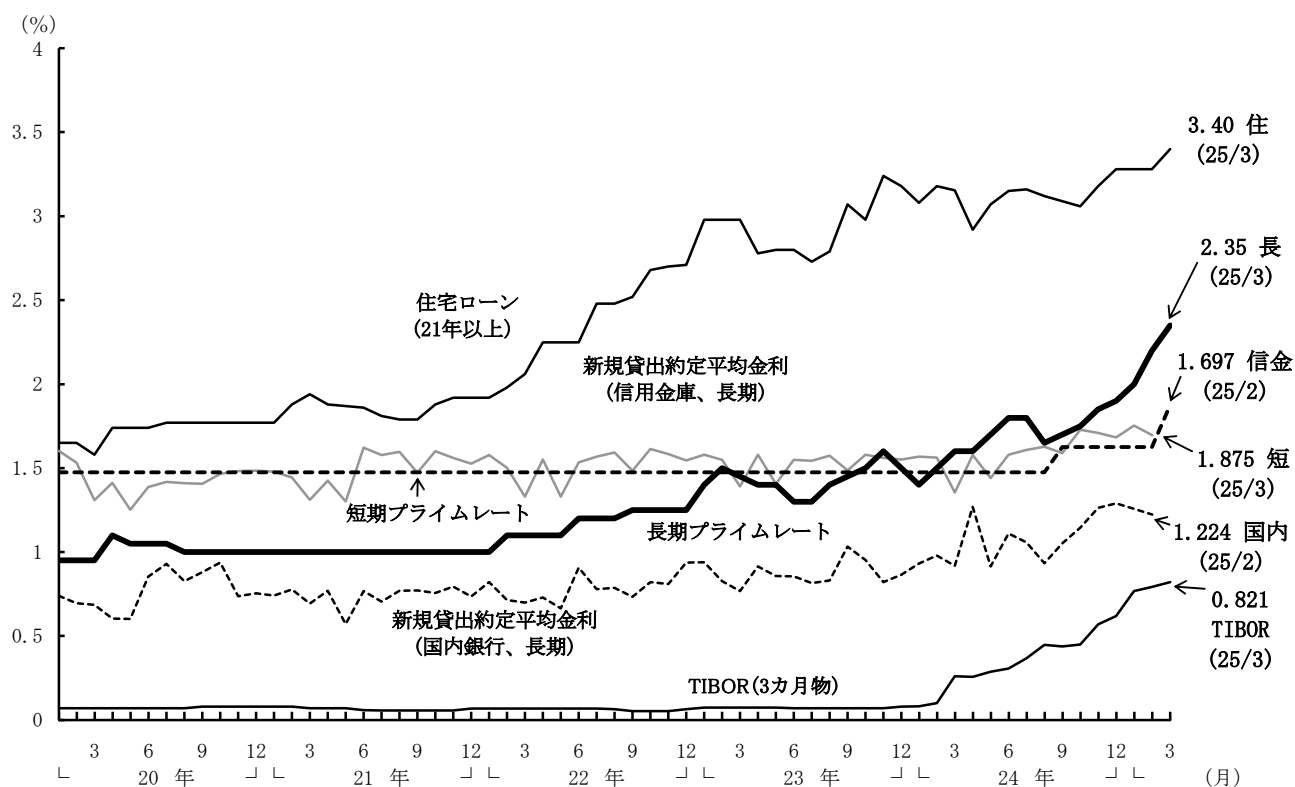


資料：日本銀行ホームページ

(注) 1 定期預金金利は預入金額1,000万円以上。国内銀行、信用金庫及び商工中金の週初の店頭表示金利を単純平均したもの。

2 2022年3月28日までは週次のデータ、2022年4月以降は月次のデータを掲載。

図－67 貸出金利の動き



資料：日本銀行ホームページ

住宅金融支援機構ホームページ

全銀協TIBOR運営機関ホームページ

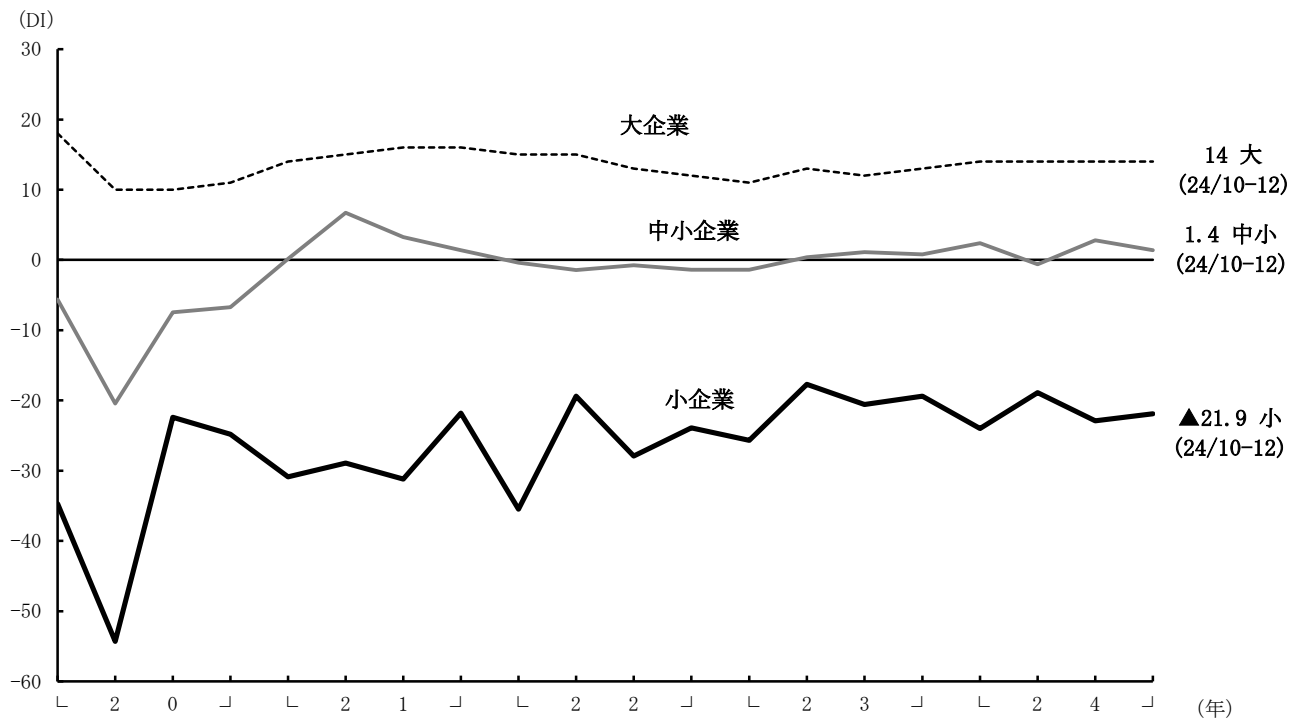
(注) 1 住宅ローン金利はフラット35の月中平均金利のうち、返済期間が21年以上で取扱機関の最高金利を採用。

2 新規貸出約定金利（長期）は月中平均（月1回発表）。国内銀行では貸付期間1年以上の全貸付、信用金庫では全証書貸付が対象。個人向け、企業向け、政府向け、変動金利のものを含めた加重平均。

3 短期プライムレートは、最頻値（都市銀行6行が決定した金利のうち、最も多くの数の銀行が採用した金利）。

(4) 企業金融

図－68 資金繰りDIの動き（全業種計）



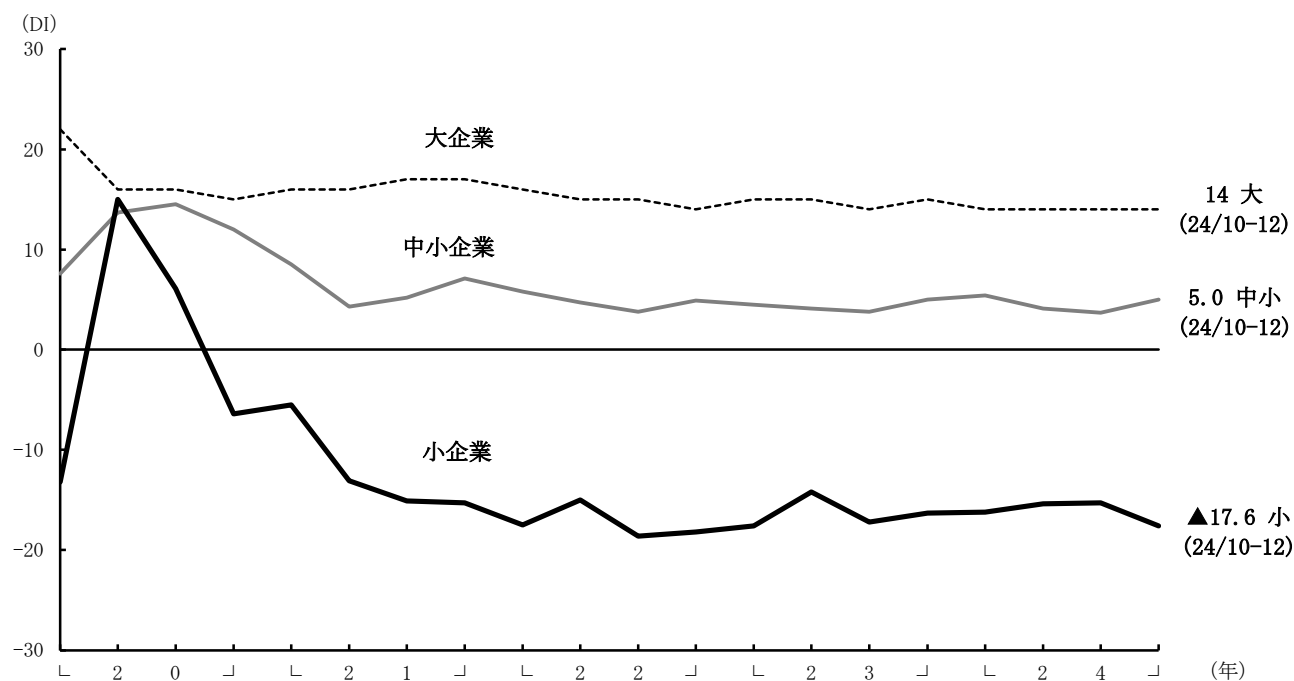
資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査」（小企業、中小企業）、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（大企業）

(注) 1 小企業は前期に比べて資金繰りが「楽になった」企業割合－「苦しくなった」企業割合。

2 中小企業は前年同期に比べて「好転」企業割合－「悪化」企業割合、季節調整値。

3 大企業は「楽である」企業割合－「苦しい」企業割合。

図－69 貸出態度判断DI、借入DIの動き（全業種計）



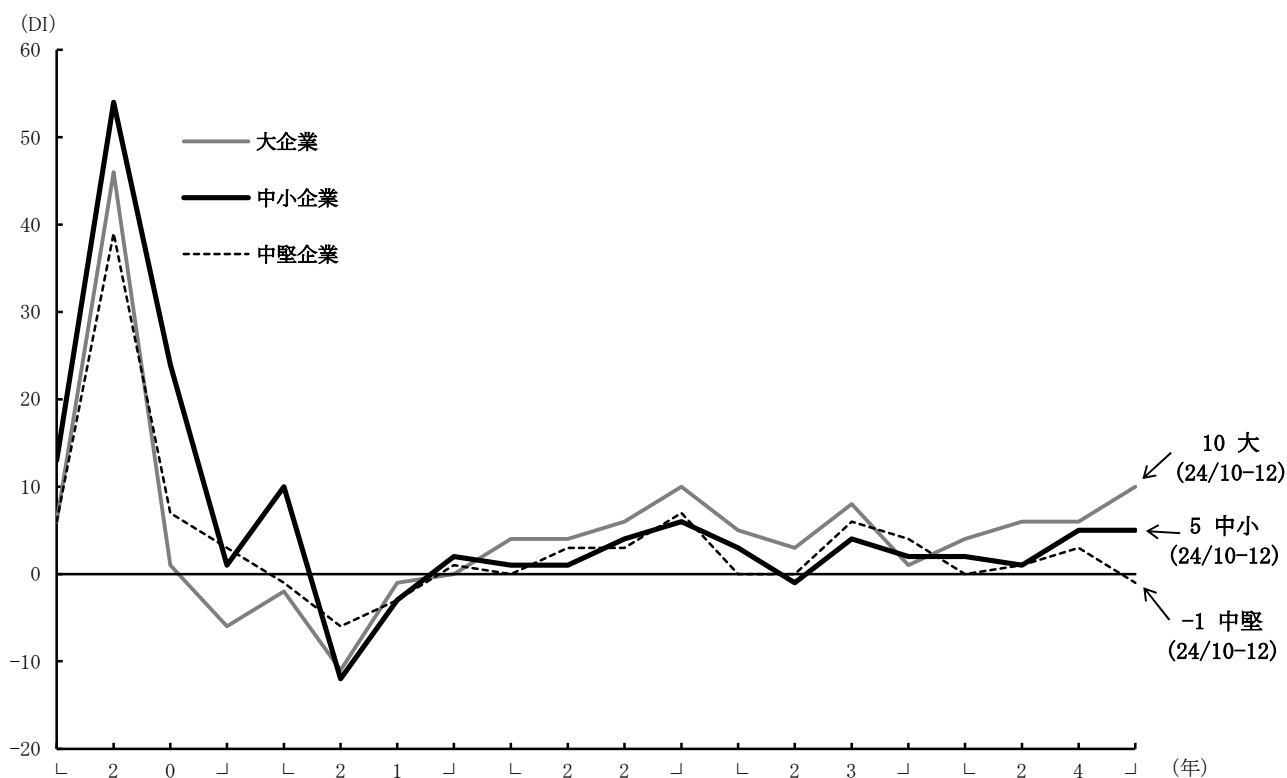
資料：日本政策金融公庫総合研究所「全国中小企業動向調査」（小企業、中小企業）、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」（大企業）

(注) 1 小企業は借入DI。前期に比べて借入が「容易になった」企業割合－「難しくなった」企業割合。

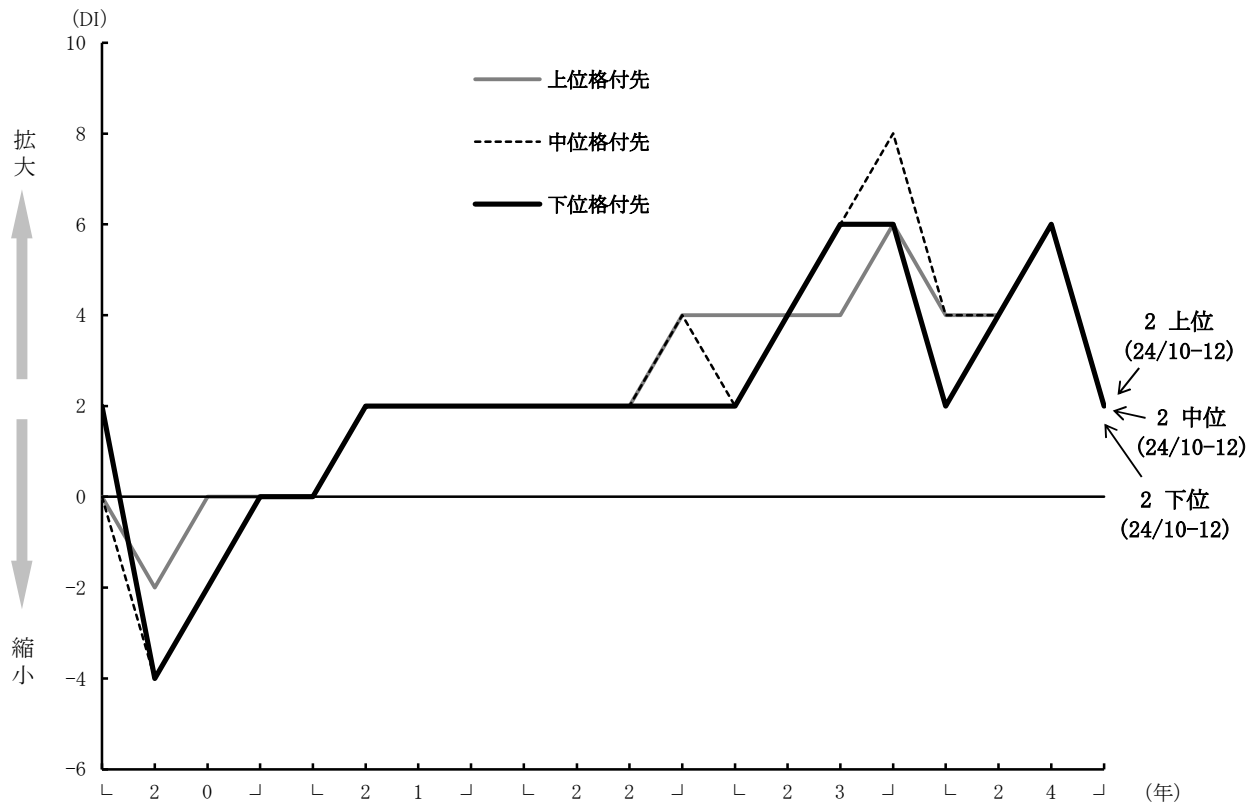
2 中小企業は長期借入難易DI。前年同期に比べて「容易になった」企業割合－「難しくなった」企業割合。

3 大企業は貸出態度判断DI。「緩い」企業割合－「厳しい」企業割合。

図－70 資金需要判断DIの動き

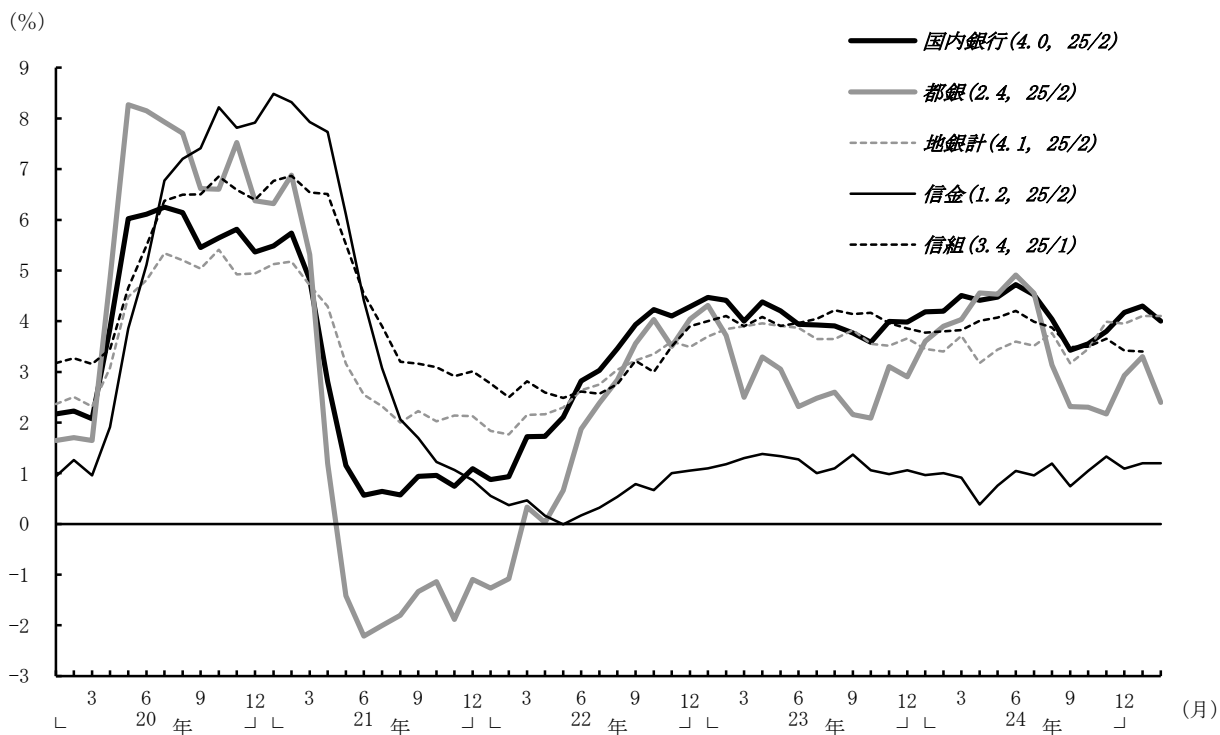


図－71 利ざや設定DIの動き



(5) 貸出

図－72 業態別貸出残高の動き（企業向け、個人向け等貸出合計、前年同月比）

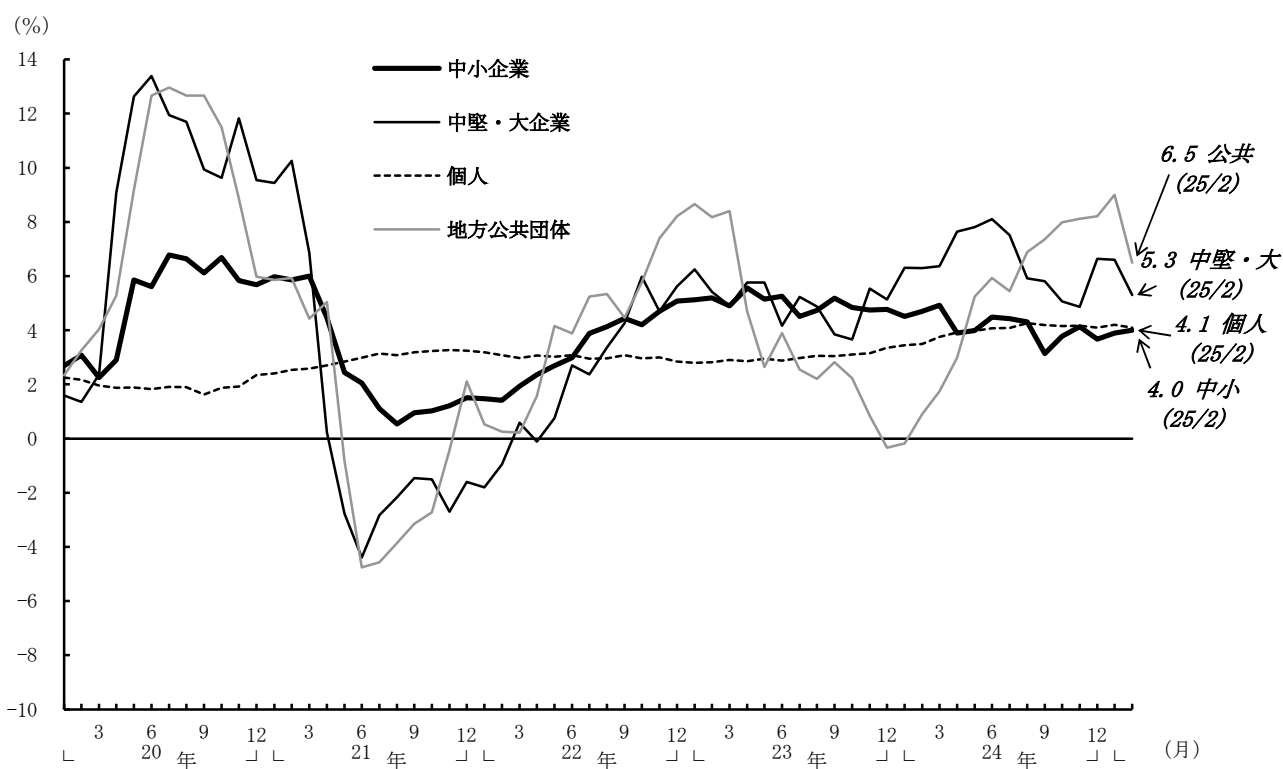


資料：日本銀行「預金・現金・貸出金」、全国信用組合中央協会「全国信用組合主要勘定」

(注) 1 国内銀行は、都銀、地銀、第二地銀、信託銀。

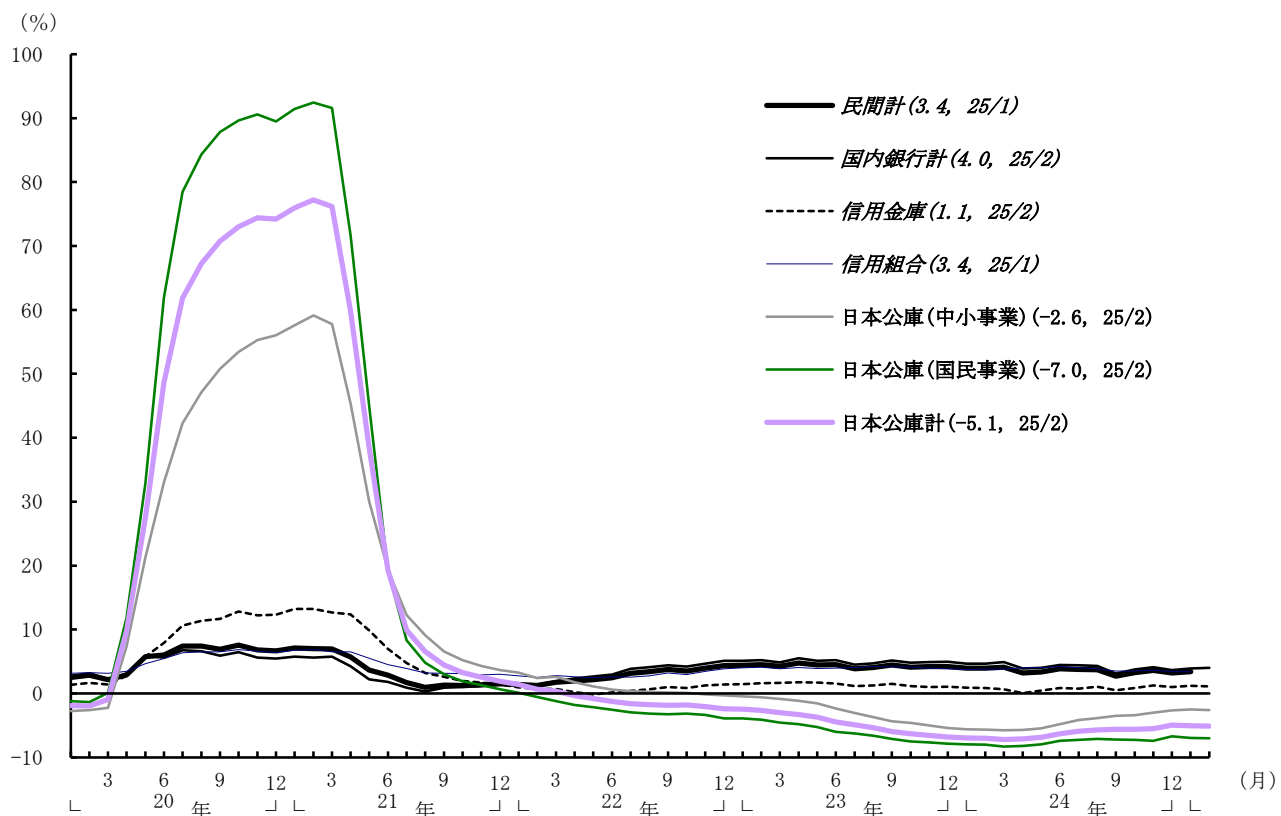
2 地銀計は、地銀、第二地銀。

図－73 貸出先別貸出残高の動き（国内銀行、前年同月比）



資料：日本銀行「預金・現金・貸出金」

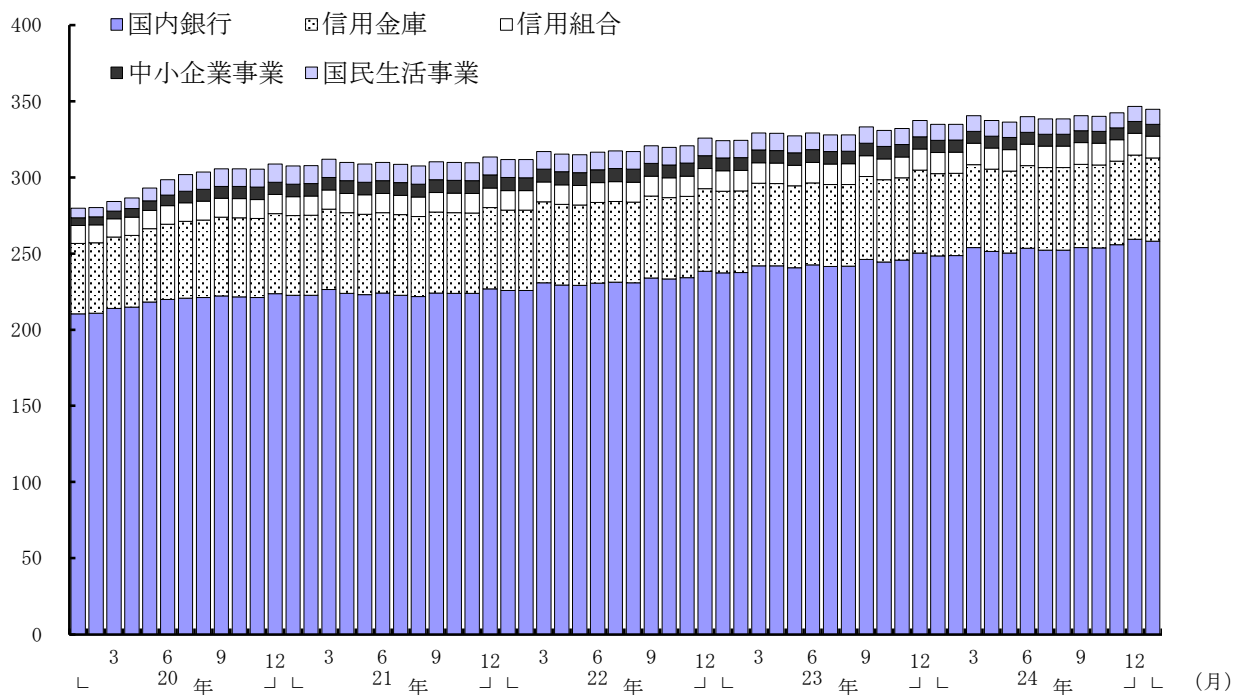
図－74 中小企業向け貸出残高の動き（金融機関別、前年同月比）



資料：日本銀行「預金・現金・貸出金」、全国信用組合中央協会「全国信用組合主要勘定」、日本政策金融公庫「毎月の融資実績」
（注）民間計は、国内銀行、信用金庫、信用組合。

図－75 中小企業向け貸出残高の動き

（兆円）



資料：日本銀行「預金・現金・貸出金」
全国信用組合中央協会
「全国信用組合主要勘定」
日本政策金融公庫「毎月の融資実績」

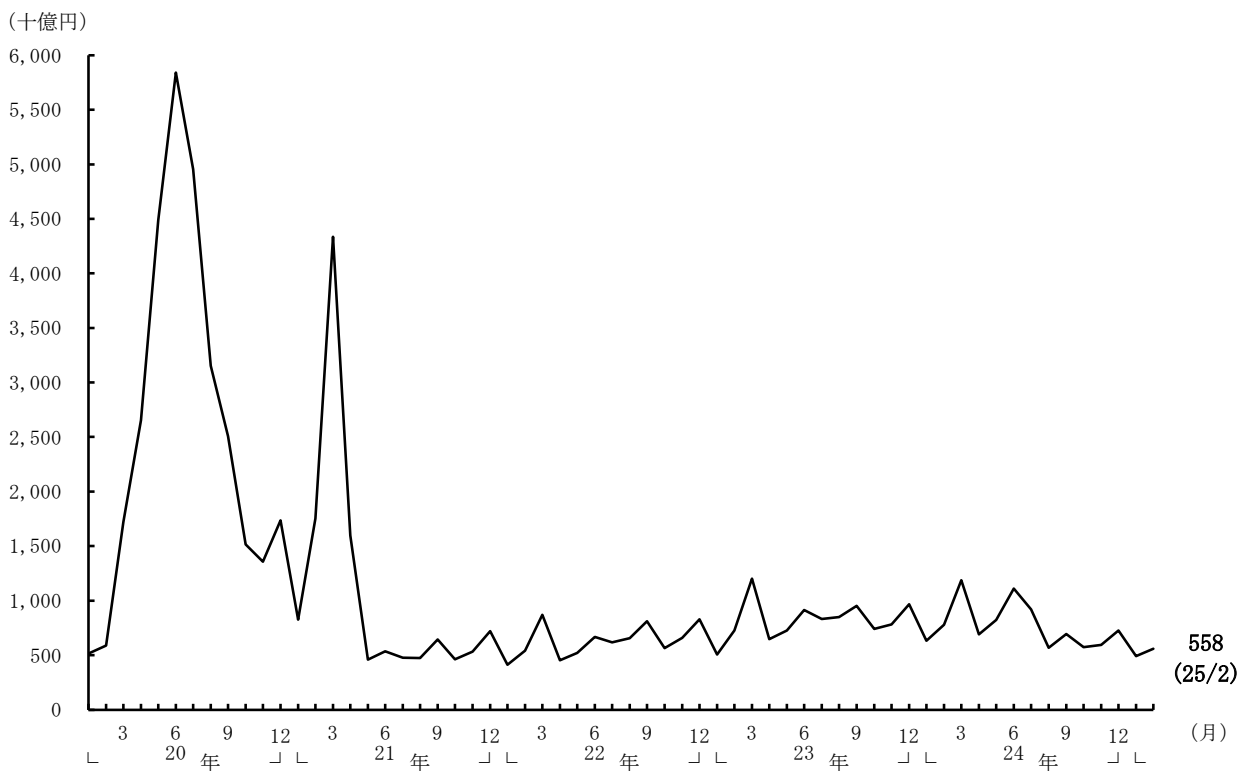
（参考）

国内銀行 2,585,153 (25/2)
信用金庫 547,080 (25/2)
信用組合 143,280 (25/1)
民間合計 3,271,212 (25/1)

（単位：億円）

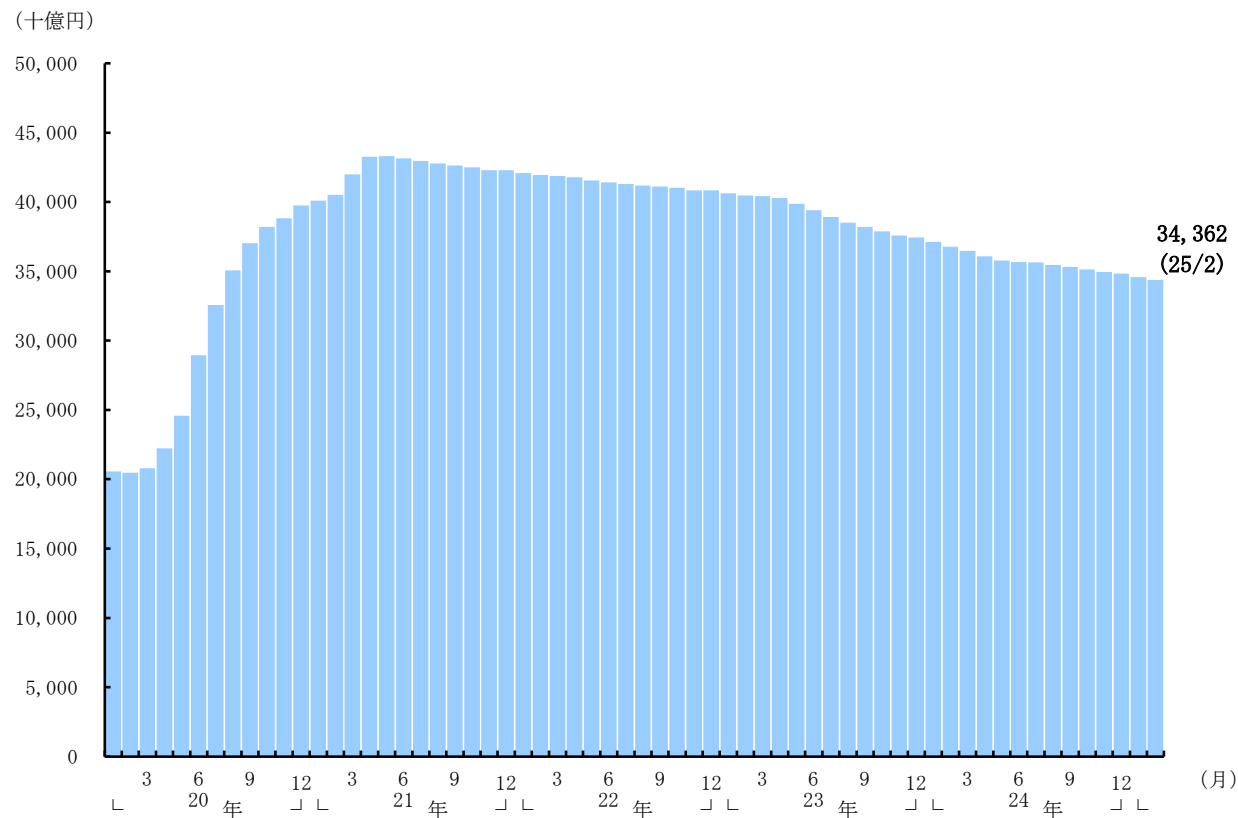
中小企業事業 77,215 (25/2)
国民生活事業 96,819 (25/2)
日本公庫計 174,034 (25/2)

図－76 信用保証承諾額（フロー）



資料：全国信用保証協会連合会「信用保証実績の推移」
 (注) 特定社債保証、中堅企業（破綻金融機関等関連）特別保証を含む。

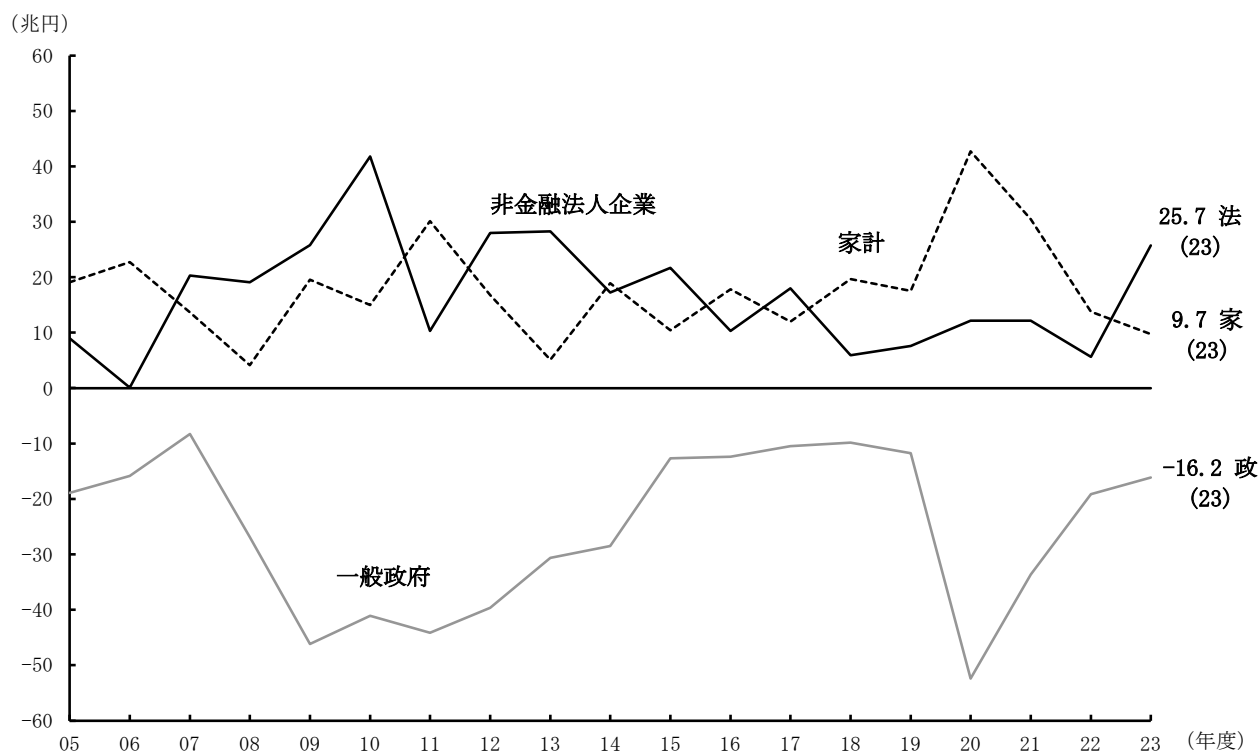
図－77 信用保証債務残高の動き（ストック）



資料：全国信用保証協会連合会「信用保証実績の推移」
 (注) 特定社債保証、中堅企業（破綻金融機関等関連）特別保証を含む。

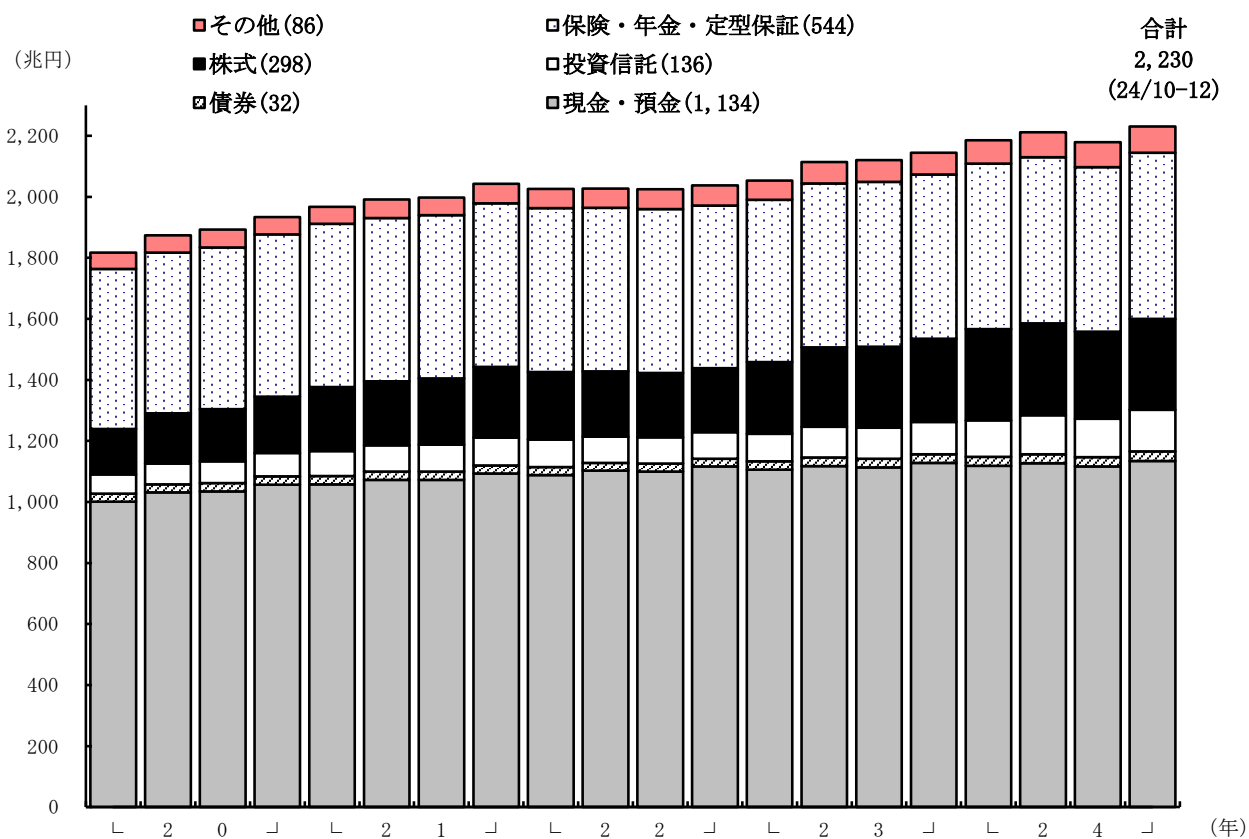
(6) 金融資産

図－78 資金の過不足の動き（部門別）



資料：日本銀行「資金循環」

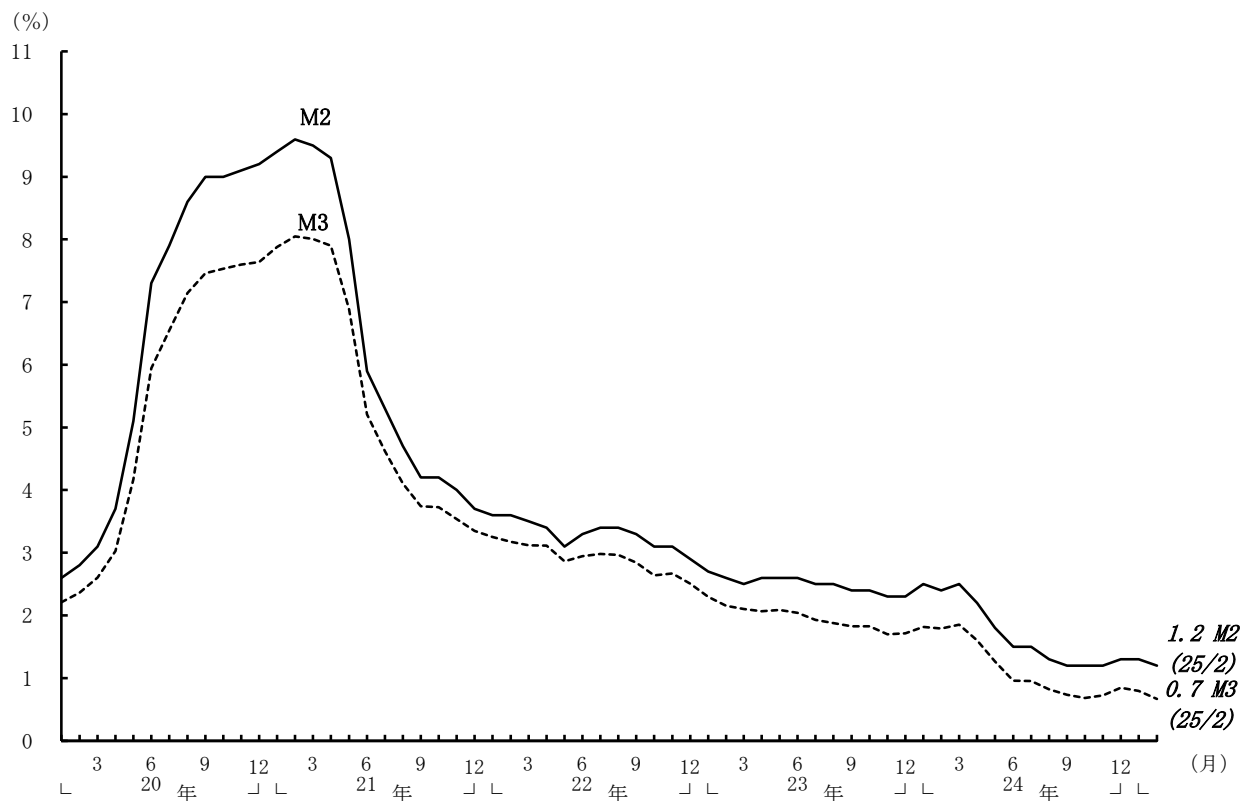
図－79 家計の金融資産残高の動き



資料：日本銀行「資金循環」

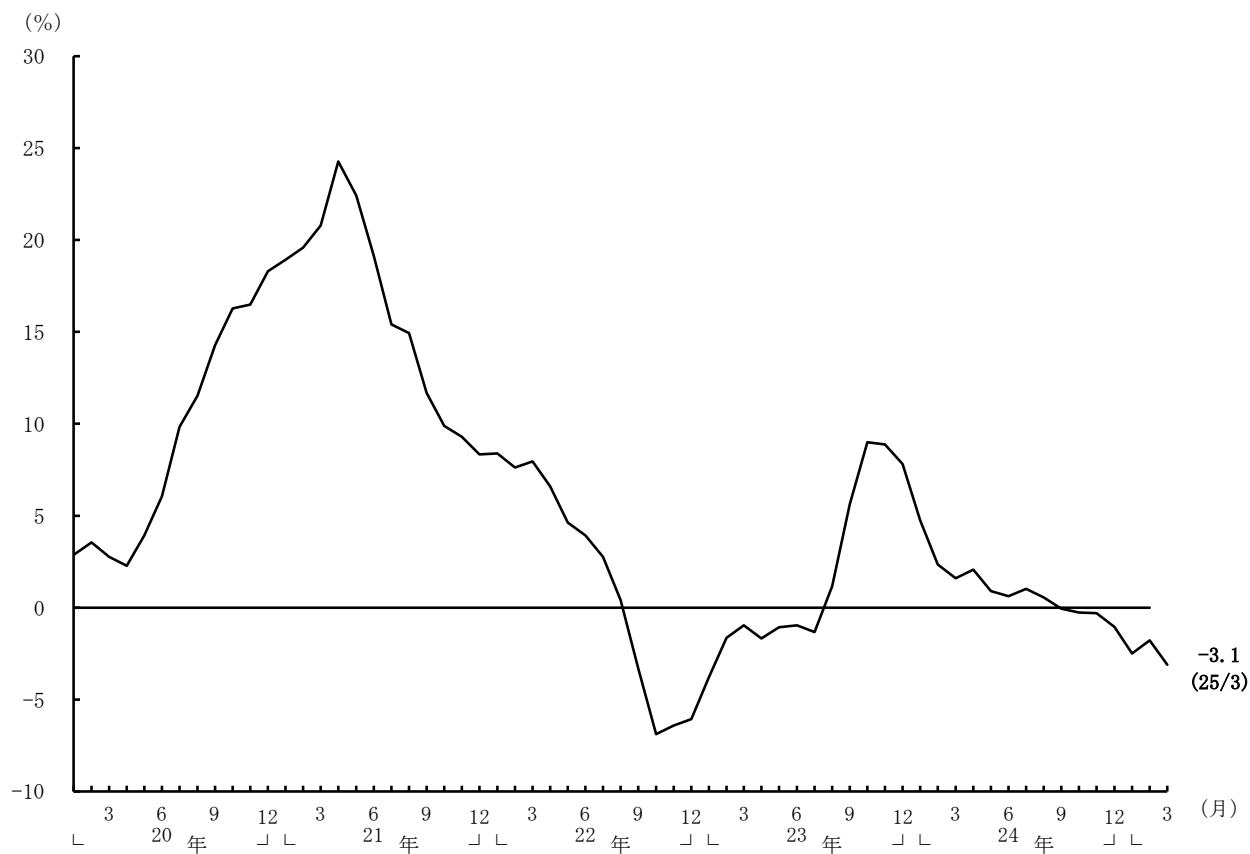
(7) 通貨

図-80 マネーストック（M2、M3）の動き（月中平均残高、前年同月比）



資料：日本銀行「マネーストック」

図-81 マネタリーベースの動き（月中平均残高、前年同月比）



資料：日本銀行「マネタリーベース」